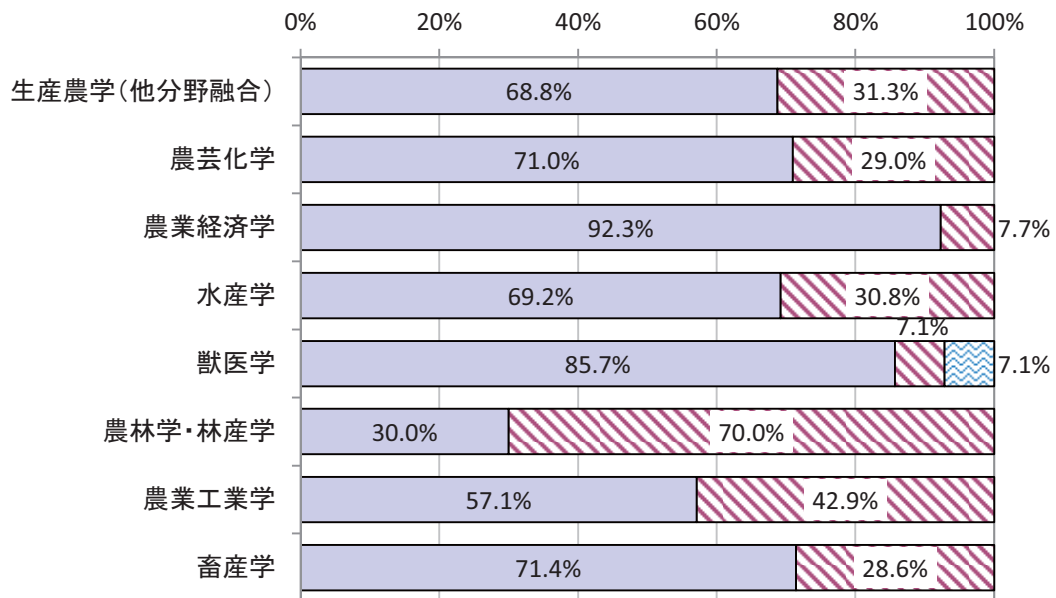


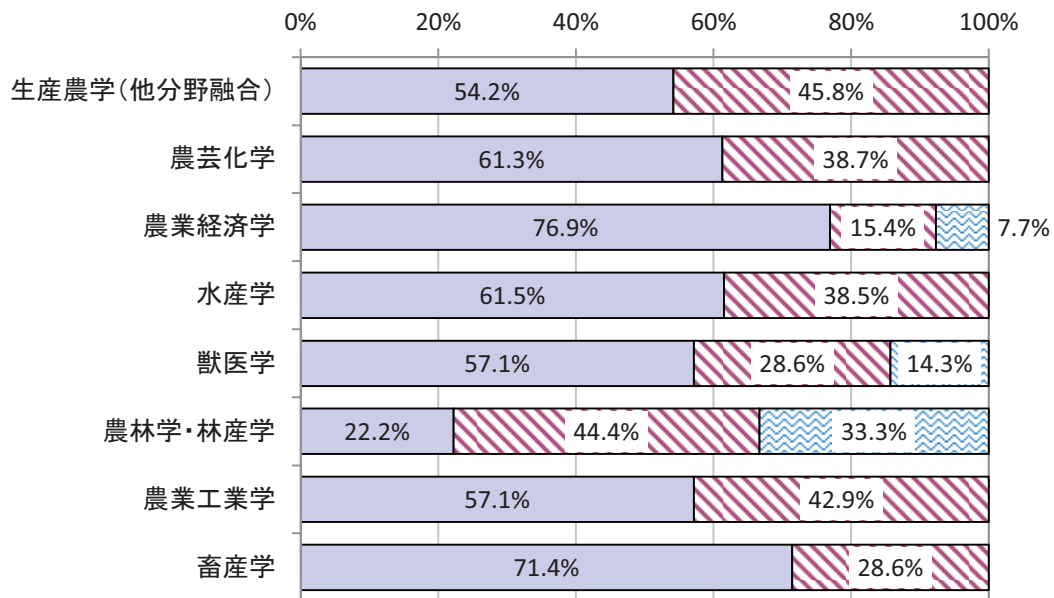
- 1 非常に重視している  
 2 重視している  
 3 どちらともいえない  
 4 あまり重視していない  
 5 重視していない

Q15-2-① どのような能力を重視しているか：本質を見極める力を養う



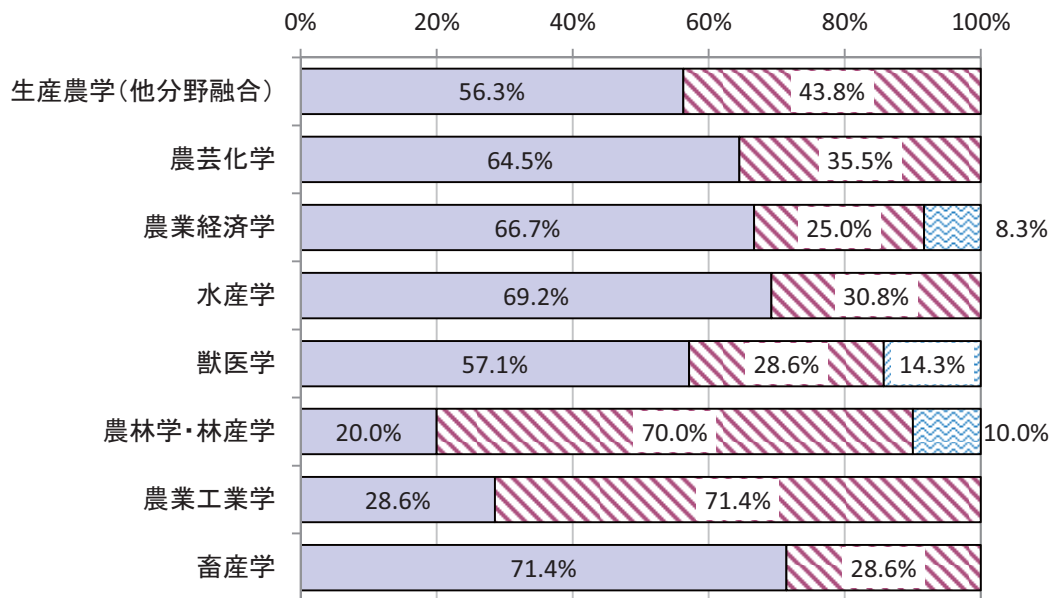
- 1 非常に重視している  
 2 重視している  
 3 どちらともいえない  
 4 あまり重視していない  
 5 重視していない

Q15-2-① どのような能力を重視しているか：考える力を身につける



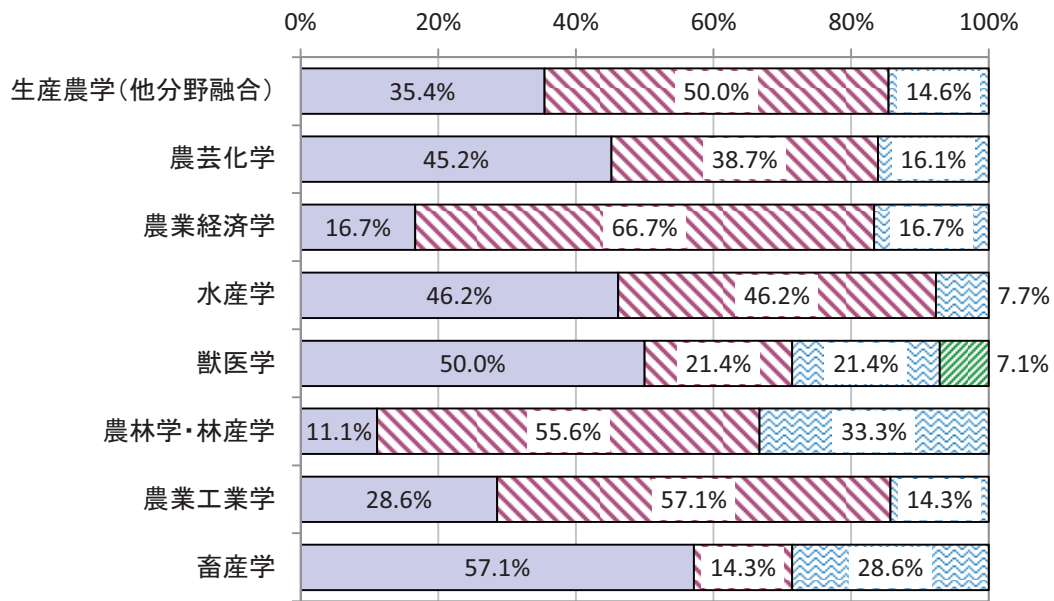
- 1 非常に重視している  
 2 重視している  
 3 どちらともいえない  
 4 あまり重視していない  
 5 重視していない

Q15-2-① どのような能力を重視しているか：自主性を養う



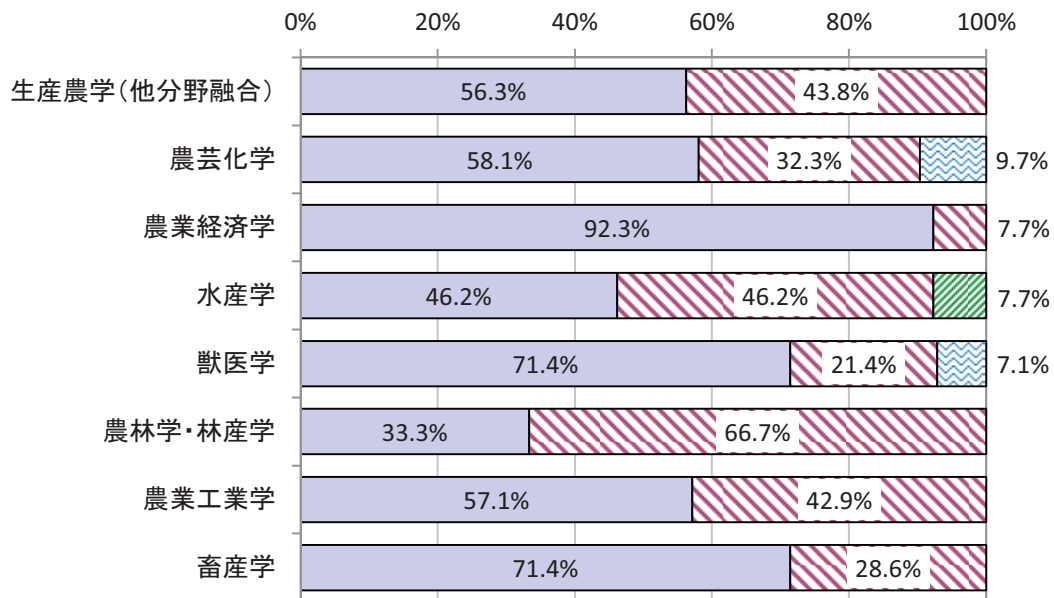
- 1 非常に重視している  
 2 重視している  
 3 どちらともいえない  
 4 あまり重視していない  
 5 重視していない

Q15-2-① どのような能力を重視しているか：計画性を身につける



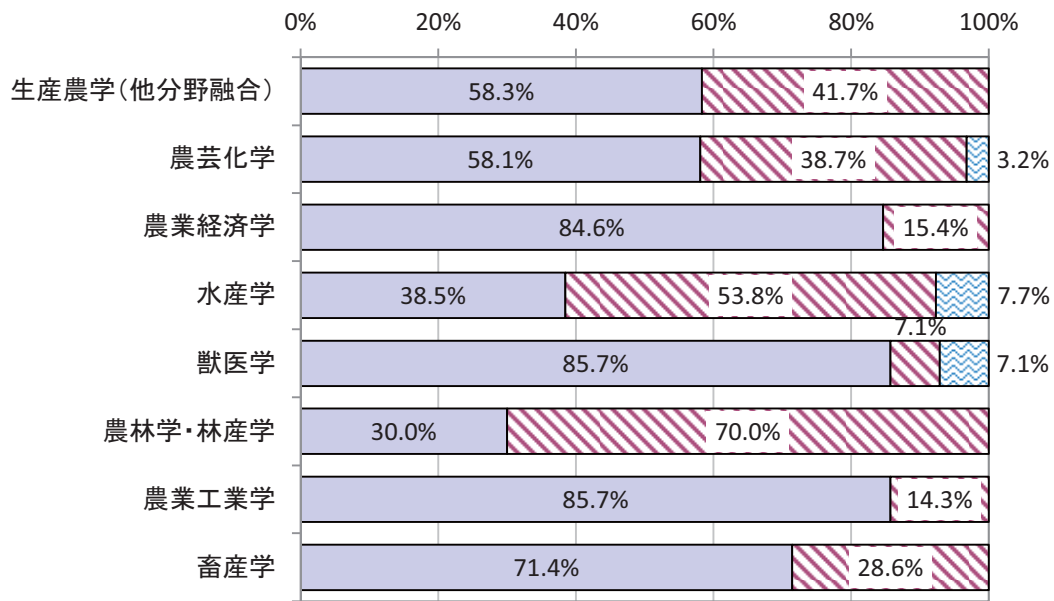
- 1 非常に重視している  
 2 重視している  
 3 どちらともいえない  
 4 あまり重視していない  
 5 重視していない

Q15-2-① どのような能力を重視しているか：柔軟性を身につける



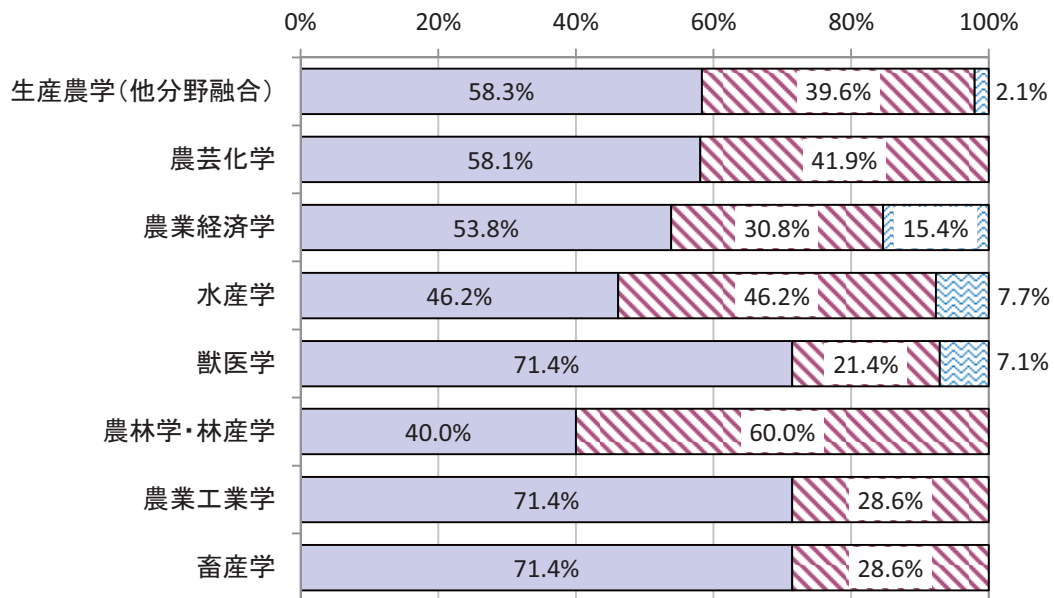
- 1 非常に重視している  
 2 重視している  
 3 どちらともいえない  
 4 あまり重視していない  
 5 重視していない

Q15-2-① どのような能力を重視しているか 課題発見能力を身につける



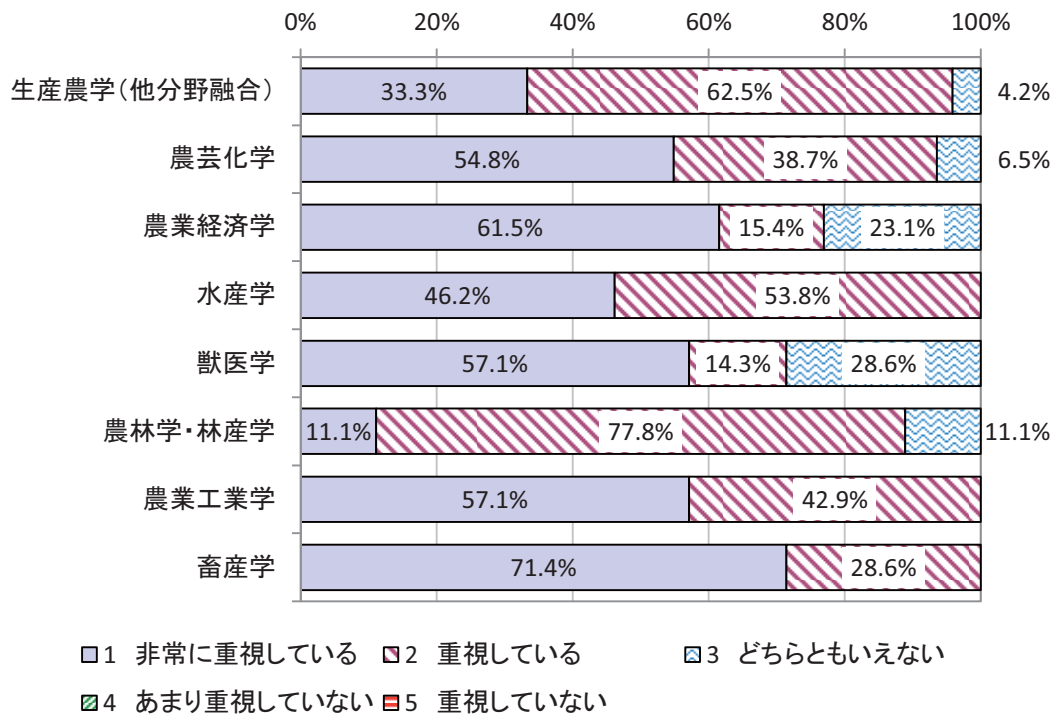
- 1 非常に重視している  
 2 重視している  
 3 どちらともいえない  
 4 あまり重視していない  
 5 重視していない

Q15-2-① どのような能力を重視しているか：課題解決能力を身につける

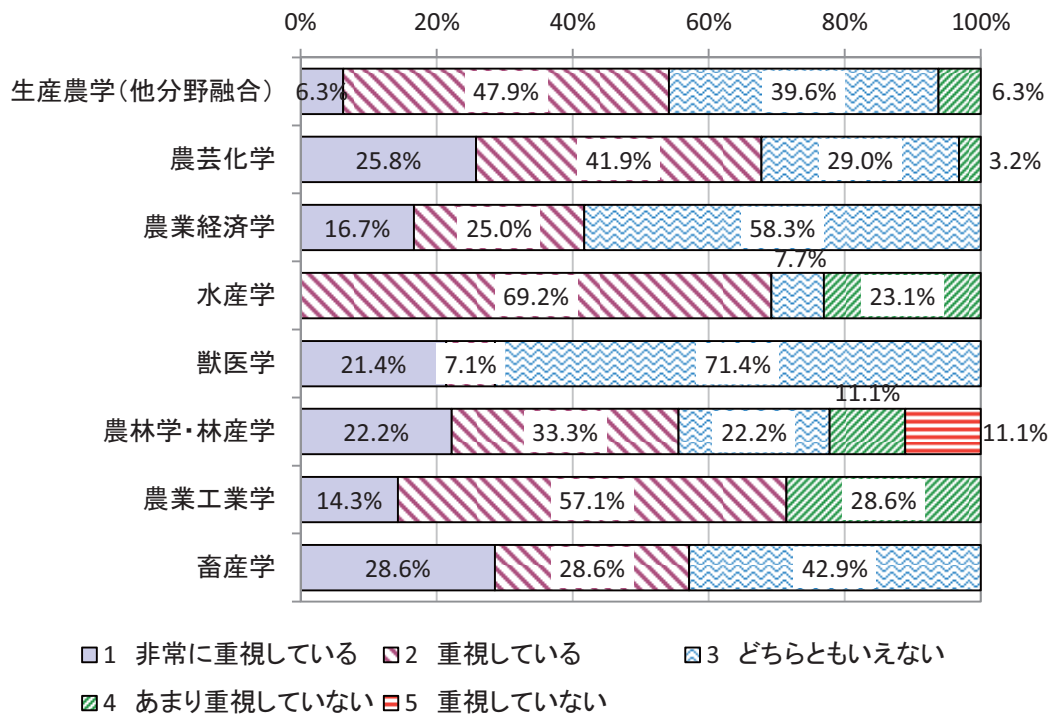


- 1 非常に重視している  
 2 重視している  
 3 どちらともいえない  
 4 あまり重視していない  
 5 重視していない

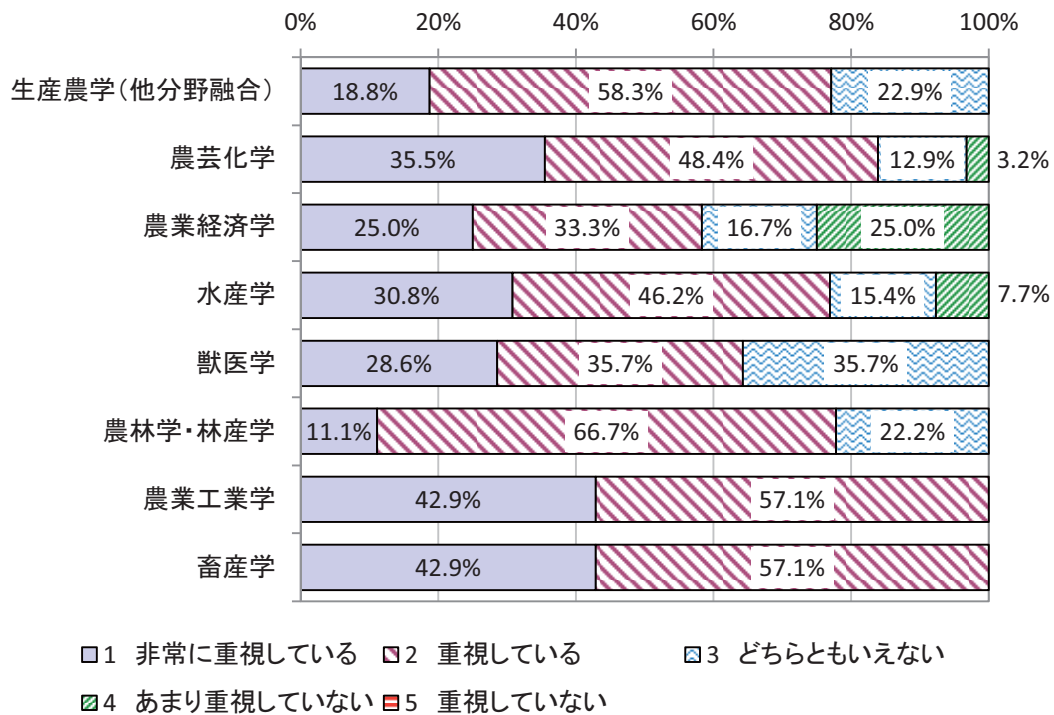
Q15-2-① どのような能力を重視しているか：データを扱う力を身につける



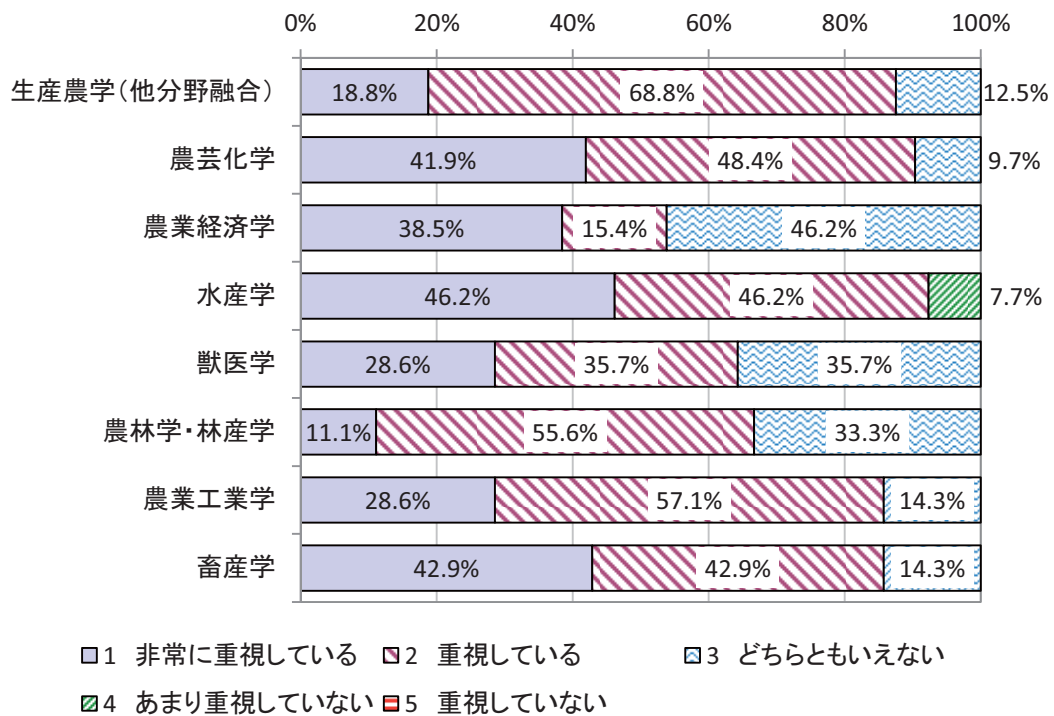
Q15-2-① どのような能力を重視しているか：コミュニケーション能力を身につける



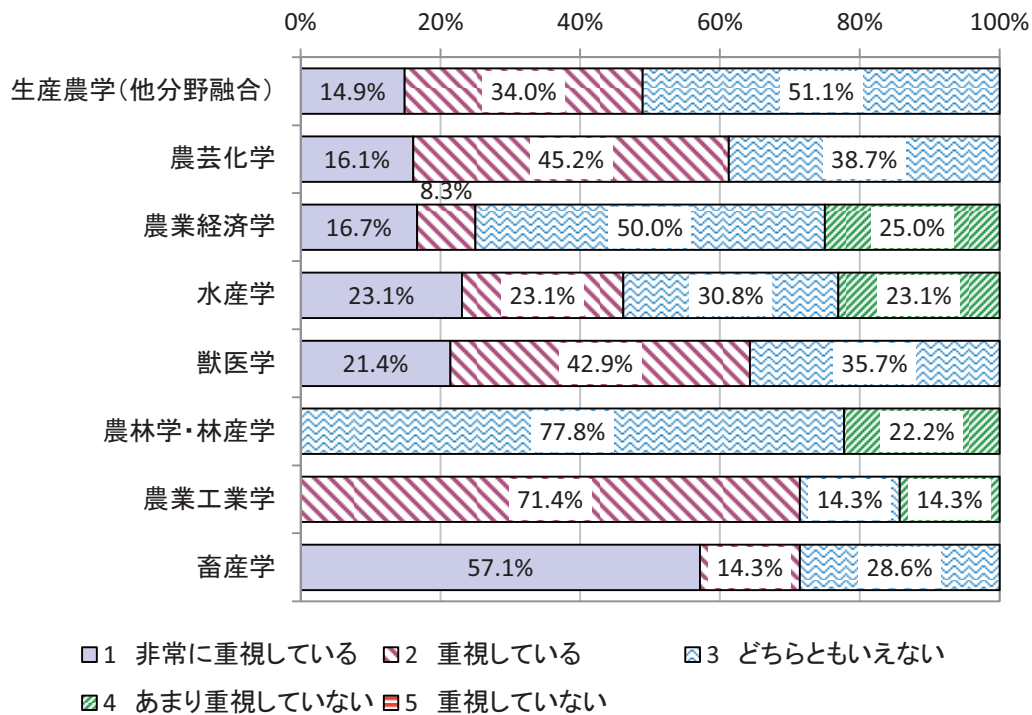
Q15-2-① どのような能力を重視しているか：国際的なコミュニケーション能力を身につける



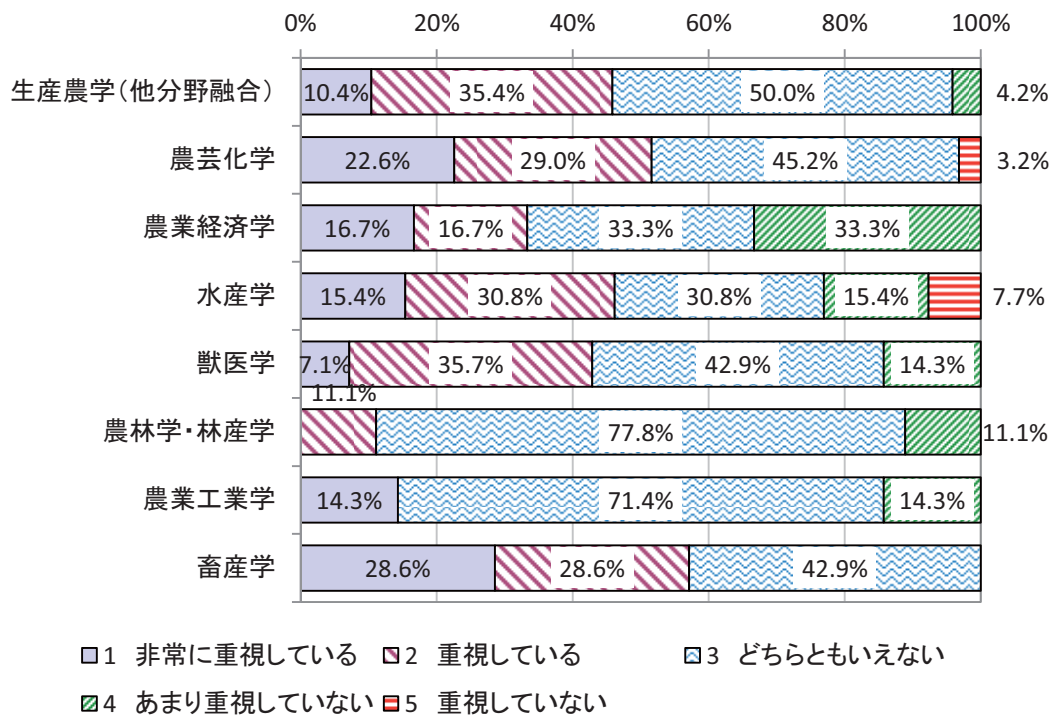
Q15-2-① どのような能力を重視しているか：学習に対するモチベーションを保つ力を身につける



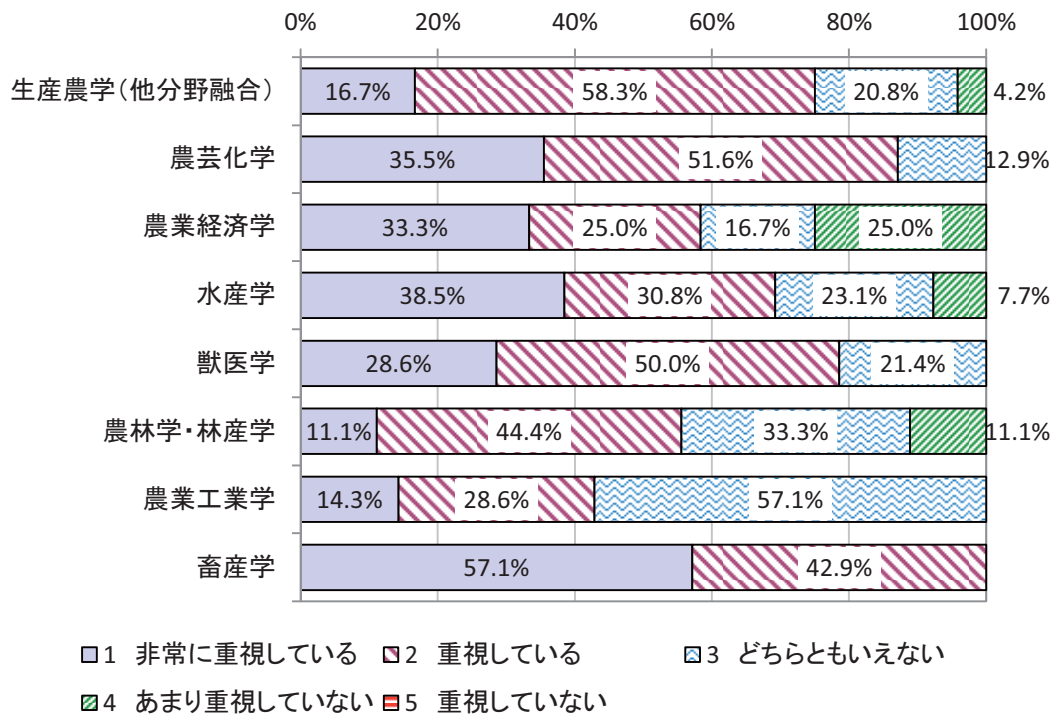
Q15-2-① どのような能力を重視しているか：継続的に学習に取り組む能力を身につける



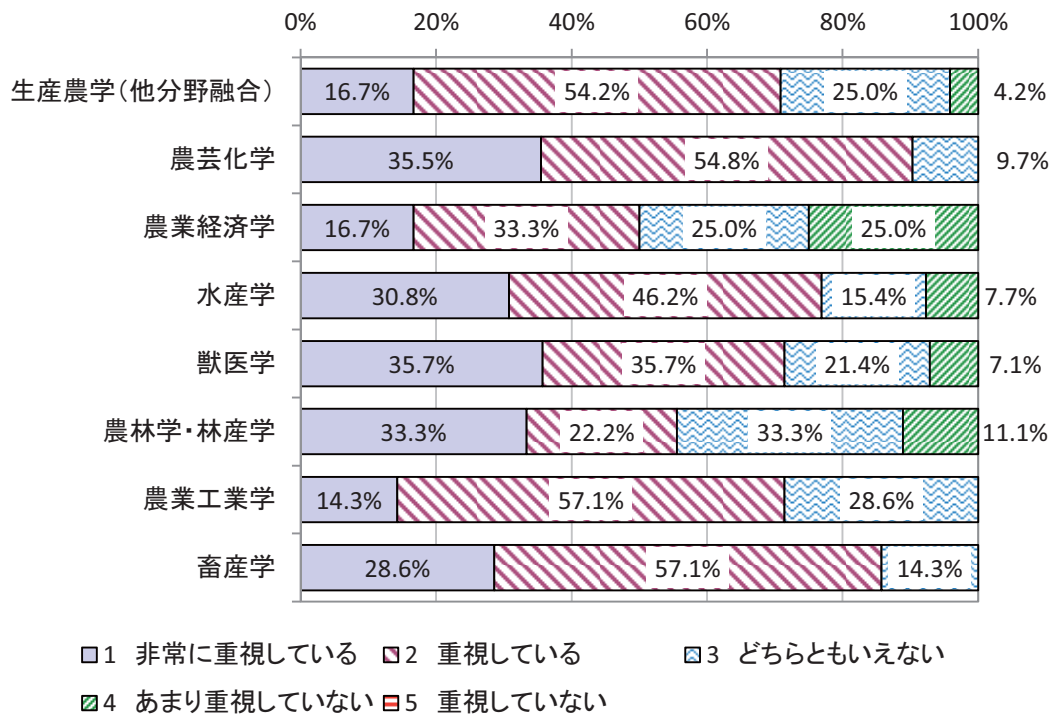
Q15-2-① どのような能力を重視しているか：生涯にわたって学習に取り組む能力を身につける



Q15-2-① どのような能力を重視しているか：リーダーシップを涵養する

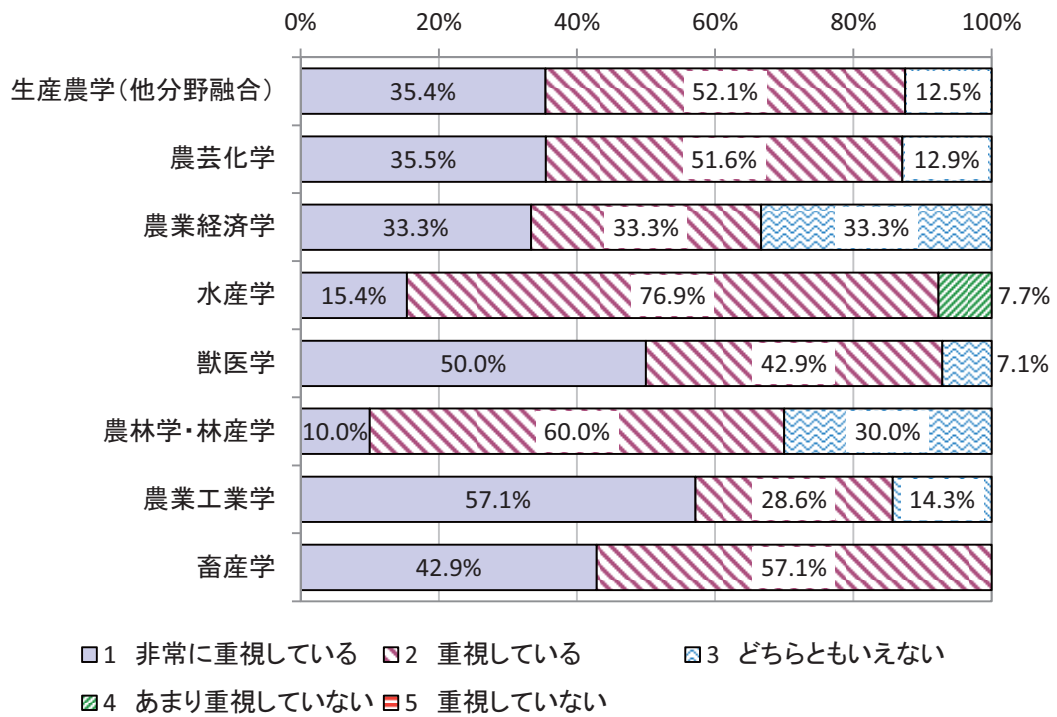


Q15-2-① どのような能力を重視しているか：社会人基礎力を身につける



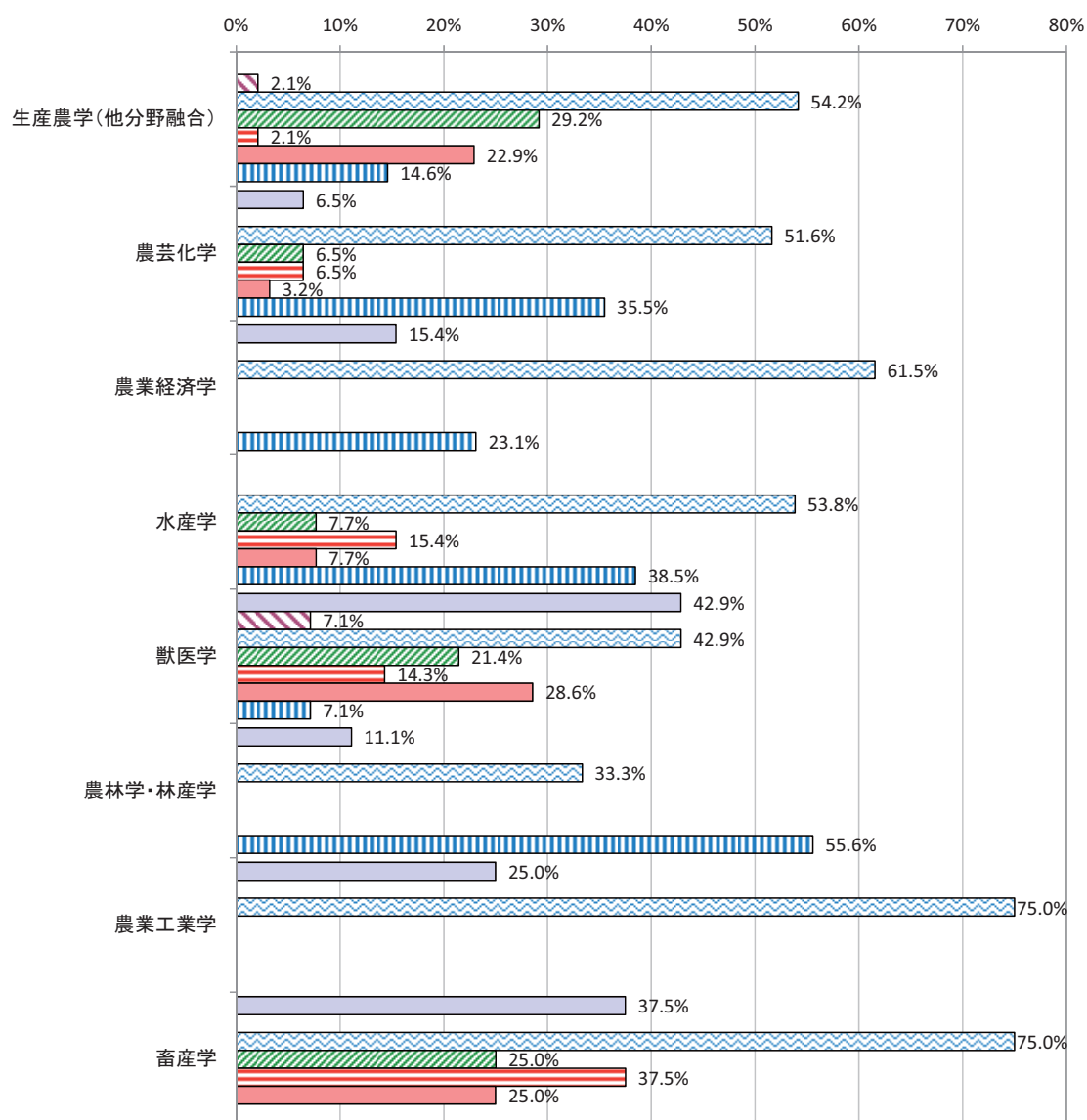
Q15-2-① どのような能力を重視しているか：社会人として必要な倫理観を身につける





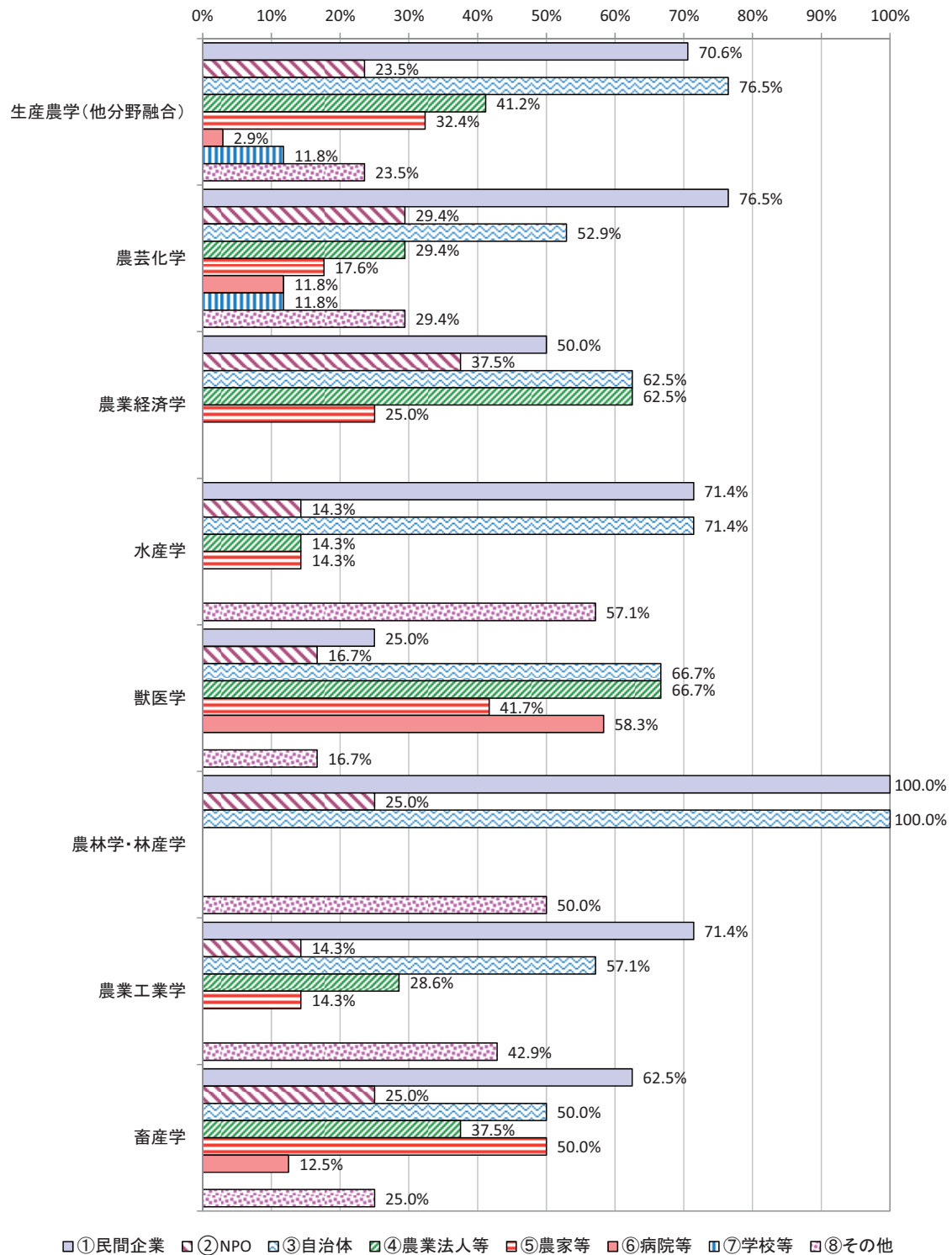
Q15-2-① どのような能力を重視しているか：未知のものに柔軟に対応する力を身につける

1-15-12 インターンシップ等の就業体験



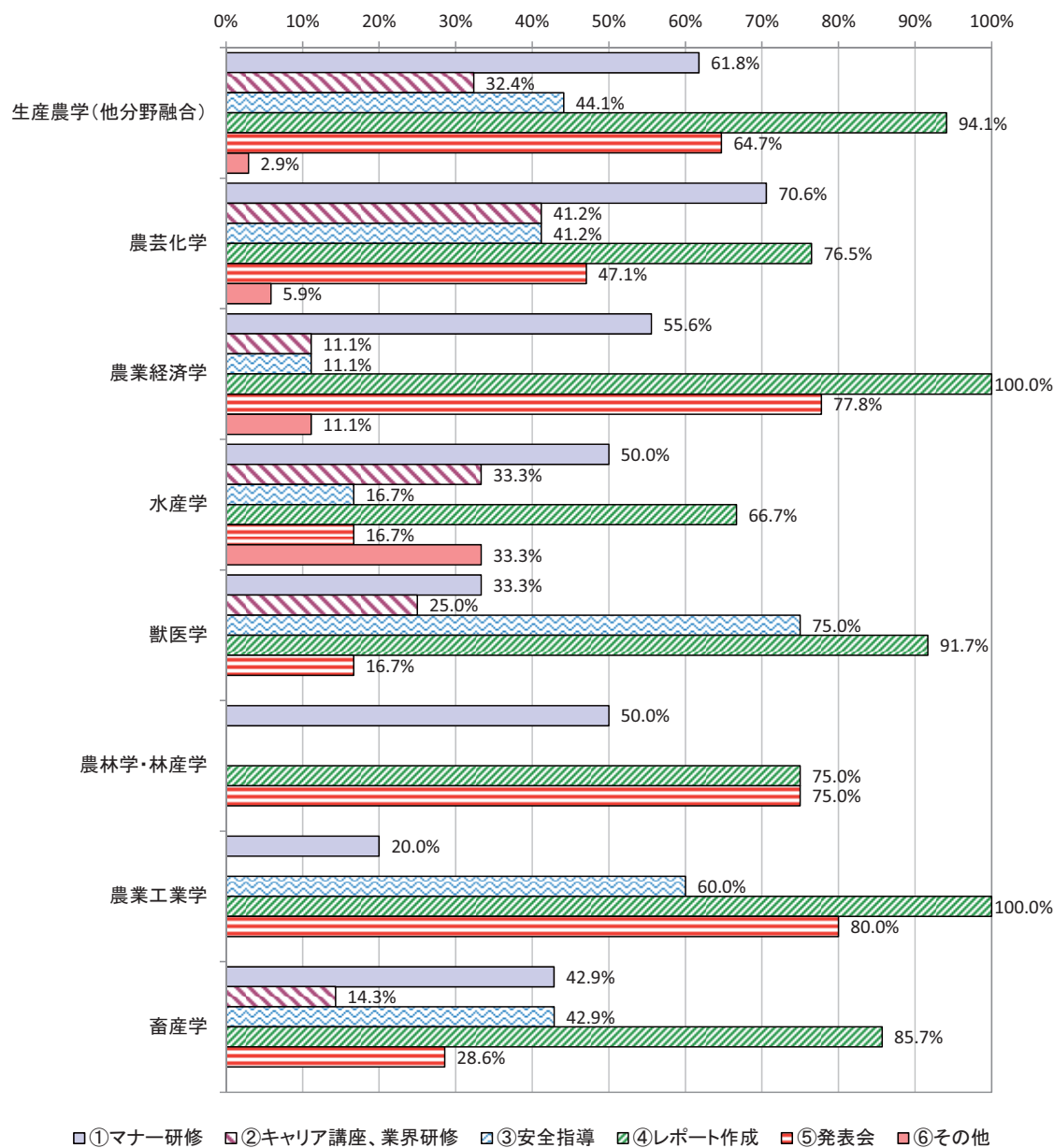
- ①教育課程内・必修科目(学部学科独自)で実施している
- ②教育課程内・必修科目(全学共通科目)で実施している
- ③教育課程内・選択科目(学部学科独自)で実施している
- ④教育課程内・選択科目(全学共通科目)で実施している
- ⑤教育課程外(学部学科独自)で実施している
- ⑥教育課程外(全学共通)で実施している
- ⑦いずれも実施していない

Q16-1 実施しているインターンシップ等の就業体験(複数回答)

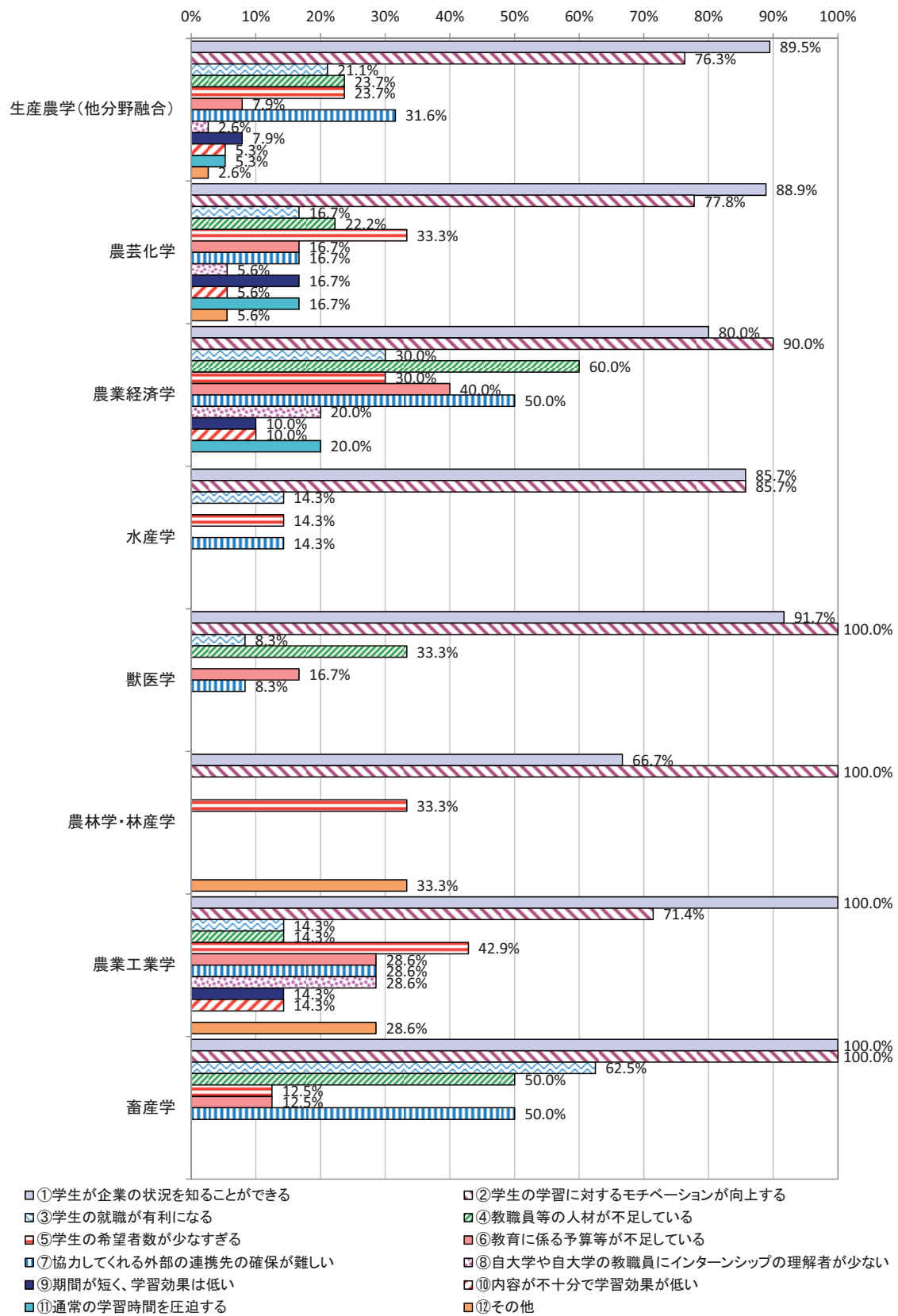


□①民間企業 □②NPO □③自治体 □④農業法人等 □⑤農家等 □⑥病院等 □⑦学校等 □⑧その他

Q16-2 学生の派遣先⑥（複数回答）

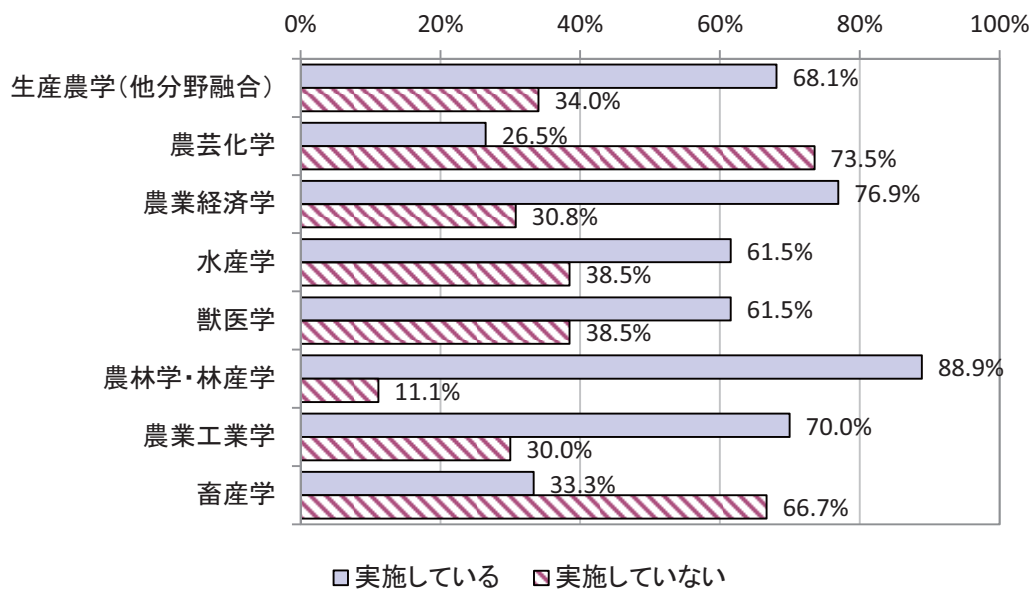


Q16-2 派遣前後の教育内容⑨（複数回答）



Q16-2 ⑩インターンシップ教育に関する考え方（複数回答）

1-15-13 プロジェクト教育



Q23 実施の有無

## 第2章 専攻調査

---

### 2-1 調査概要

#### (1)対象

全国農学系学部長会議に参加する74学部のうち72学部を対象（大学の研究機関で教育機能をもたない機関、文部科学省管轄外の機関は、対象外）。

#### (2)調査方法

メール（電子媒体）による配布・回収。全国農学系学部長会議の学部長に依頼を行った上で、各学部にメールでアンケートを送付・回収

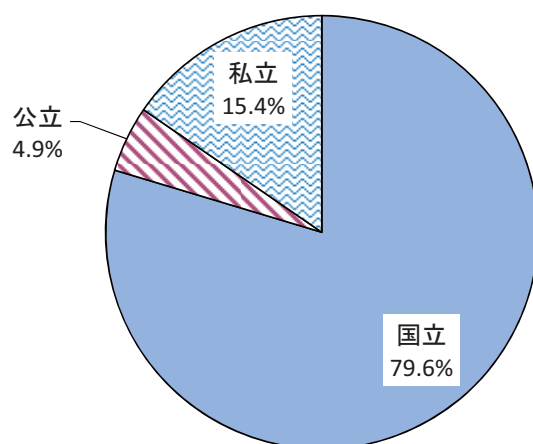
#### (3)調査時期

2016年11月18日（金）～2017年1月18日（水）

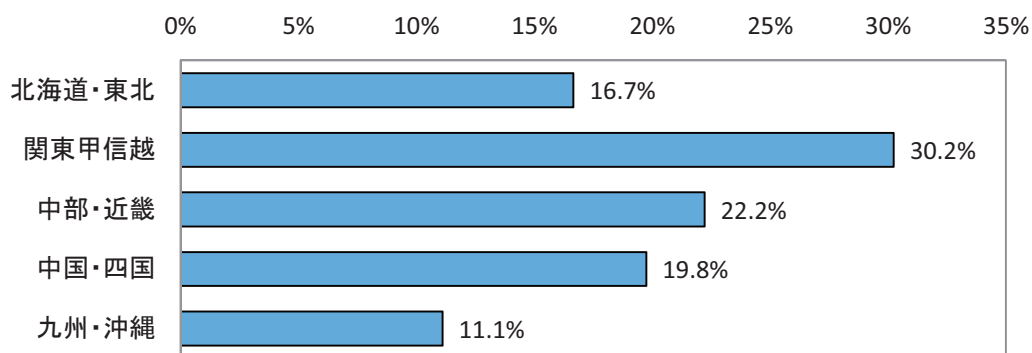
#### (4)有効回収数

54 研究科 162 専攻（回収率 75.0% ※研究科ベース）

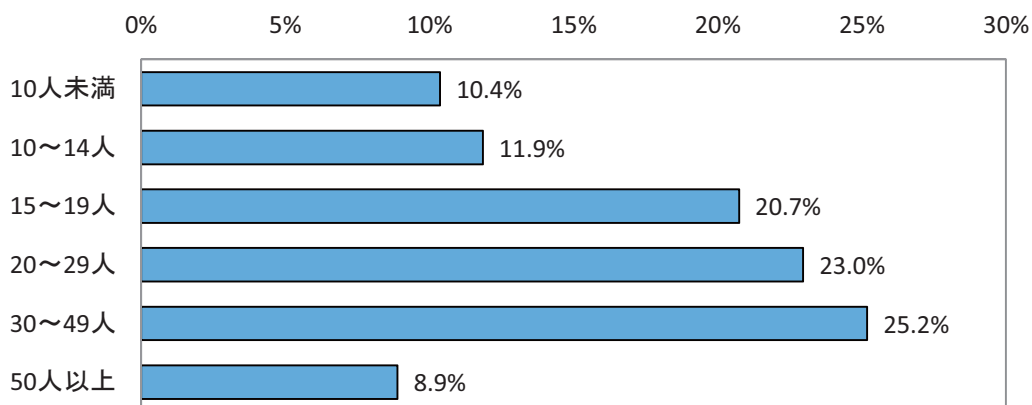
#### (5)回答者属性



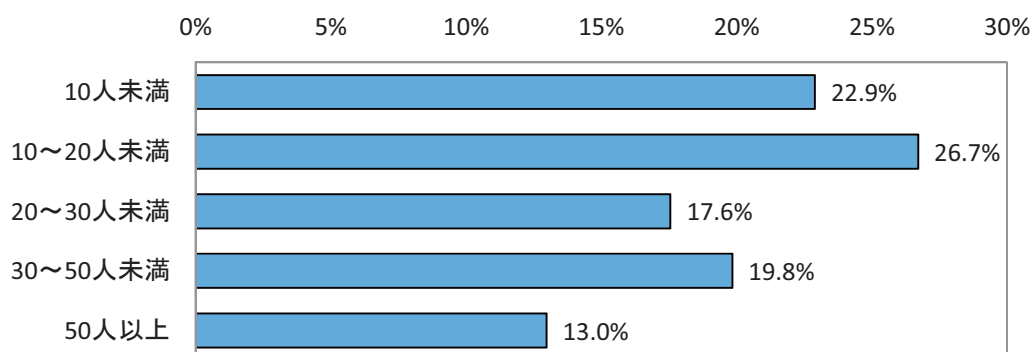
国立・公立・私立（n=162）



Q1 所在地 (n=162)

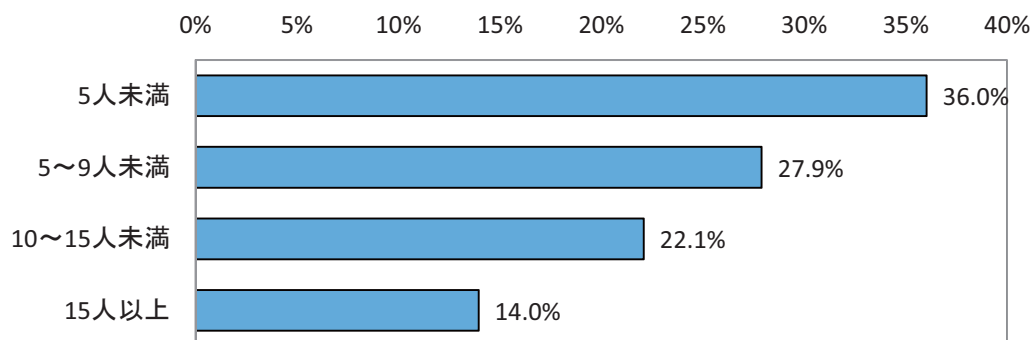


Q1 専任教員数 (n=135)



Q1 学生数：修士1年生 (n=131)





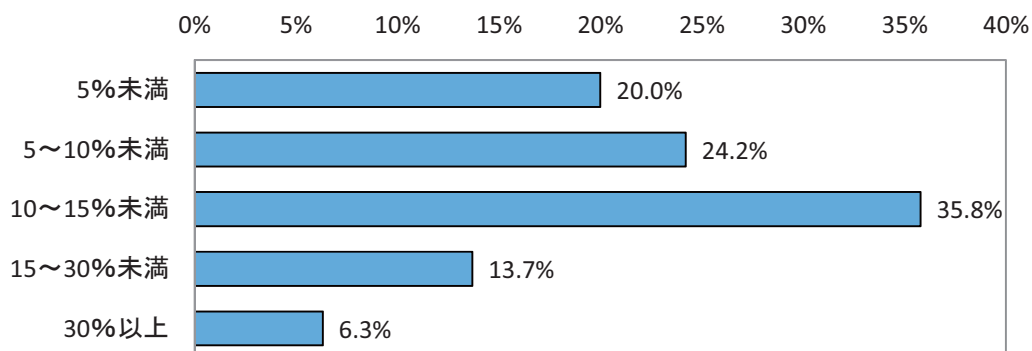
Q1 学生数：博士1年生（n=86）

Q2 修了要件単位数

	n	平均(単位)
修士課程 修了要件単位数	128	29.9
博士課程 修了要件単位数	84	15.3

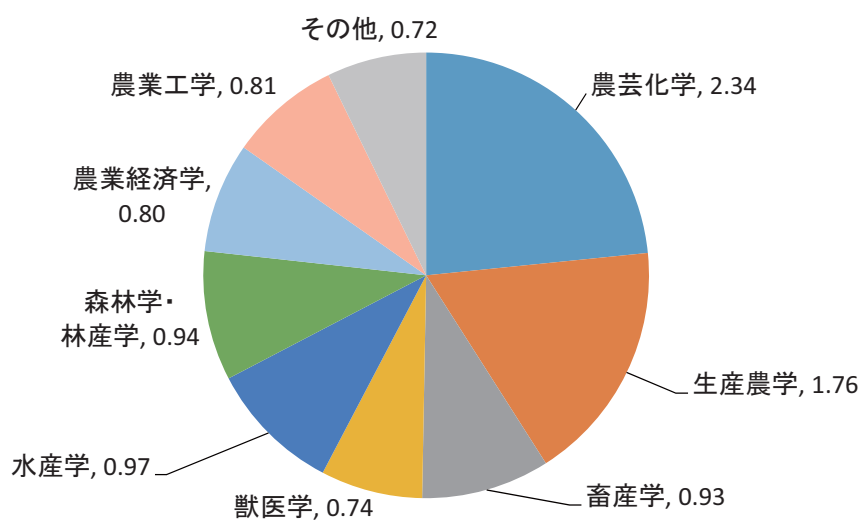
Q3 平成28年3月末における博士課程進学率

	n	平均(%)
博士課程進学率	95	11.7



Q3 平成28年3月末における博士課程進学率（n=95）

## 2-2 農学系7分野の実施状況



※数字は、割合（合計で10）

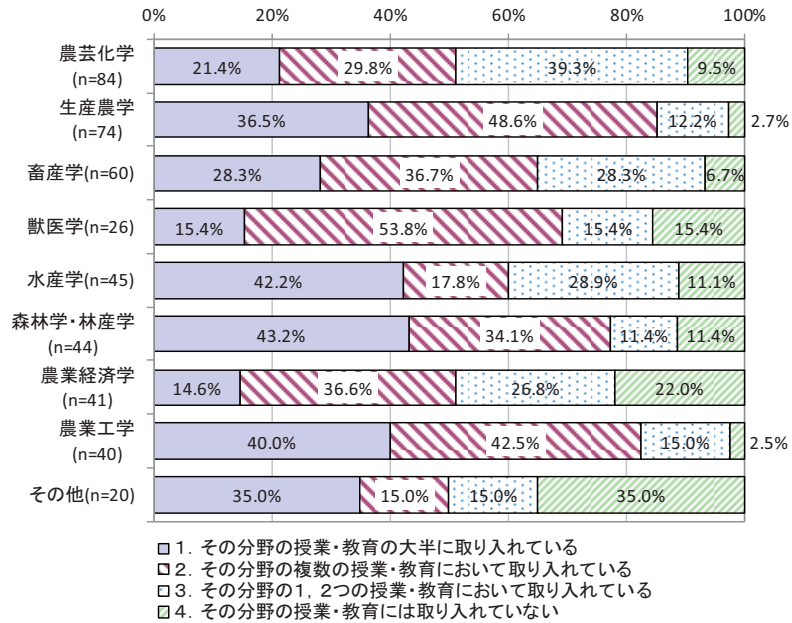
### Q4-1 農学系7分野に関する授業をどの程度実施しているか (n=158)

#### Q4-1 その他分野の内容

生命技術国際協力学
環境科学
海洋環境学、船舶・機械工学、流通工学、産業経済学
研究科共通科目

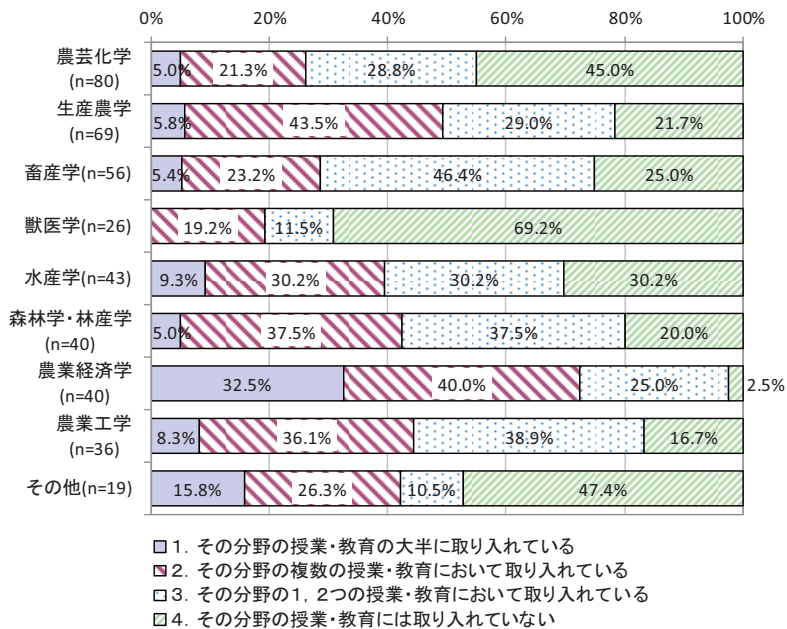
## 2-3 教育内容の取り入れ状況

### 2-3-1 環境・生態関連教育



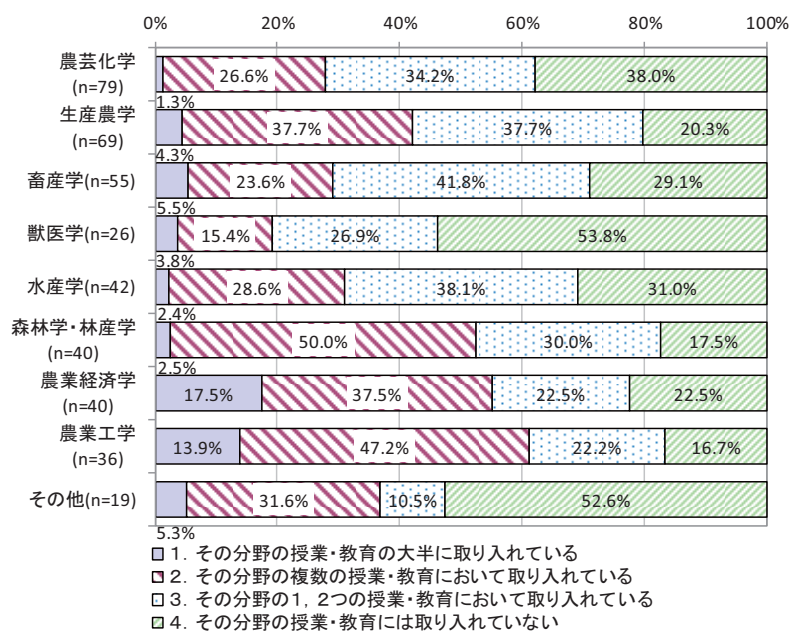
### Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：環境・生態関連教育

### 2-3-2 流通、消費、持続可能型社会に関する教育



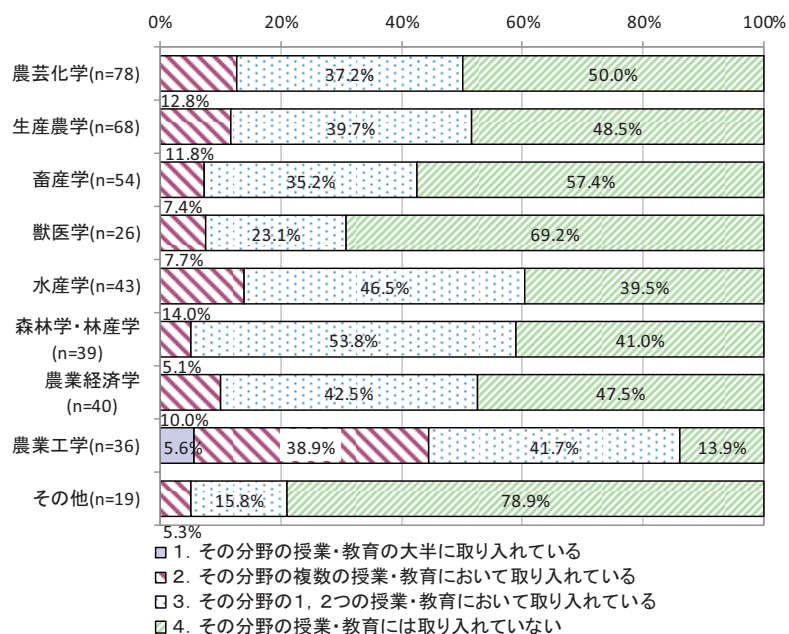
### Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：流通、消費、持続可能型社会に関する教育

### 2-3-3 地域性・地場性の高い教育



### Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：地域性・地場性の高い教育

### 2-3-4 IT、IOT を扱う教育



### Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：IT、IOT を扱う教育

2-3-5 各分野別

Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：農芸化学

	全体	1. その分野の授業・教育の大半に取り入れている	2. その分野の複数の授業・教育において取り入れている	3. その分野の1, 2つの授業・教育において取り入れている	4. その分野の授業・教育には取り入っていない
環境・生態関連教育	84 ( 100.0%)	18 ( 21.4%)	25 ( 29.8%)	33 ( 39.3%)	8 ( 9.5%)
流通,消費,持続可能型社会に関する教育	80 ( 100.0%)	4 ( 5.0%)	17 ( 21.3%)	23 ( 28.8%)	36 ( 45.0%)
地域性・地場性の高い教育	79 ( 100.0%)	1 ( 1.3%)	21 ( 26.6%)	27 ( 34.2%)	30 ( 38.0%)
IT,IOTを扱う教育	78 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	10 ( 12.8%)	29 ( 37.2%)	39 ( 50.0%)

Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：生産農学

	全体	1. その分野の授業・教育の大半に取り入れている	2. その分野の複数の授業・教育において取り入れている	3. その分野の1, 2つの授業・教育において取り入れている	4. その分野の授業・教育には取り入っていない
環境・生態関連教育	74 ( 100.0%)	27 ( 36.5%)	36 ( 48.6%)	9 ( 12.2%)	2 ( 2.7%)
流通,消費,持続可能型社会に関する教育	69 ( 100.0%)	4 ( 5.8%)	30 ( 43.5%)	20 ( 29.0%)	15 ( 21.7%)
地域性・地場性の高い教育	69 ( 100.0%)	3 ( 4.3%)	26 ( 37.7%)	26 ( 37.7%)	14 ( 20.3%)
IT,IOTを扱う教育	68 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	8 ( 11.8%)	27 ( 39.7%)	33 ( 48.5%)

Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：畜産学

	全体	1. その分野の授業・教育の大半に取り入れている	2. その分野の複数の授業・教育において取り入れている	3. その分野の1, 2つの授業・教育において取り入れている	4. その分野の授業・教育には取り入っていない
環境・生態関連教育	60 ( 100.0%)	17 ( 28.3%)	22 ( 36.7%)	17 ( 28.3%)	4 ( 6.7%)
流通,消費,持続可能型社会に関する教育	56 ( 100.0%)	3 ( 5.4%)	13 ( 23.2%)	26 ( 46.4%)	14 ( 25.0%)
地域性・地場性の高い教育	55 ( 100.0%)	3 ( 5.5%)	13 ( 23.6%)	23 ( 41.8%)	16 ( 29.1%)
IT,IOTを扱う教育	54 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 7.4%)	19 ( 35.2%)	31 ( 57.4%)

Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：獣医学

	全体	1. その分野の授業・教育の大半に取り入れている	2. その分野の複数の授業・教育において取り入れている	3. その分野の1, 2つの授業・教育において取り入れている	4. その分野の授業・教育には取り入っていない
環境・生態関連教育	26 ( 100.0%)	4 ( 15.4%)	14 ( 53.8%)	4 ( 15.4%)	4 ( 15.4%)
流通,消費,持続可能型社会に関する教育	26 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	5 ( 19.2%)	3 ( 11.5%)	18 ( 69.2%)
地域性・地場性の高い教育	26 ( 100.0%)	1 ( 3.8%)	4 ( 15.4%)	7 ( 26.9%)	14 ( 53.8%)
IT,IOTを扱う教育	26 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 7.7%)	6 ( 23.1%)	18 ( 69.2%)

Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：水産学

	全体	1. その分野の授業・教育の大半に取り入れている	2. その分野の複数の授業・教育において取り入れている	3. その分野の1, 2つの授業・教育において取り入れている	4. その分野の授業・教育には取り入っていない
環境・生態関連教育	45 ( 100.0%)	19 ( 42.2%)	8 ( 17.8%)	13 ( 28.9%)	5 ( 11.1%)
流通,消費,持続可能型社会に関する教育	43 ( 100.0%)	4 ( 9.3%)	13 ( 30.2%)	13 ( 30.2%)	13 ( 30.2%)
地域性・地場性の高い教育	42 ( 100.0%)	1 ( 2.4%)	12 ( 28.6%)	16 ( 38.1%)	13 ( 31.0%)
IT,IOTを扱う教育	43 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	6 ( 14.0%)	20 ( 46.5%)	17 ( 39.5%)

Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：森林学・林産学

	全体	1. その分野の授業・教育の大半に取り入れている	2. その分野の複数の授業・教育において取り入れている	3. その分野の1, 2つの授業・教育において取り入れている	4. その分野の授業・教育には取り入っていない
環境・生態関連教育	44 ( 100.0%)	19 ( 43.2%)	15 ( 34.1%)	5 ( 11.4%)	5 ( 11.4%)
流通,消費,持続可能型社会に関する教育	40 ( 100.0%)	2 ( 5.0%)	15 ( 37.5%)	15 ( 37.5%)	8 ( 20.0%)
地域性・地場性の高い教育	40 ( 100.0%)	1 ( 2.5%)	20 ( 50.0%)	12 ( 30.0%)	7 ( 17.5%)
IT,IOTを扱う教育	39 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 5.1%)	21 ( 53.8%)	16 ( 41.0%)

Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：農業経済学

	全体	1. その分野の授業・教育の大半に取り入れている	2. その分野の複数の授業・教育において取り入れている	3. その分野の1, 2つの授業・教育において取り入れている	4. その分野の授業・教育には取り入れていない
環境・生態関連教育	41 ( 100.0%)	6 ( 14.6%)	15 ( 36.6%)	11 ( 26.8%)	9 ( 22.0%)
流通,消費,持続可能型社会に関する教育	40 ( 100.0%)	13 ( 32.5%)	16 ( 40.0%)	10 ( 25.0%)	1 ( 2.5%)
地域性・地場性の高い教育	40 ( 100.0%)	7 ( 17.5%)	15 ( 37.5%)	9 ( 22.5%)	9 ( 22.5%)
IT,IOTを扱う教育	40 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 10.0%)	17 ( 42.5%)	19 ( 47.5%)

Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：農業工学

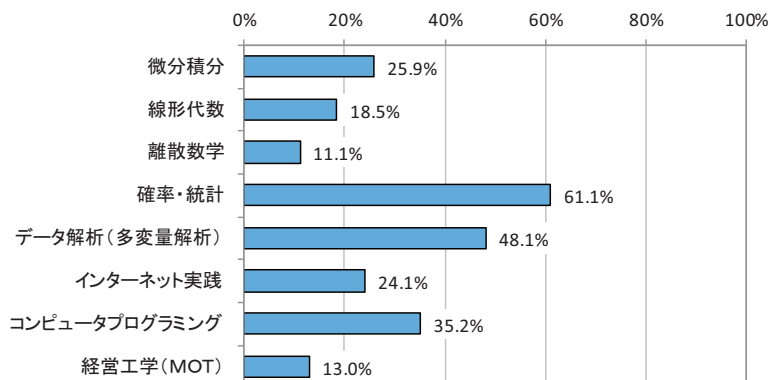
	全体	1. その分野の授業・教育の大半に取り入れている	2. その分野の複数の授業・教育において取り入れている	3. その分野の1, 2つの授業・教育において取り入れている	4. その分野の授業・教育には取り入れていない
環境・生態関連教育	40 ( 100.0%)	16 ( 40.0%)	17 ( 42.5%)	6 ( 15.0%)	1 ( 2.5%)
流通,消費,持続可能型社会に関する教育	36 ( 100.0%)	3 ( 8.3%)	13 ( 36.1%)	14 ( 38.9%)	6 ( 16.7%)
地域性・地場性の高い教育	36 ( 100.0%)	5 ( 13.9%)	17 ( 47.2%)	8 ( 22.2%)	6 ( 16.7%)
IT,IOTを扱う教育	36 ( 100.0%)	2 ( 5.6%)	14 ( 38.9%)	15 ( 41.7%)	5 ( 13.9%)

Q4-2 各分野の教育内容にどの程度含まれているか：その他

	全体	1. その分野の授業・教育の大半に取り入れている	2. その分野の複数の授業・教育において取り入れている	3. その分野の1, 2つの授業・教育において取り入れている	4. その分野の授業・教育には取り入れていない
環境・生態関連教育		7 ( 35.0%)	3 ( 15.0%)	3 ( 15.0%)	7 ( 35.0%)
流通,消費,持続可能型社会に関する教育		3 ( 15.8%)	5 ( 26.3%)	2 ( 10.5%)	9 ( 47.4%)
地域性・地場性の高い教育		1 ( 5.3%)	6 ( 31.6%)	2 ( 10.5%)	10 ( 52.6%)
IT,IOTを扱う教育		0 ( 0.0%)	1 ( 5.3%)	3 ( 15.8%)	15 ( 78.9%)

## 2-4 数理教育・データサイエンス教育

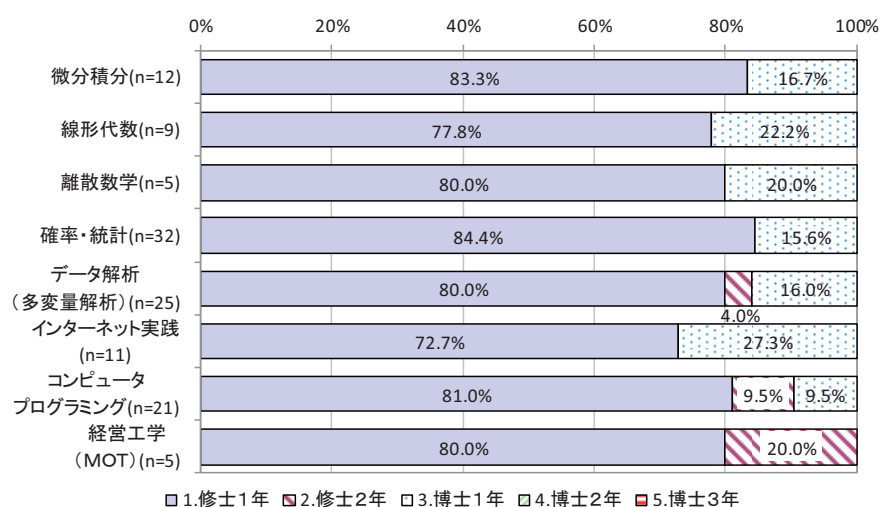
### 2-4-1 実施状況



#### Q5-1 ①実施の有無 (n=54 : 複数回答)

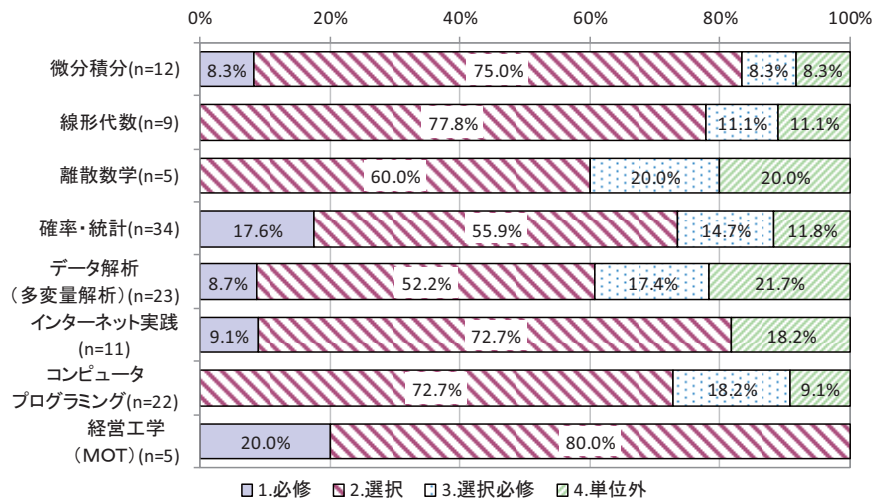
#### Q5-2 ②単位数

	n	単位数
微分積分	11	2.1
線形代数	8	2.9
離散数学	4	2.0
確率・統計	31	3.5
データ解析(多変量解析)	22	2.3
インターネット実践	9	2.2
コンピュータプログラミング	20	2.0
経営工学(MOT)	5	1.8

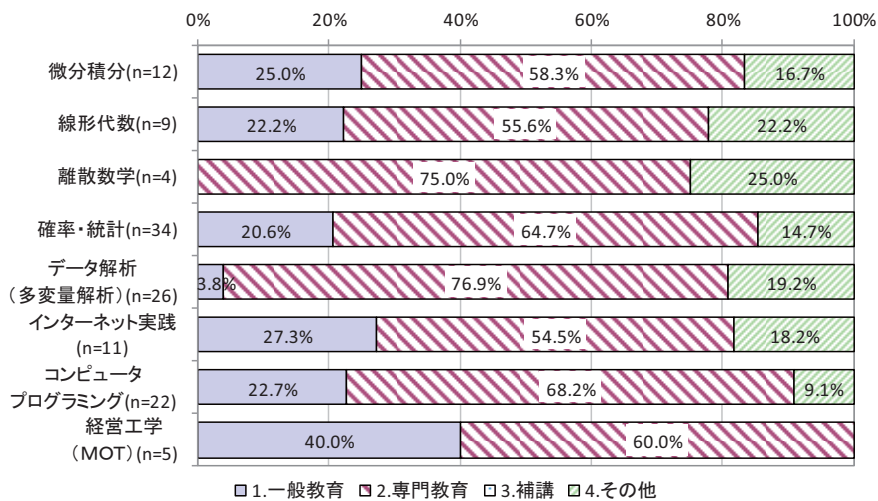


#### Q5-3 ③推奨学年





#### Q5-4 ④必修、選択、単位外

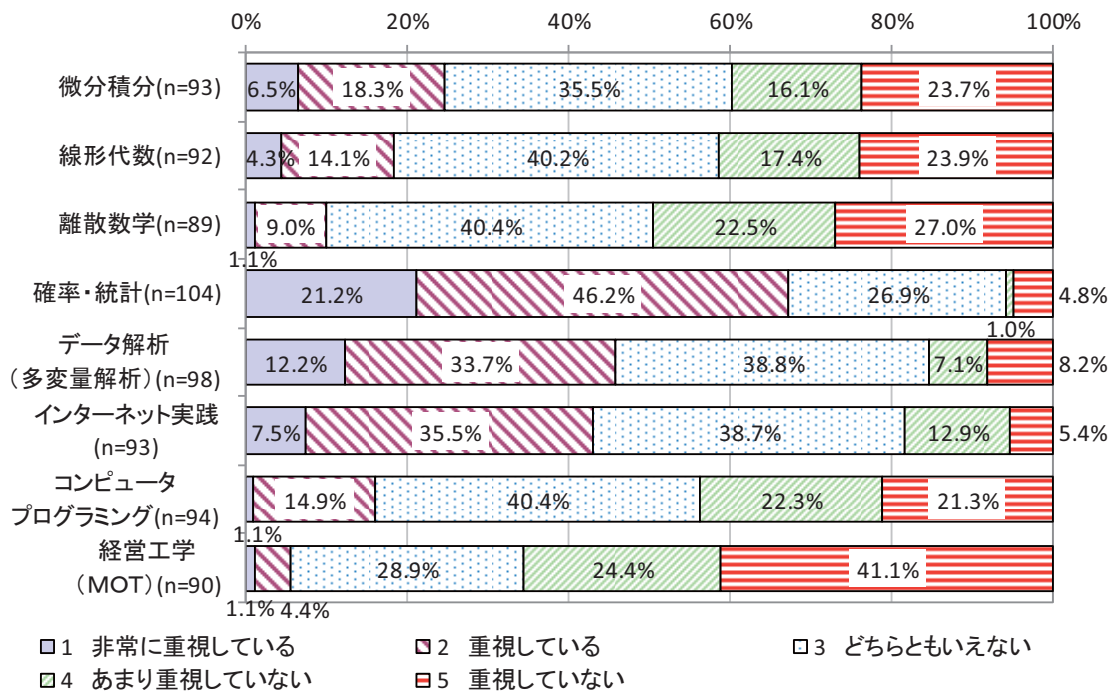


#### Q5-5 ⑤実施形態

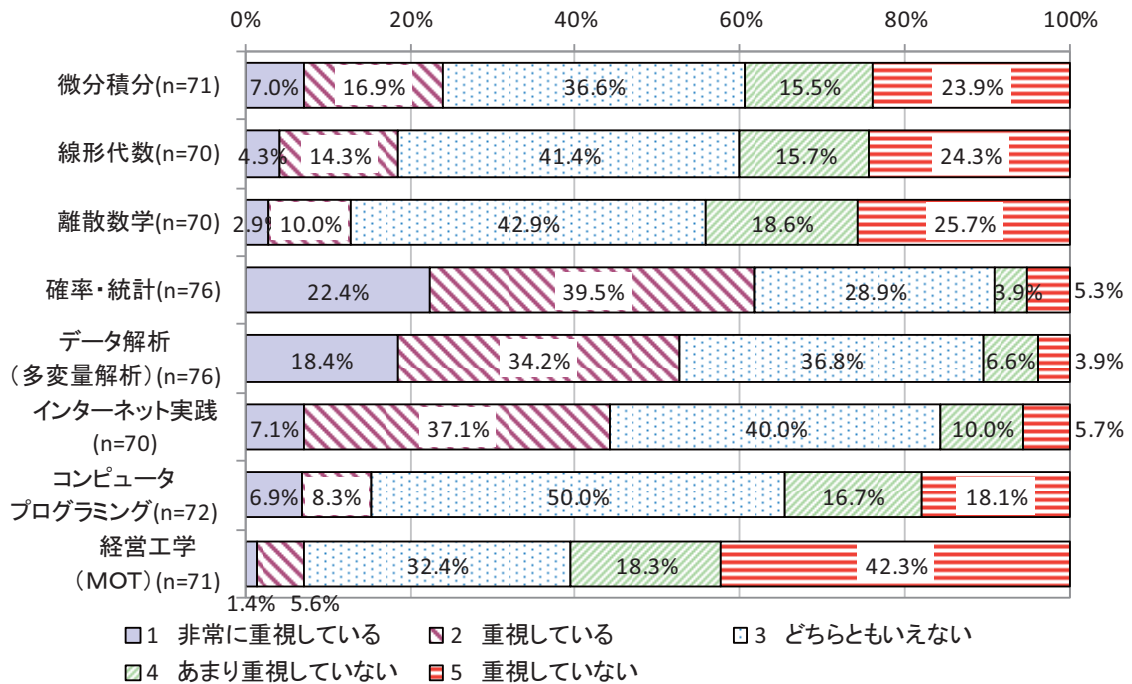
#### Q5-6 ⑥受講割合

	n	受講割合
微分積分	8	2.4
線形代数	8	1.3
離散数学	3	2.3
確率・統計	27	4.6
データ解析(多変量解析)	20	4.2
インターネット実践	9	3.7
コンピュータプログラミング	16	2.9
経営工学(MOT)	3	1.0

2-4-2 重視度

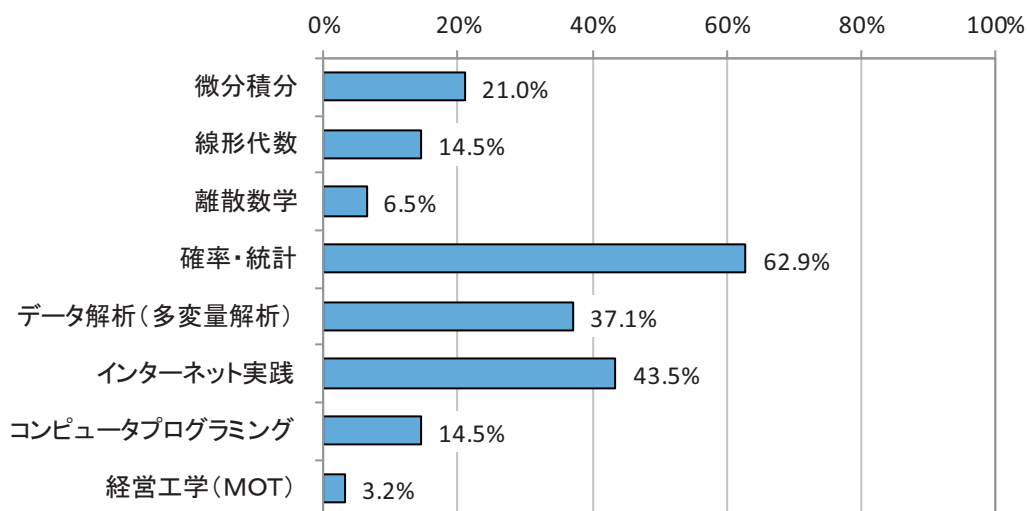


Q6-1 どの程度重視しているか (修士課程)

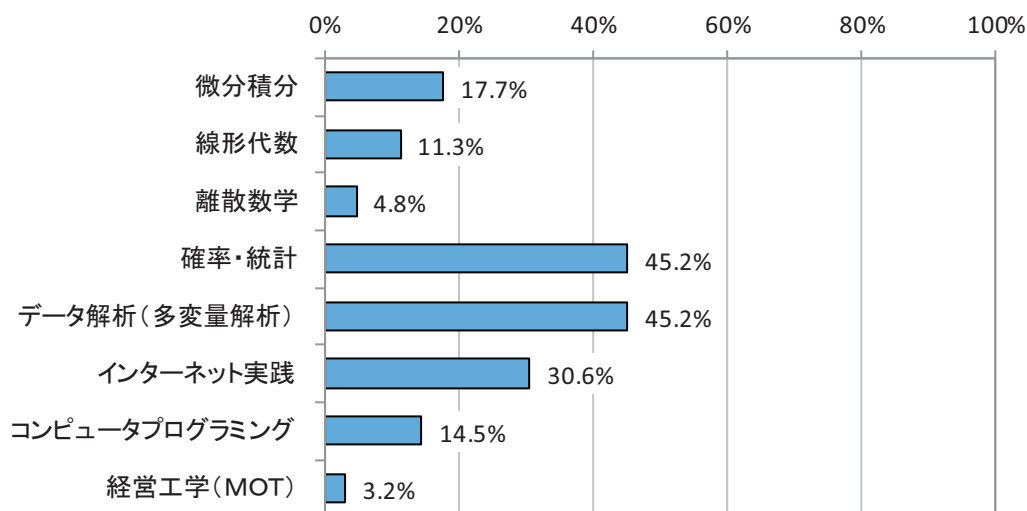


Q6-1 どの程度重視しているか (修士課程)

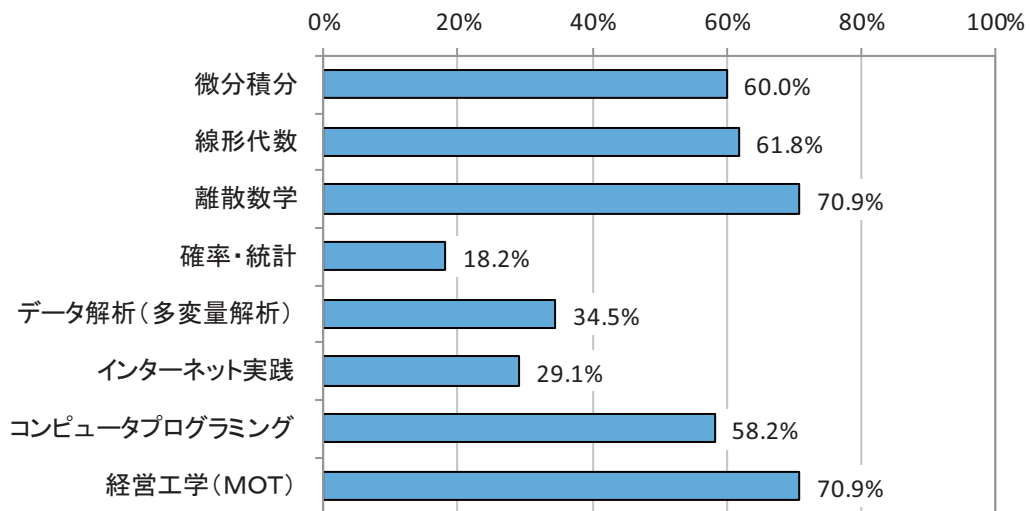
### 2-4-3 習得度



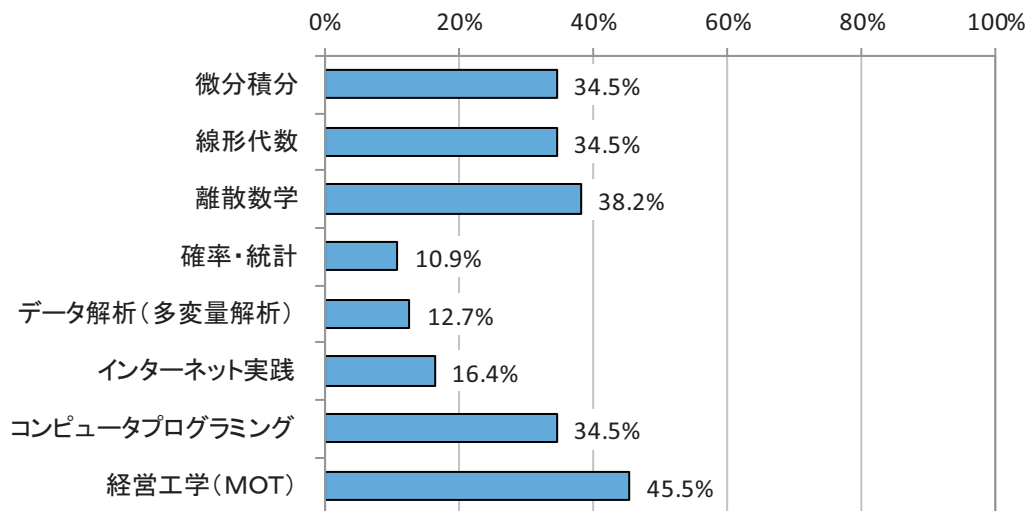
Q6-2 卒業時の学生に特に身につけている能力：修士課程 (n=62：複数回答)



Q6-2 卒業時の学生に特に身につけている能力：博士課程 (n=62：複数回答)

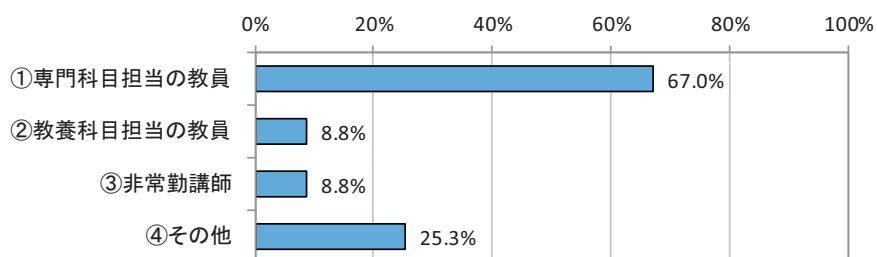


Q6-3 卒業時の学生に特に身につけていない能力：修士課程 (n=55：複数回答)

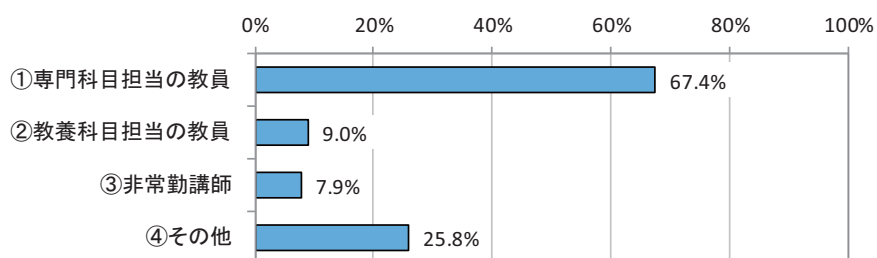


Q6-3 卒業時の学生に特に身につけていない能力：博士課程 (n=55：複数回答)

#### 2-4-4 担当者

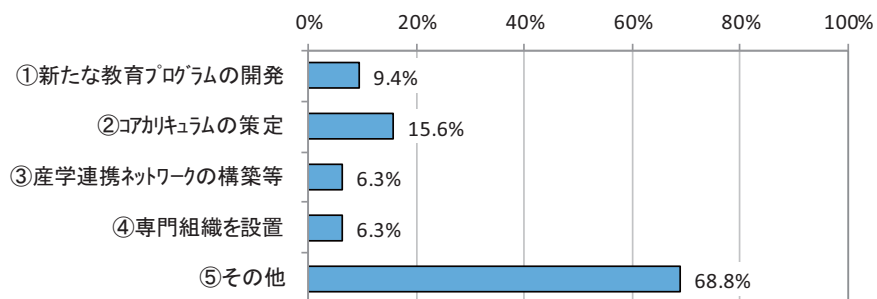


Q7-1 誰が担当しているか：数理教育 (n=91：複数回答)

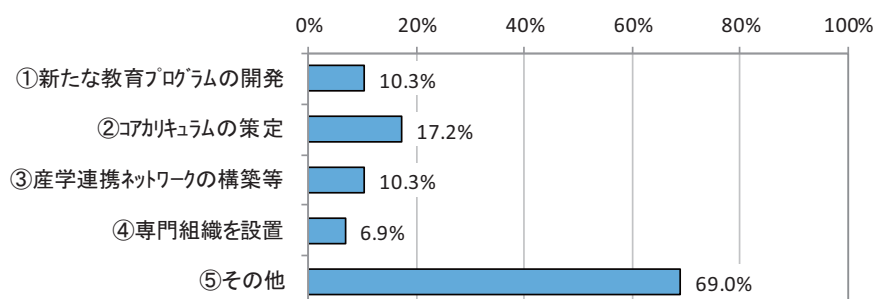


Q8-1 誰が担当しているか：データサイエンス教育 (n=89：複数回答)

#### 2-4-5 推進のための取組



Q7-2 実施している取組はあるか：数理教育 (n=32：複数回答)

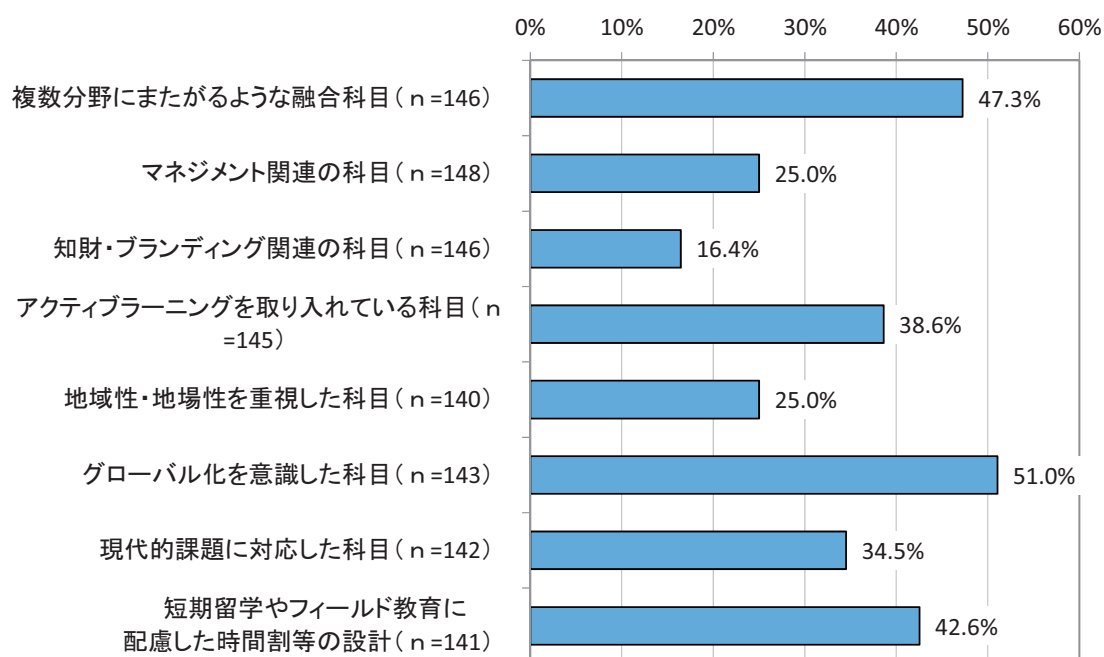


Q8-2 実施している取組はあるか：データサイエンス教育 (n=29：複数回答)

### Q7-2、8-2 その他の内容

各指導教員担当
専門分野で必要な場合、実施する
特にないが、修士論文や博士論文のための研究時に各自が習得する
データ解析については、各教員が必要に応じて講義の中や研究室内のゼミ等で教育している。
各指導教員担当
必要に応じて外部講習
各研究室で必要に応じて行っている
各科目の一部として専門科目担当の教員が個別に対応
各研究室単位で行っている
特にないが、修士論文や博士論文のための研究時に各自が習得する。

### 2-5 特徴的な科目



### Q12 開講状況

※授業の内容については、別紙参照のこと。

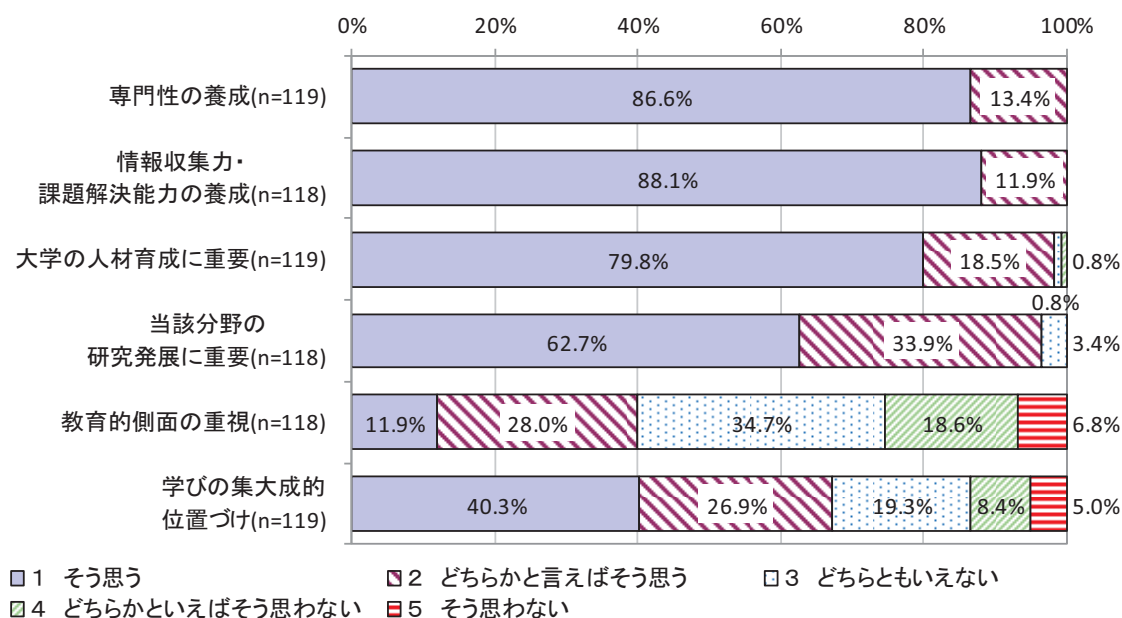
2-6 修士研究

2-6-1 修士研究の状況

Q10-2 学生が修士論文等に要する時間等

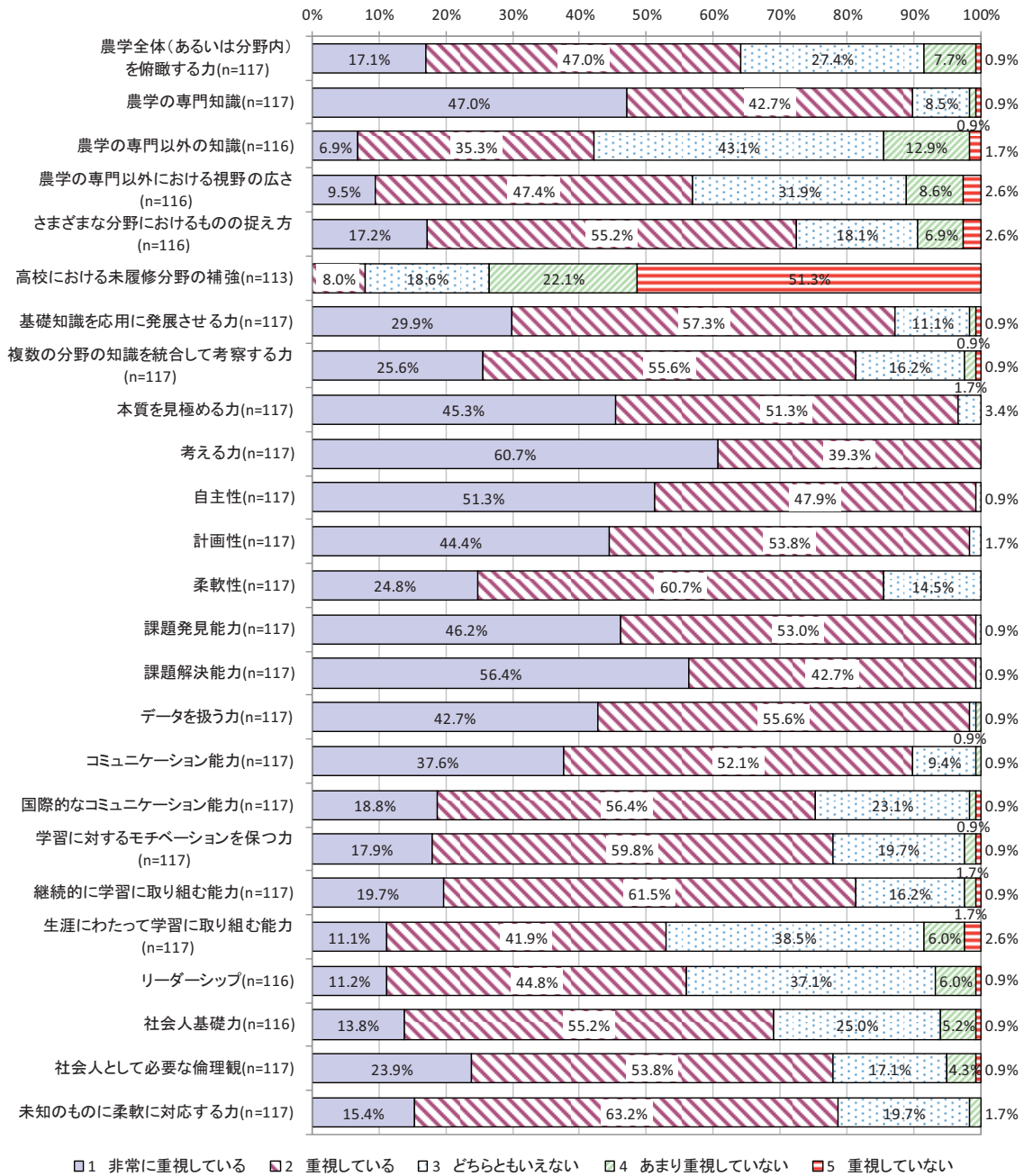
	n	平均
修士論文 完成必要な週	102	21.4
修士論文 完成に必要な年間時間	104	1,127.6
教員1人当たり指導学生数	118	3.2
教員の修論指導_エフォート率	112	21.3

2-6-2 修士研究に関する考え方



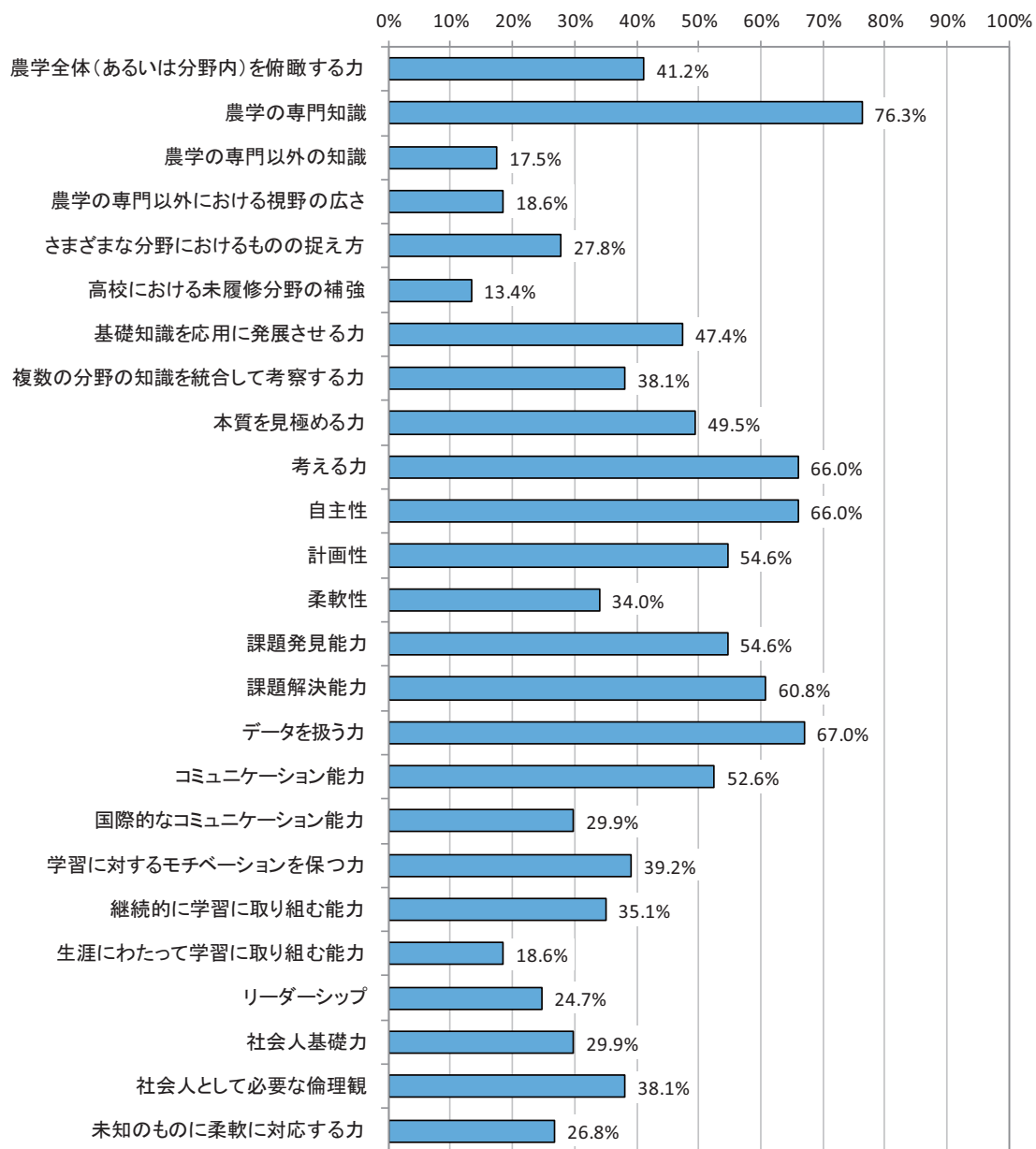
Q11 研究に関する考え方：修士研究

### 2-6-3 修士研究を通じた能力育成

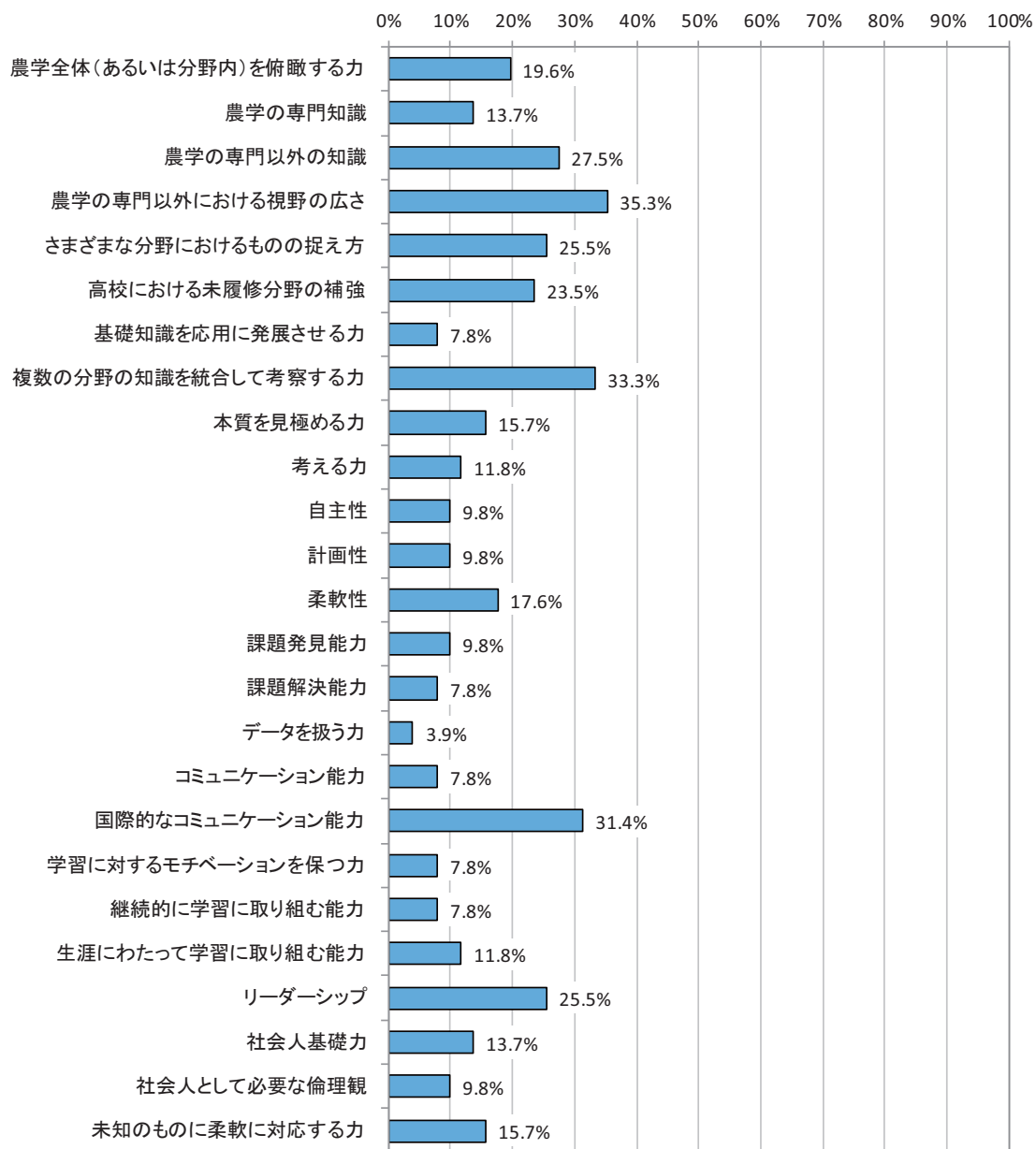


Q12-1 どのような能力の育成を重視しているか：修士研究

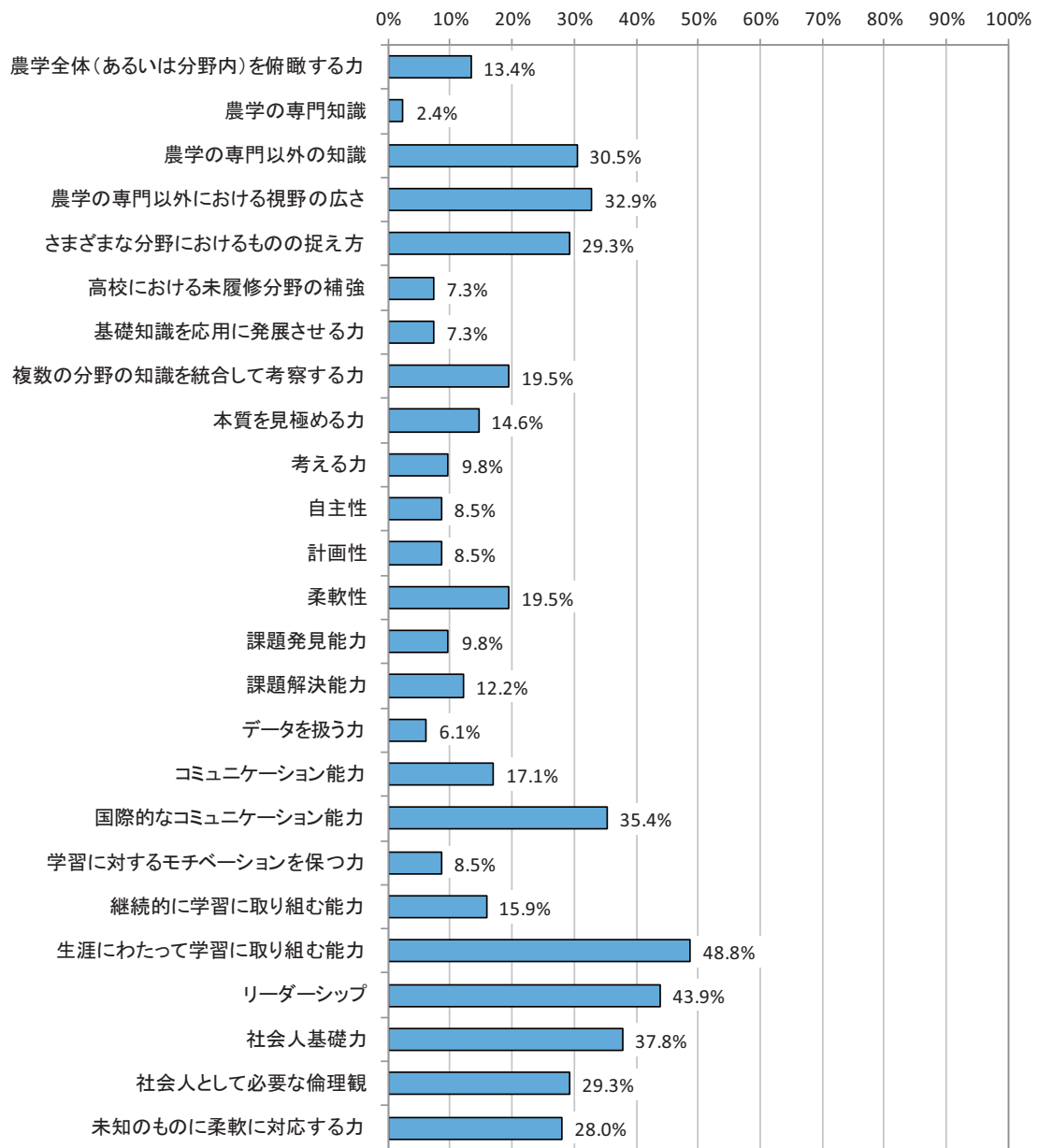




Q12-2 修士研究を通じて特に身につけている能力 (修士研究：n=97)



Q12-3 修士研究を通じて特に身につけていない能力 (修士研究 : n=51)



Q12-4 就職後に身につけて欲しい能力 (修士研究 : n=82)

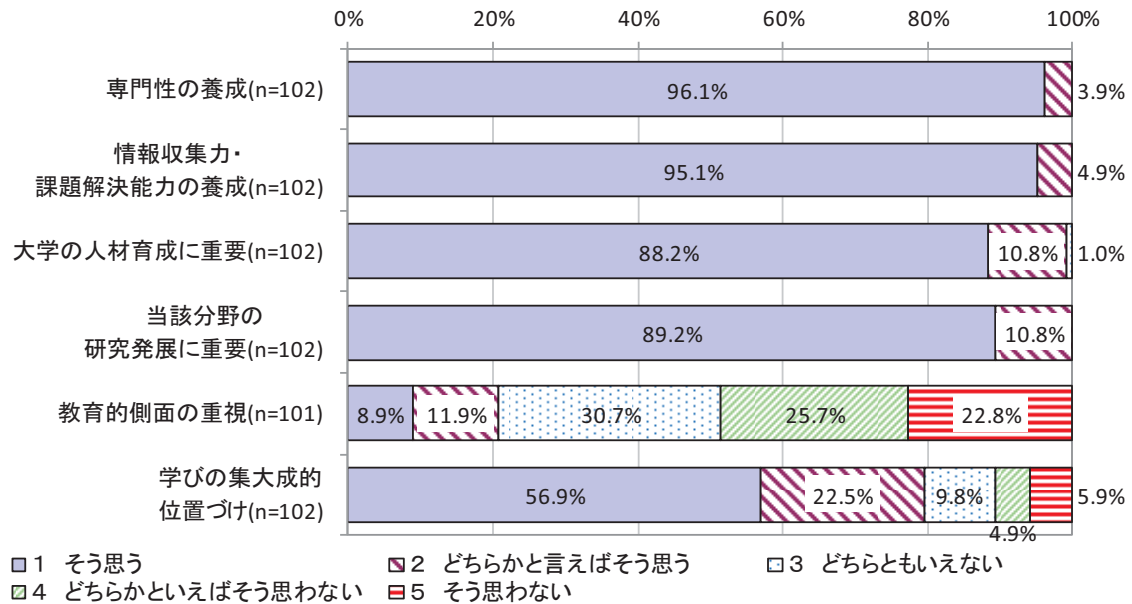
2-7 博士研究

2-7-1 博士研究の状況

Q10-2 学生が博士論文等に要する時間等

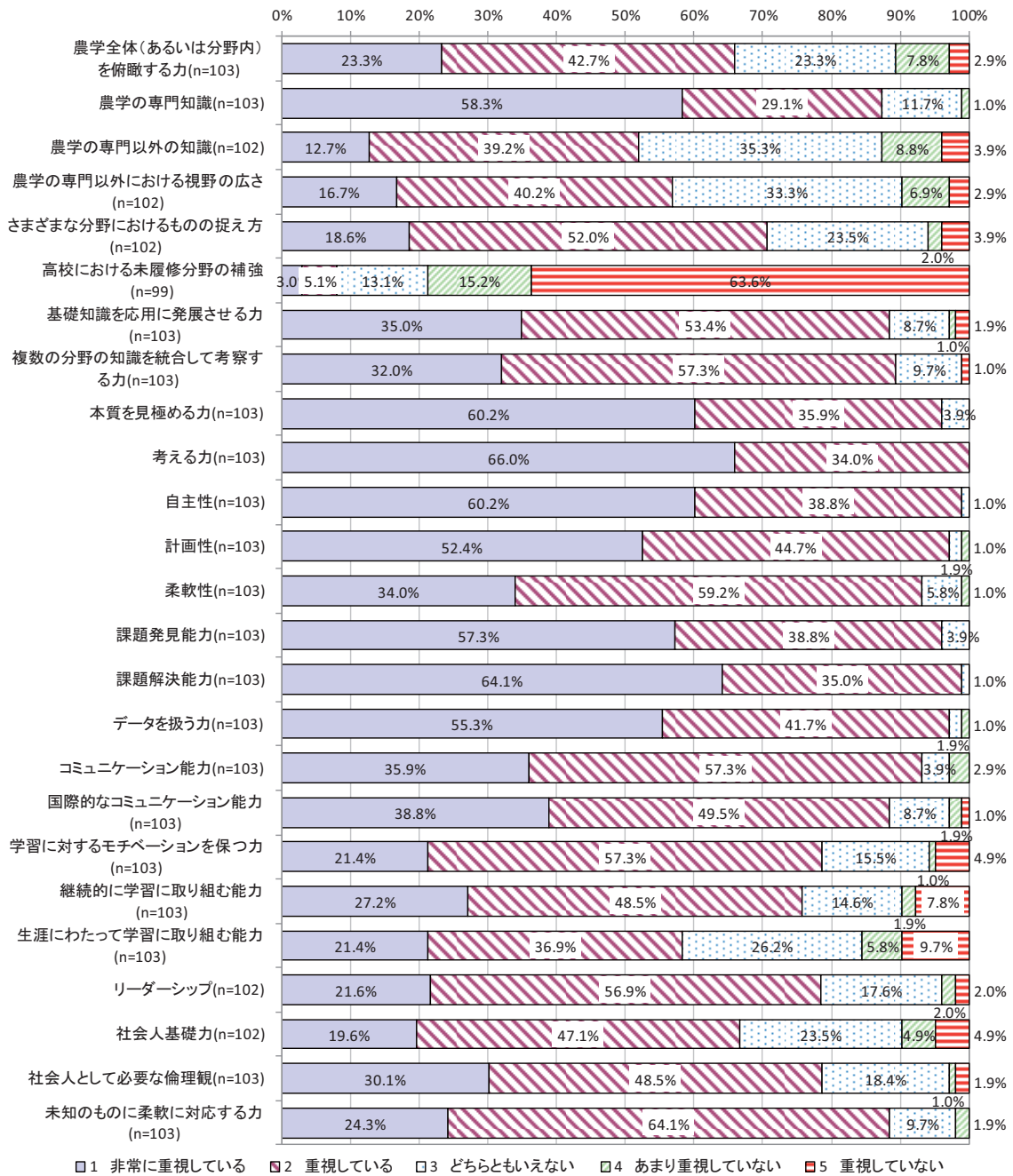
	n	平均
博士論文 完成必要な週	76	31.3
博士論文 完成に必要な年間時間	72	1,784.4
教員1人当たり指導学生数	92	1.5
教員の博論指導_エフォート率	78	17.6

2-7-2 博士研究に関する考え方

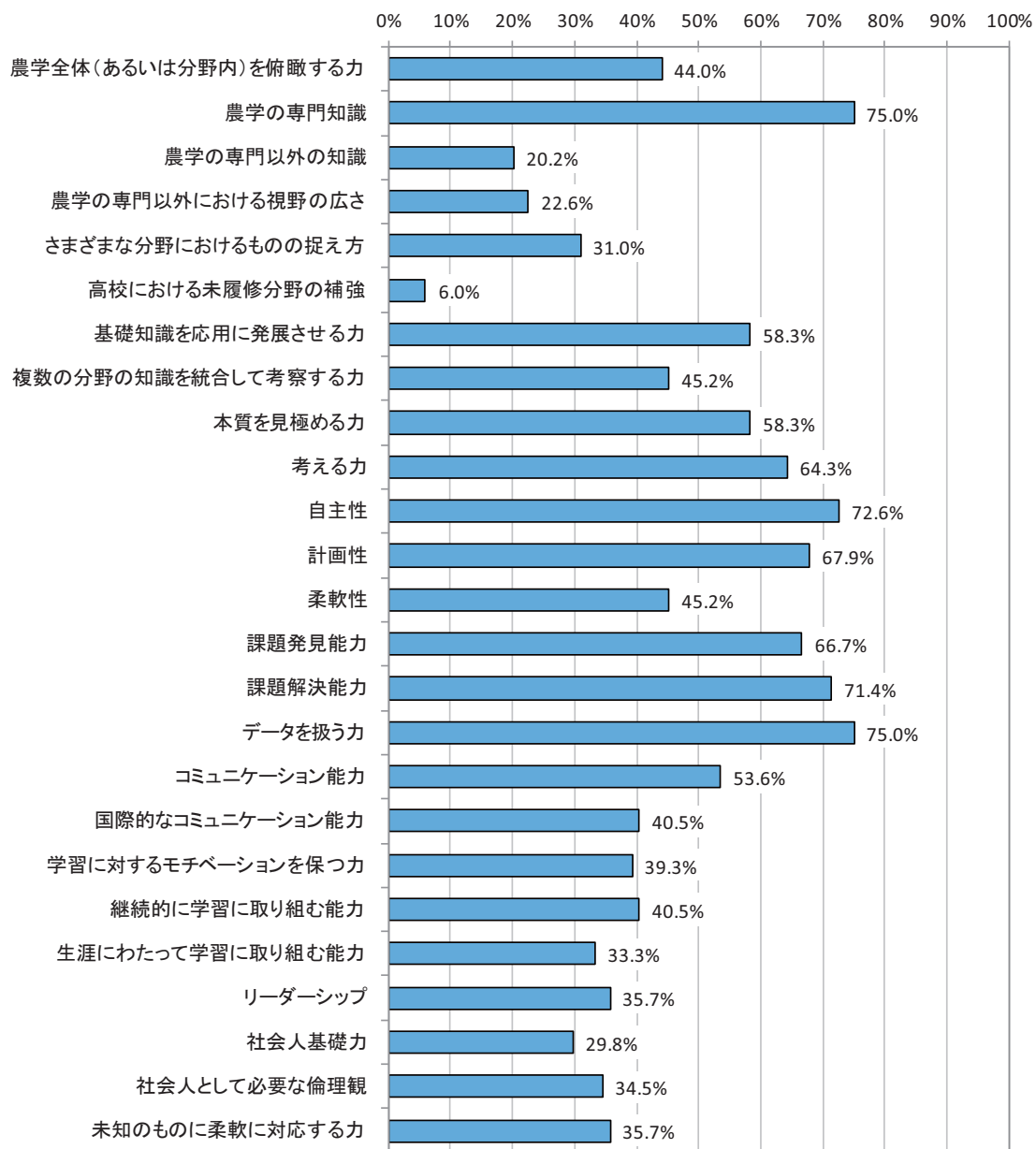


Q11 研究に関する考え方：博士研究

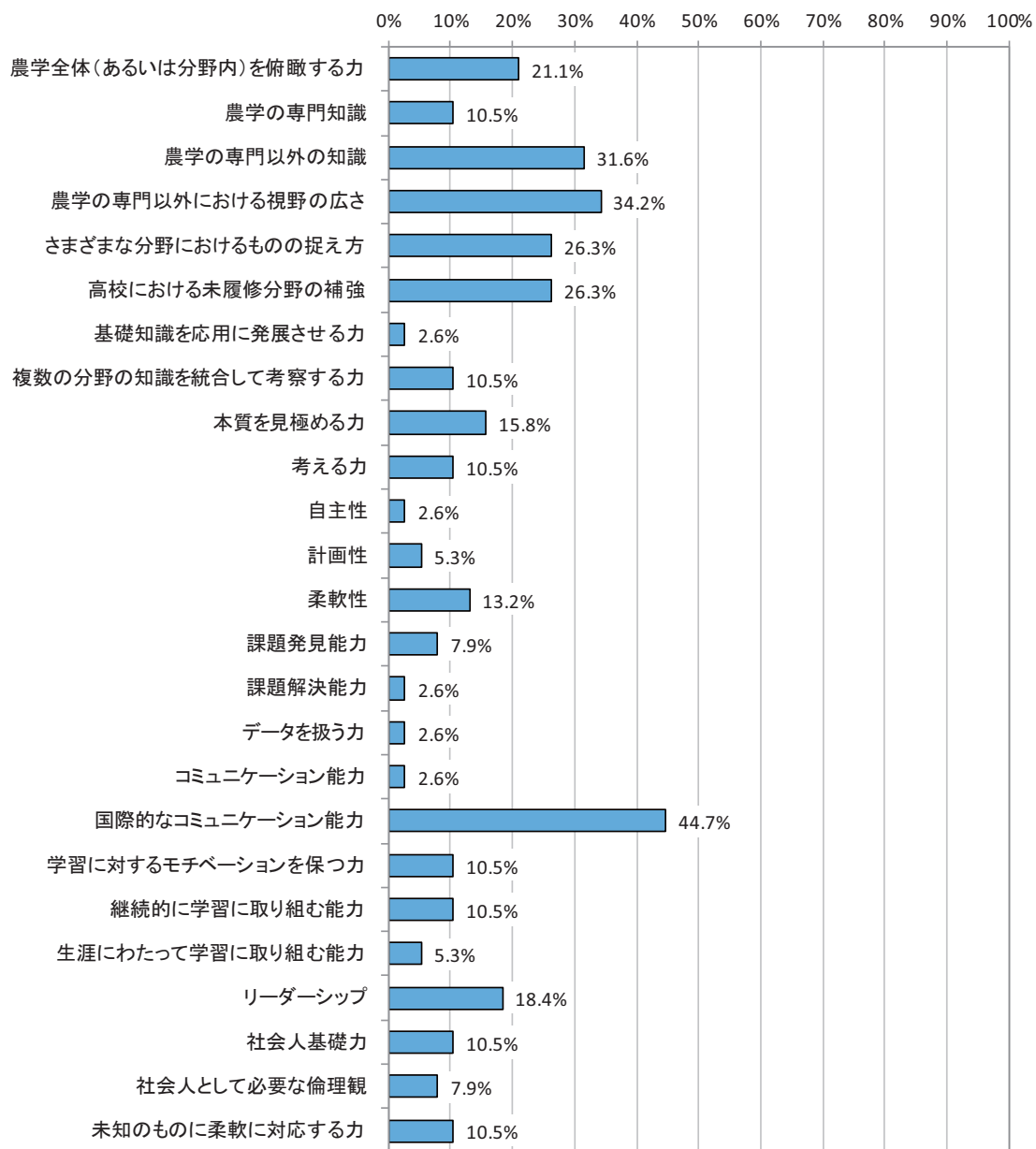
### 2-7-3 博士研究を通じた能力育成



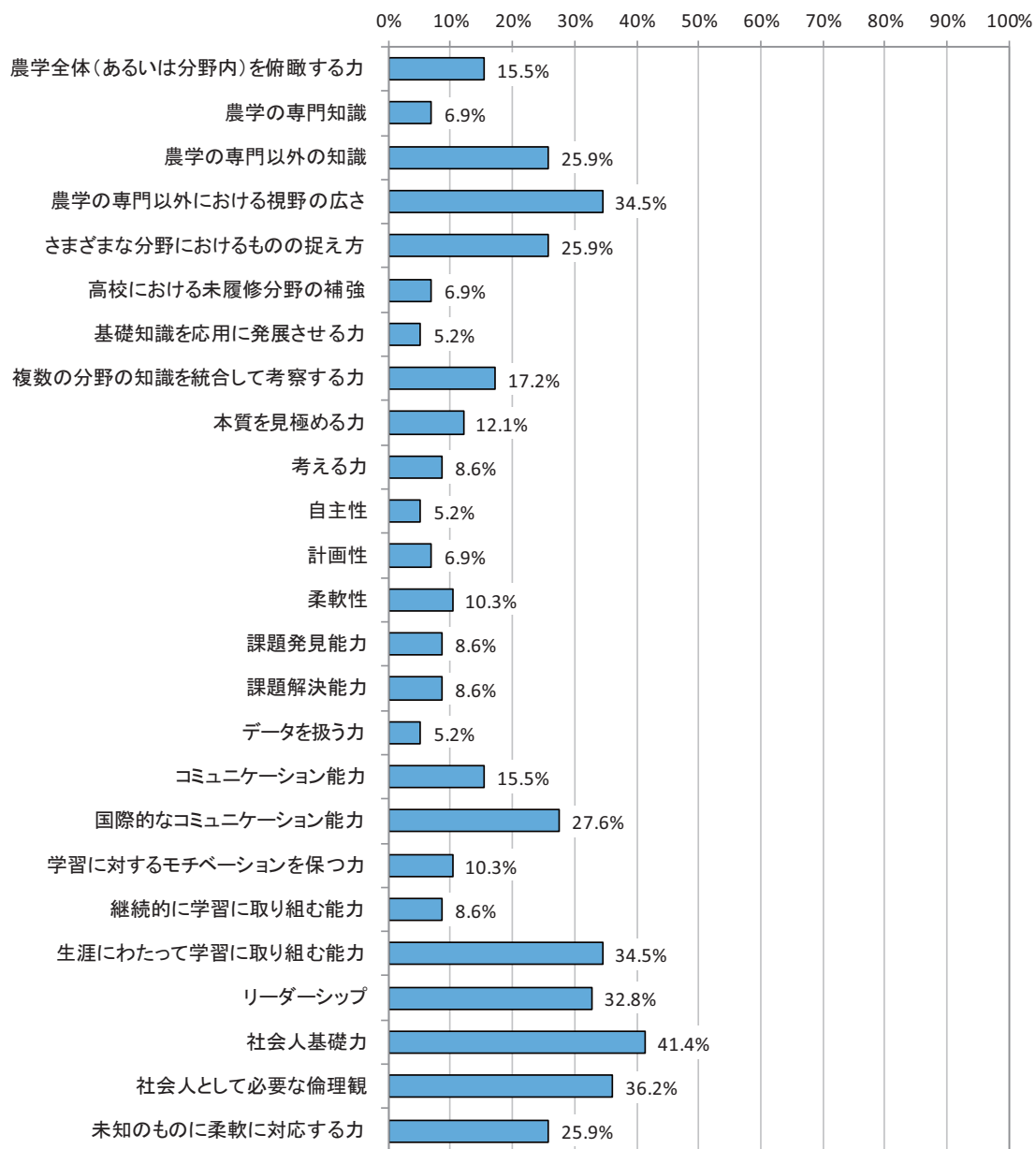
Q12-1 どのような能力の育成を重視しているか：博士研究



Q12-2 博士研究を通じて特に身につけている能力 (博士研究：n=84)



Q12-3 博士研究を通じて特に身につけていない能力 (博士研究 : n=38)

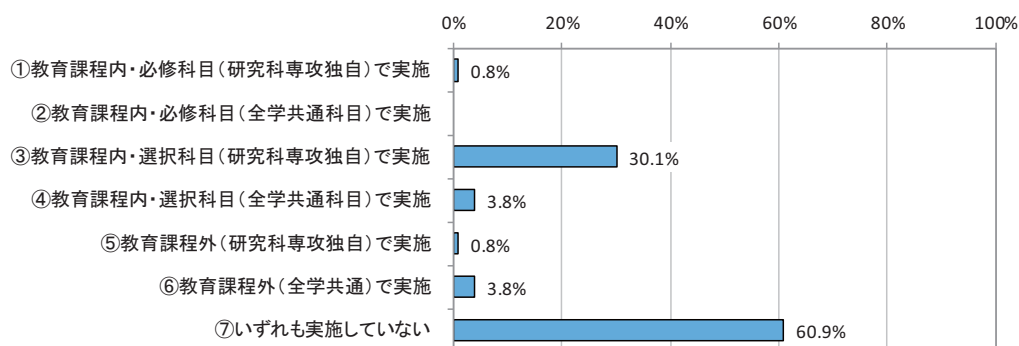


Q12-4 就職後に身につけて欲しい能力 (博士研究 : n=58)



## 2-8 インターンシップ等の就業体験

### 2-8-1 実施状況

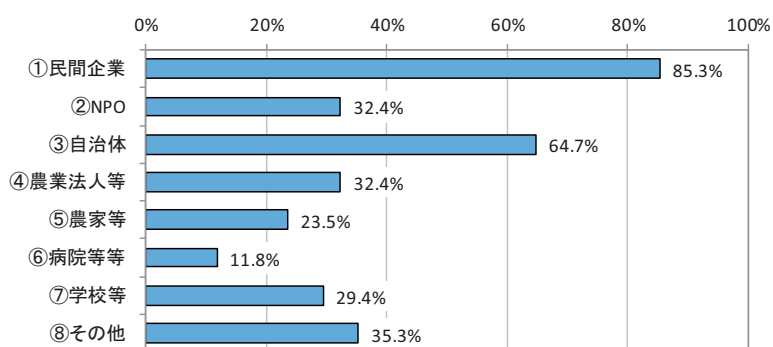


#### Q13-1 実施しているインターンシップ等の就業体験 (n=133 : 複数回答)

#### Q13-2 ④参加学生数、⑤関係教員数

	n	平均
参加学生数	25	5.1
関係教員数	36	7.6

### 2-8-2 学生の派遣

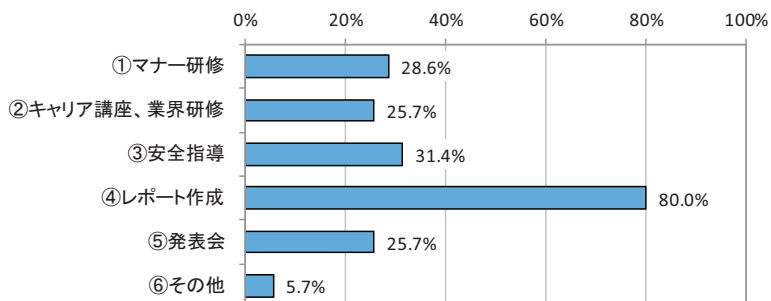


#### Q13-2 ⑥学生の派遣先 (n=34 : 複数回答)

#### Q13-2 ⑦派遣先の企業等数、⑧平均派遣日数

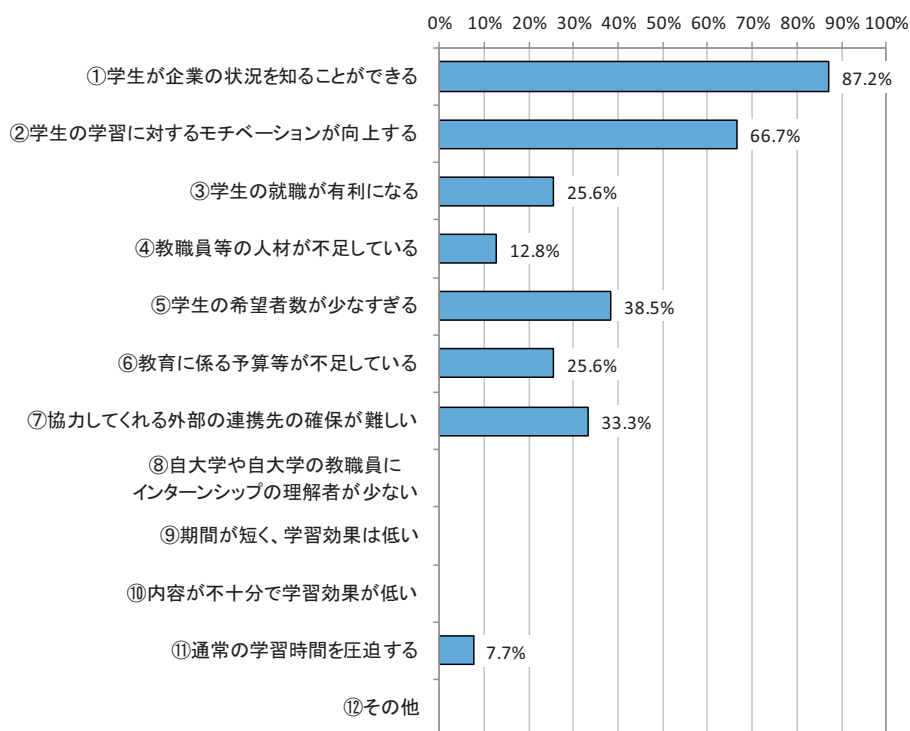
	n	平均
派遣先企業数	41	2.9
平均派遣日数	34	6.1

### 2-8-3 教育内容



Q13-2 ⑨派遣前後の教育内容 (n=35 : 複数回答)

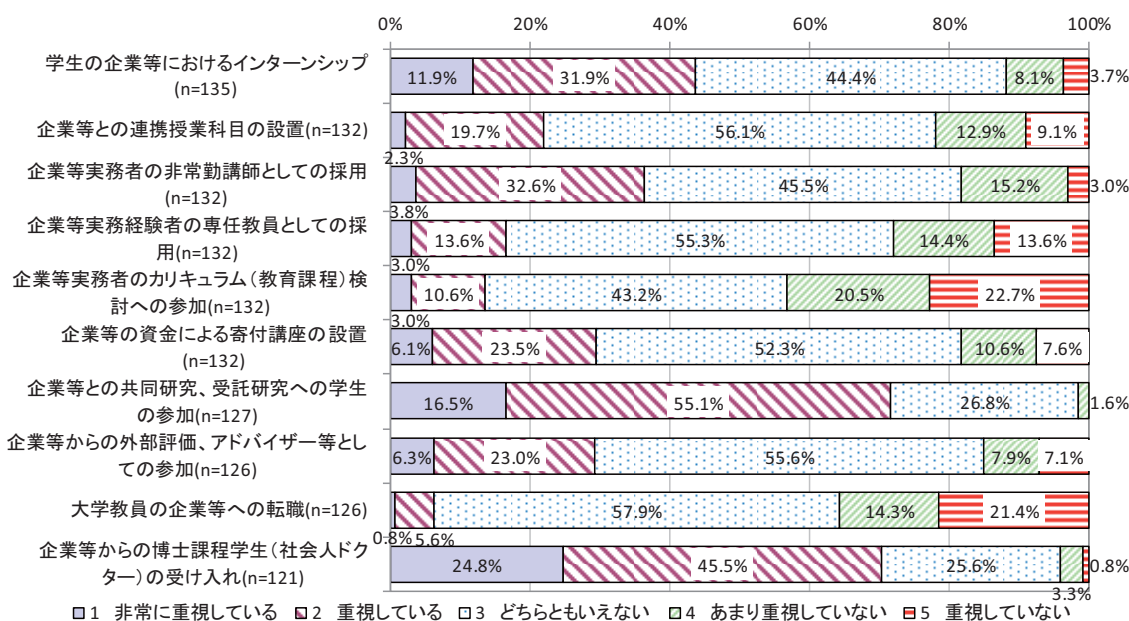
### 2-8-4 インターンシップ教育に関する意義・課題



Q13-2 ⑩インターンシップ教育に関する考え方 (n=39 : 複数回答)

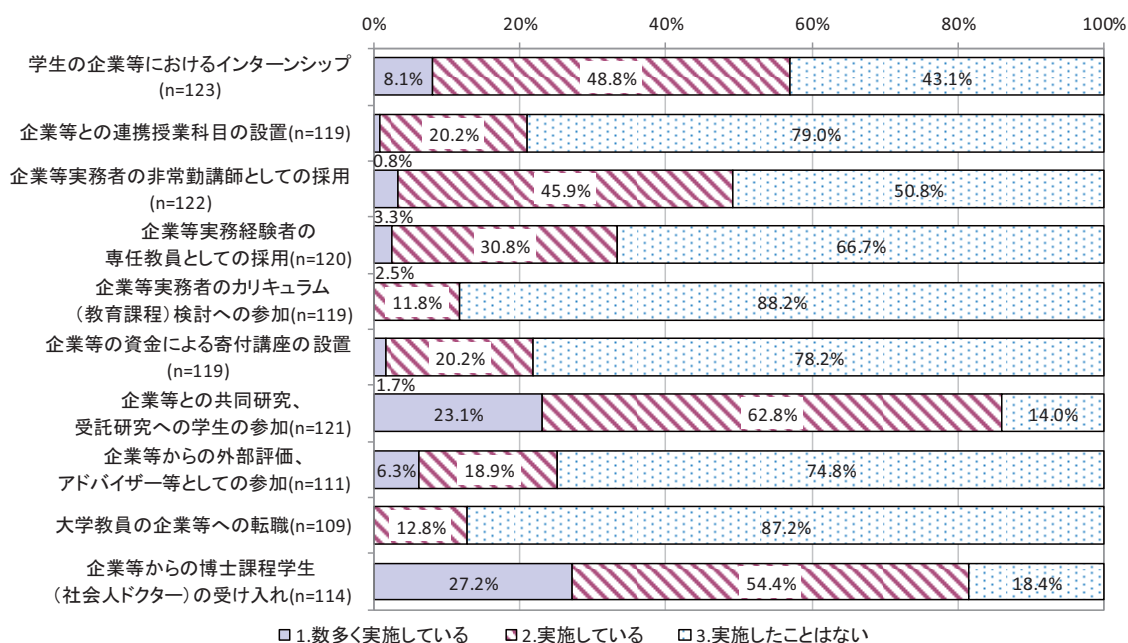
## 2-9 産学連携の推進方針

### 2-9-1 重視度



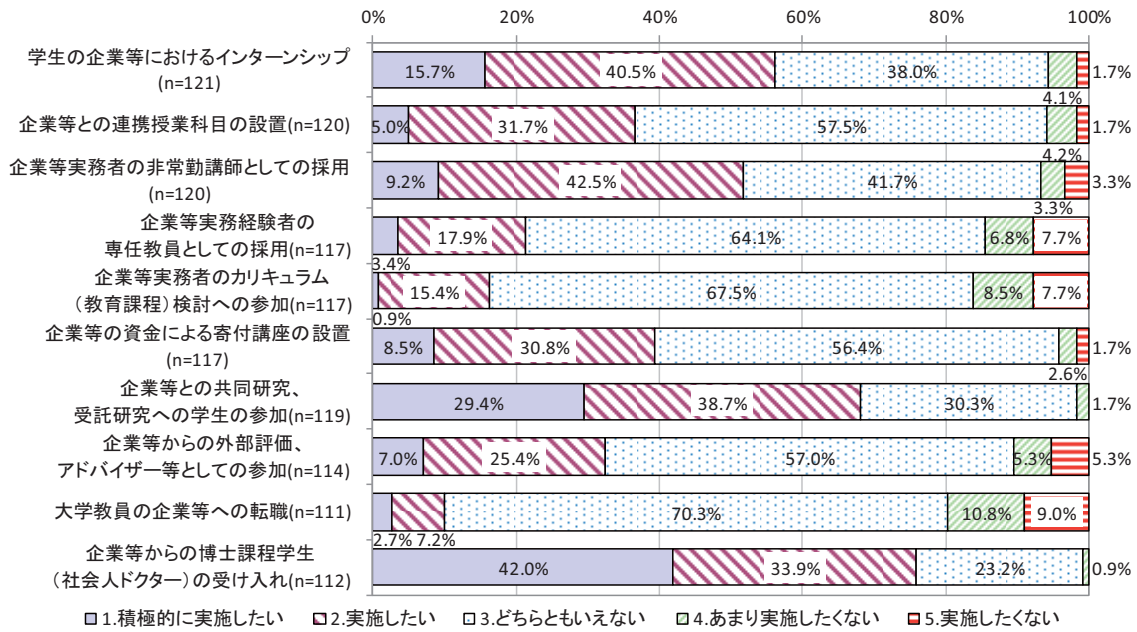
Q14-1 産学連携の各項目について、どの程度重視しているか

### 2-9-2 実施経験



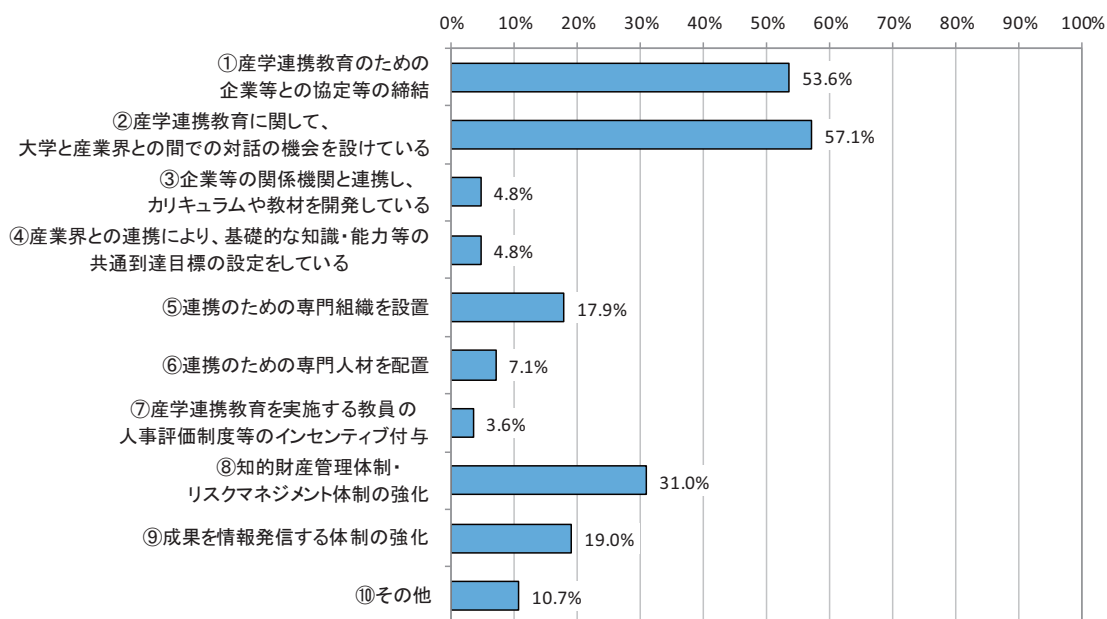
Q14-2 産学連携の各項目について、実施したことはあるか

### 2-9-3 今後の実施意向



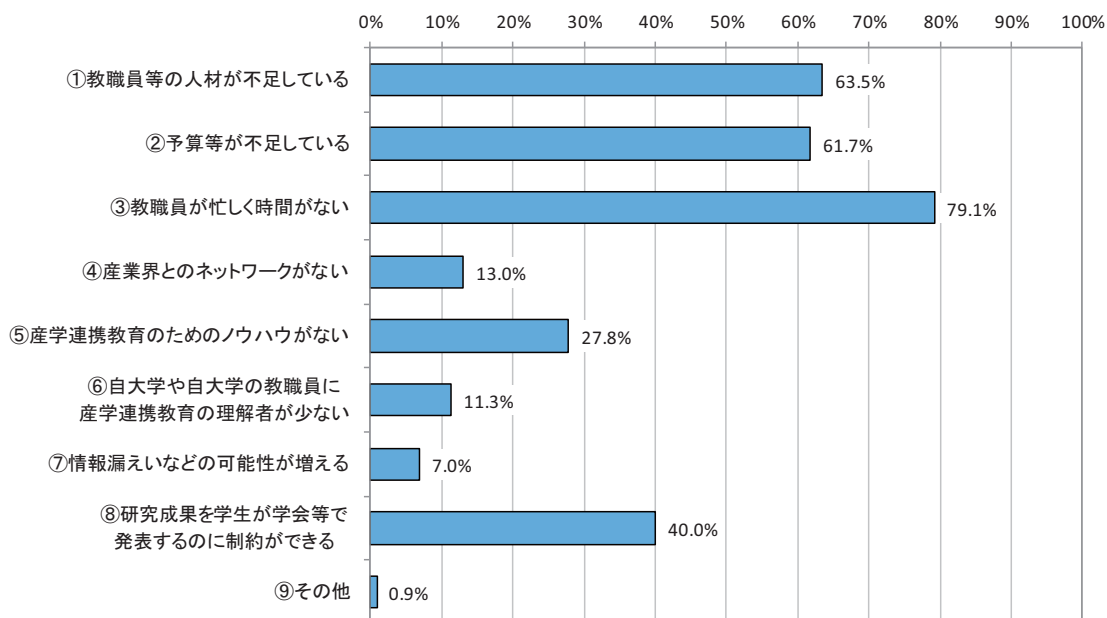
Q14-3 産学連携の各項目について、今後実施する意向はあるか

#### 2-9-4 推進のための取組



Q15 産学連携教育を推進するために実施している取組はあるか (n=84 : 複数回答)

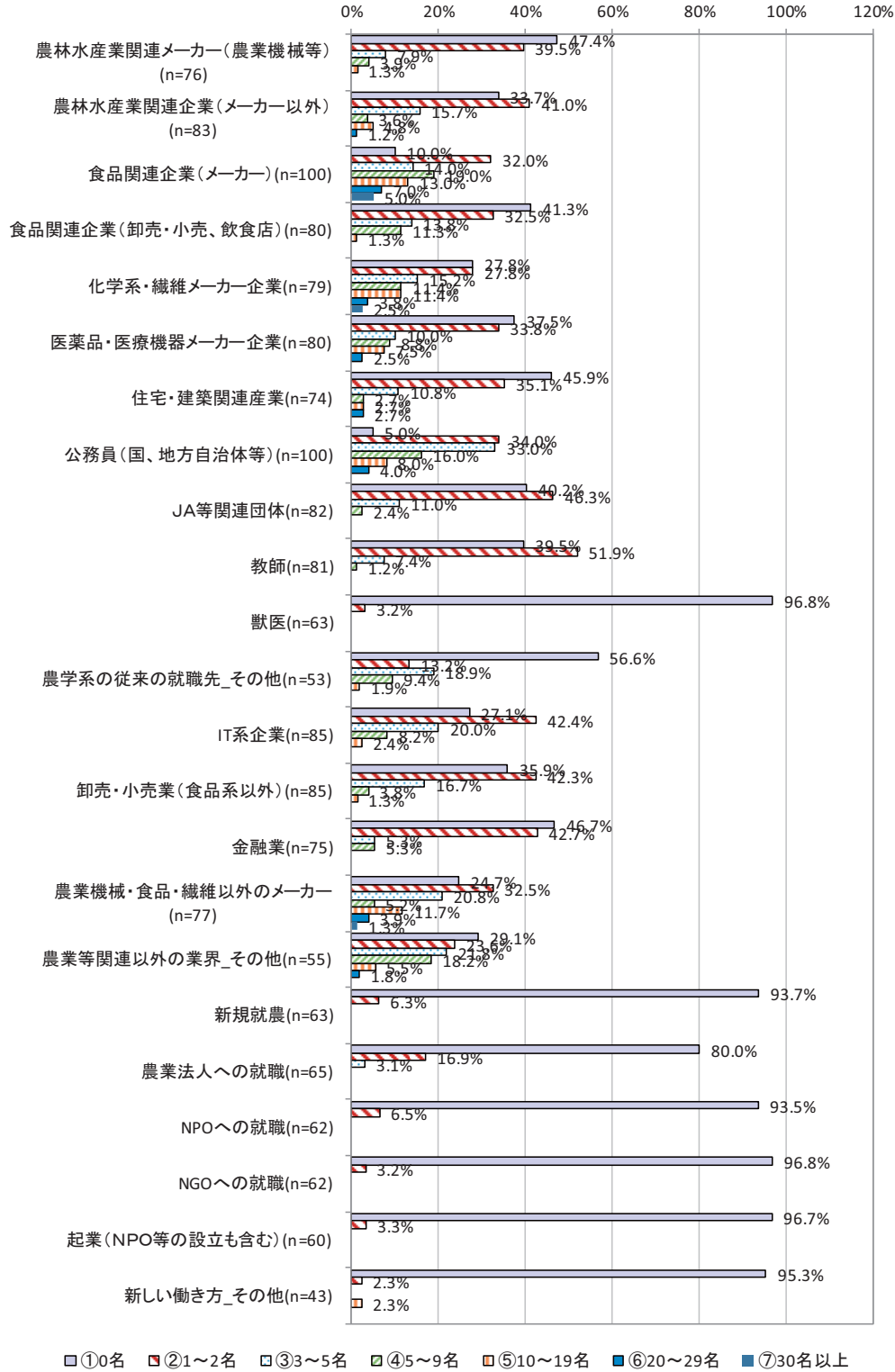
#### 2-9-5 推進に向けた課題



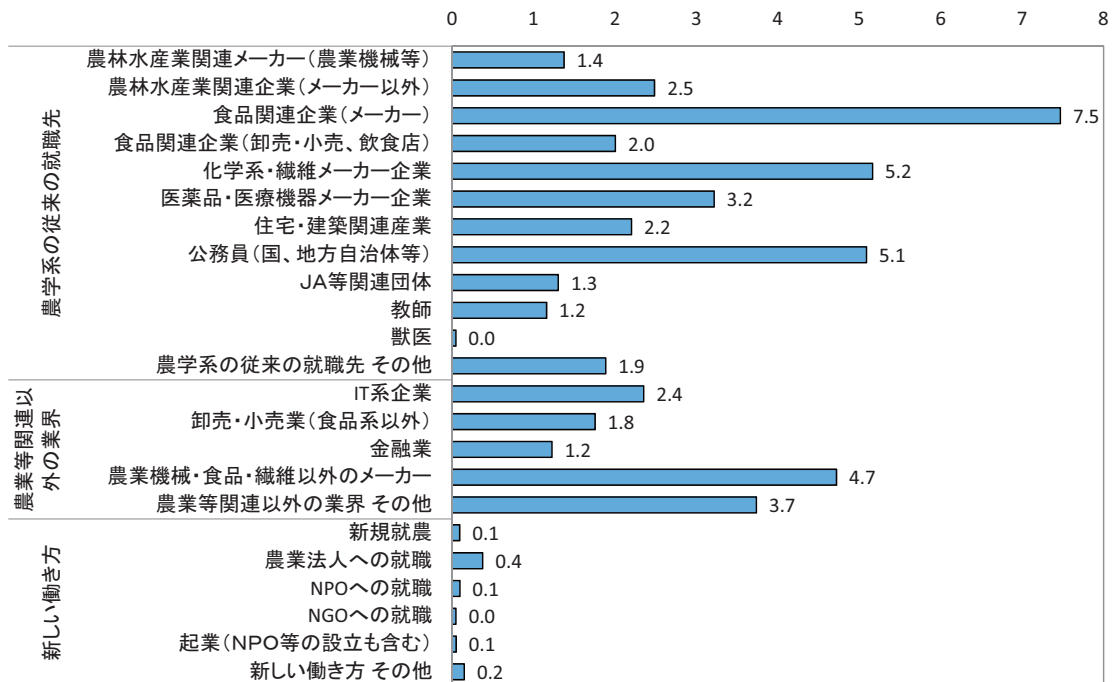
Q16 産学連携教育を推進に向けた課題について (n=115 : 複数回答)

2-10 卒業生の就職状況

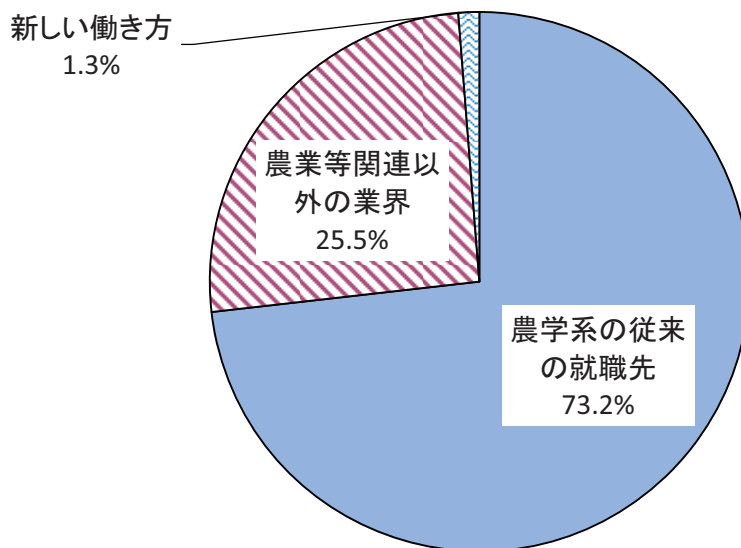
2-10-1 就職者数



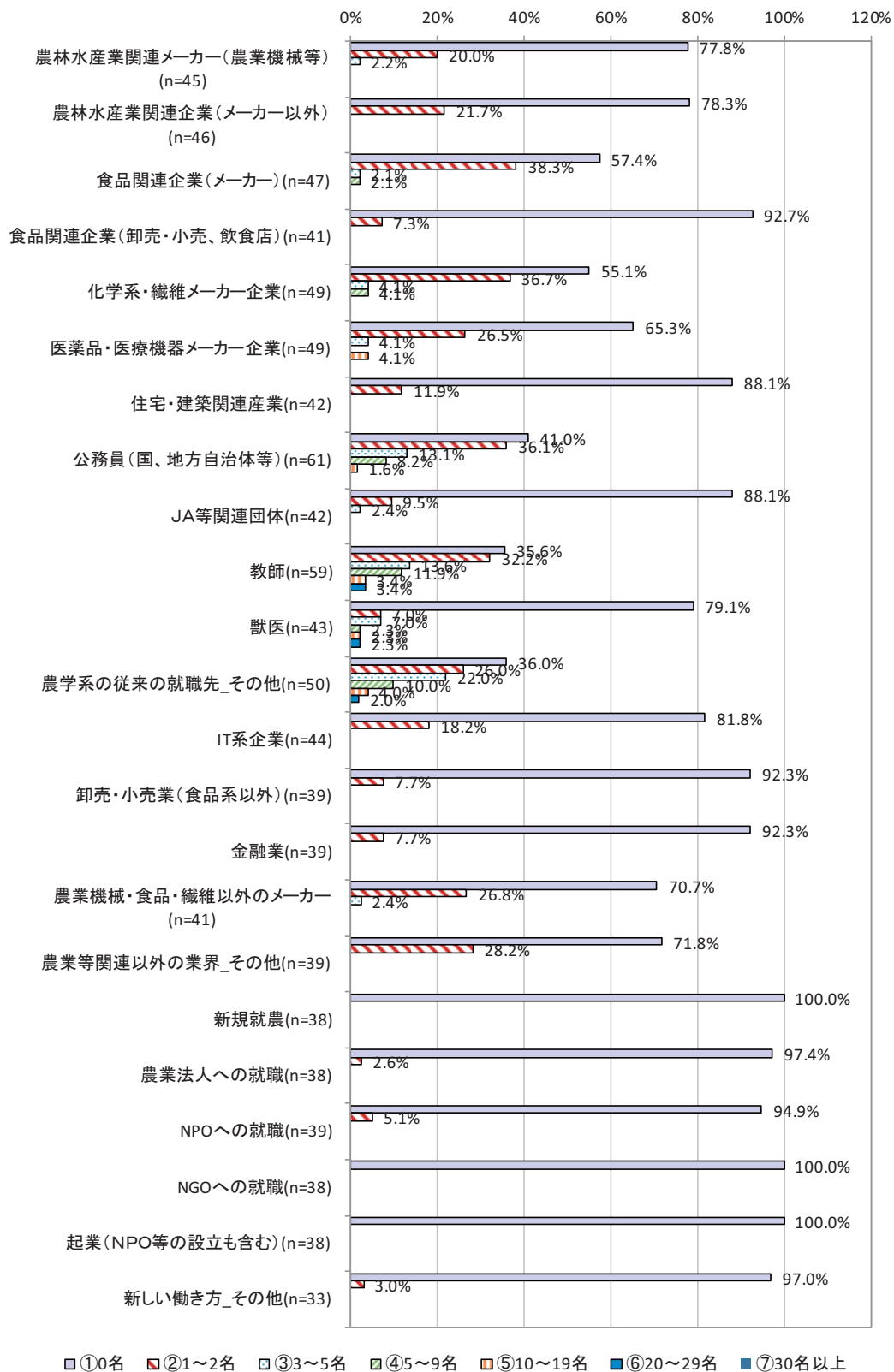
Q17 卒業生の就職先別就職者数：修士課程



Q17 卒業生の就職先別就職者数：修士課程（単位：人）

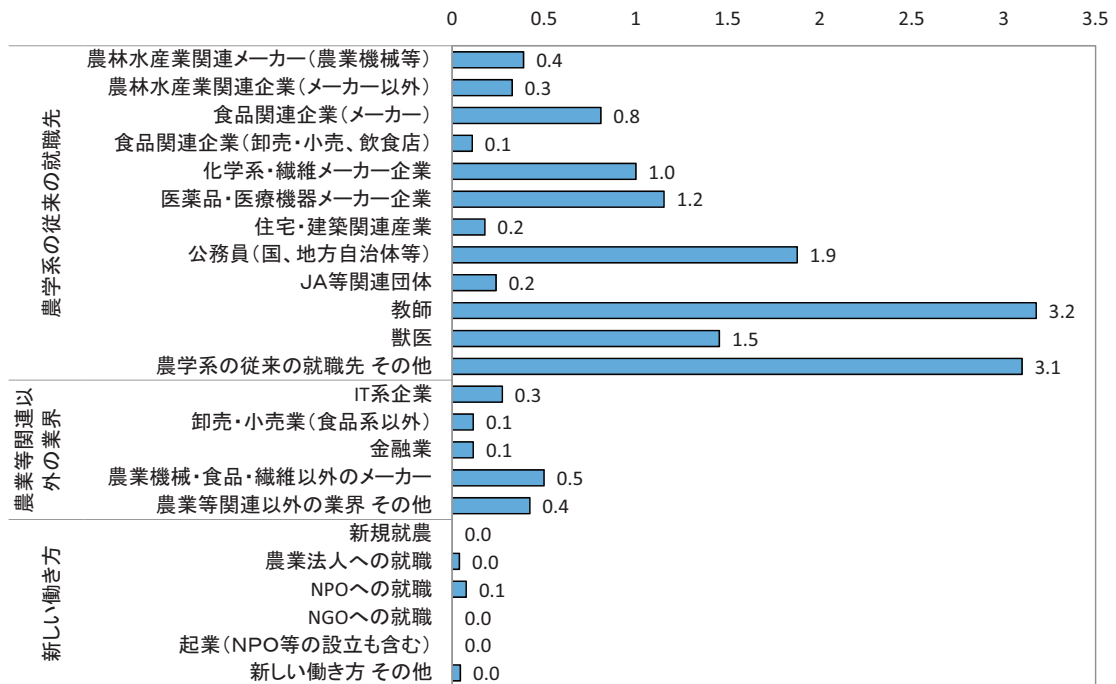


Q17 卒業生の就職先別就職者構成比：修士課程

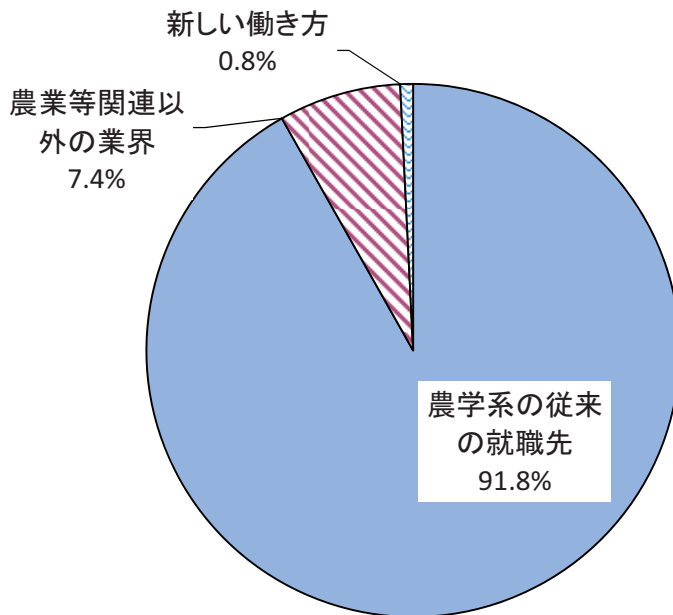


Q17 卒業生の就職先別就職者数：博士課程





Q17 卒業生の就職先別就職者数：博士課程（単位：人）



Q17 卒業生の就職先別就職者構成比：博士課程

Q18 就職者の就職先地域の割合：修士課程

	n	就職割合
都道府県内	100	3.3
近隣県内	89	3.3
地元に戻って	74	1.9

Q18 就職者の就職先地域の割合：博士課程

	n	就職割合
都道府県内	65	4.3
近隣県内	51	2.7
地元に戻って	43	3.1

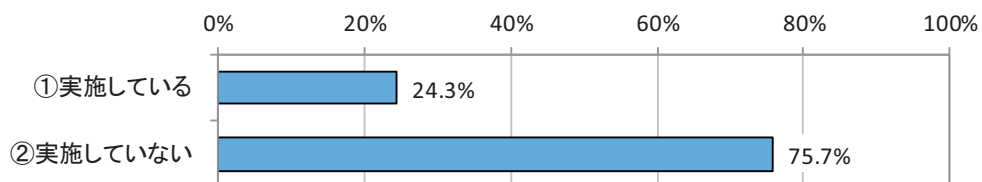
Q19 希望する修了者の就職先地域の割合：修士課程

	n	割合
都道府県内	81	3.2
近隣県内	81	3.1
地元に戻って	73	2.2

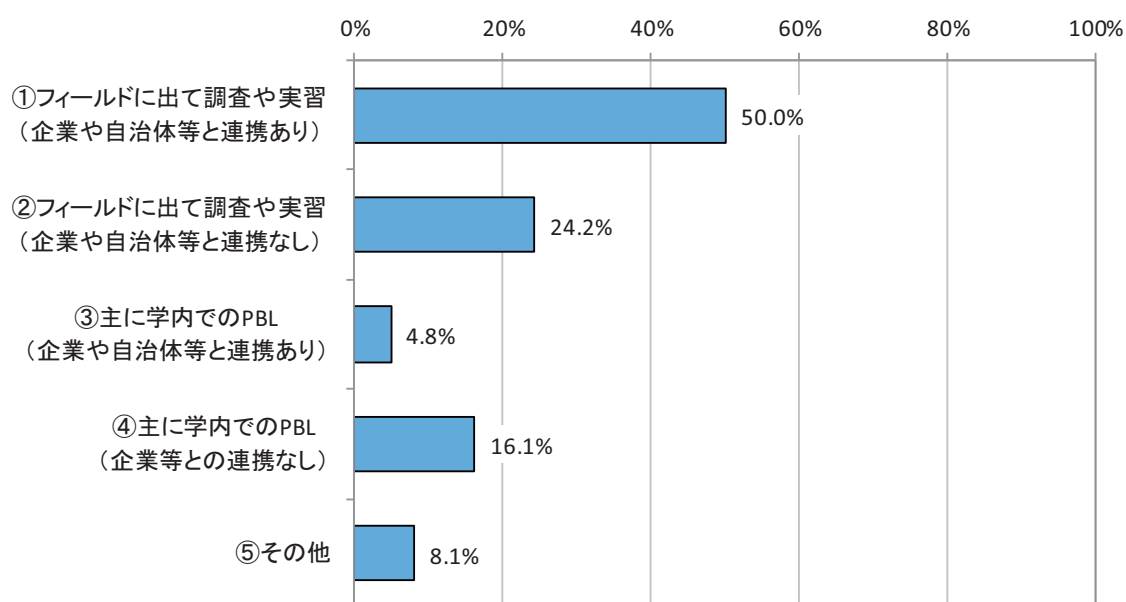
Q19 希望する修了者の就職先地域の割合：博士課程

	n	割合
都道府県内	58	3.3
近隣県内	50	2.8
地元に戻って	43	3.1

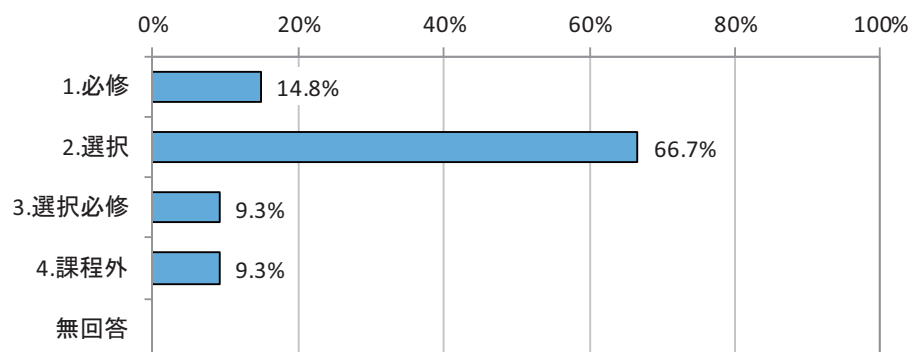
## 2-11 プロジェクト教育



Q20 実施の有無 (n=148 : 複数回答)



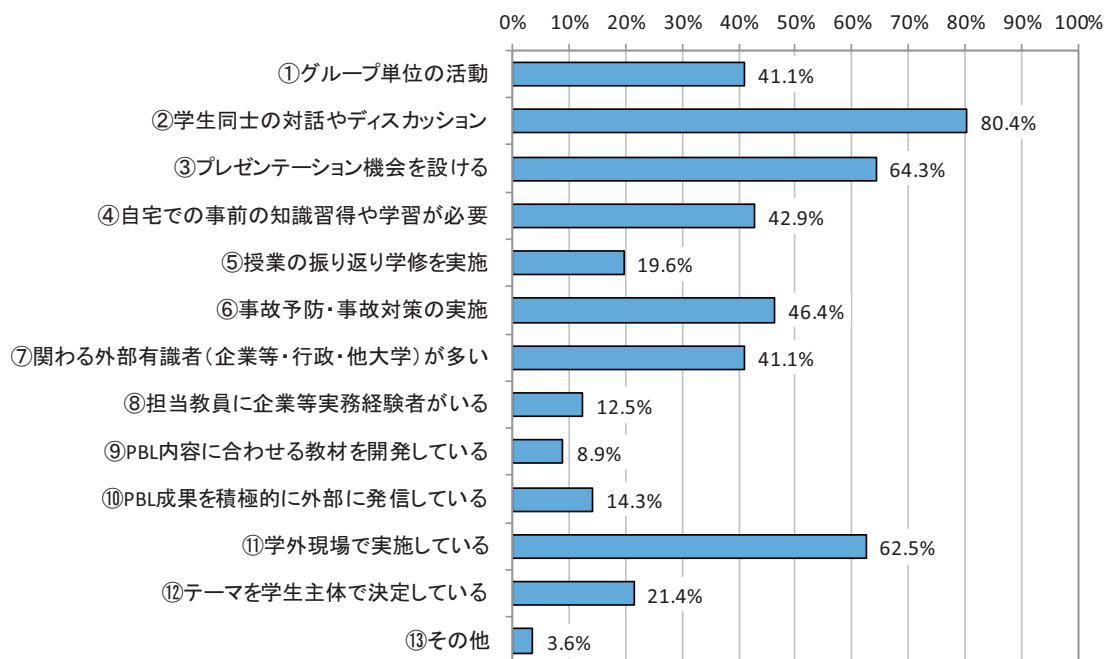
Q20 ②教育方法 (n=62 : 複数回答)



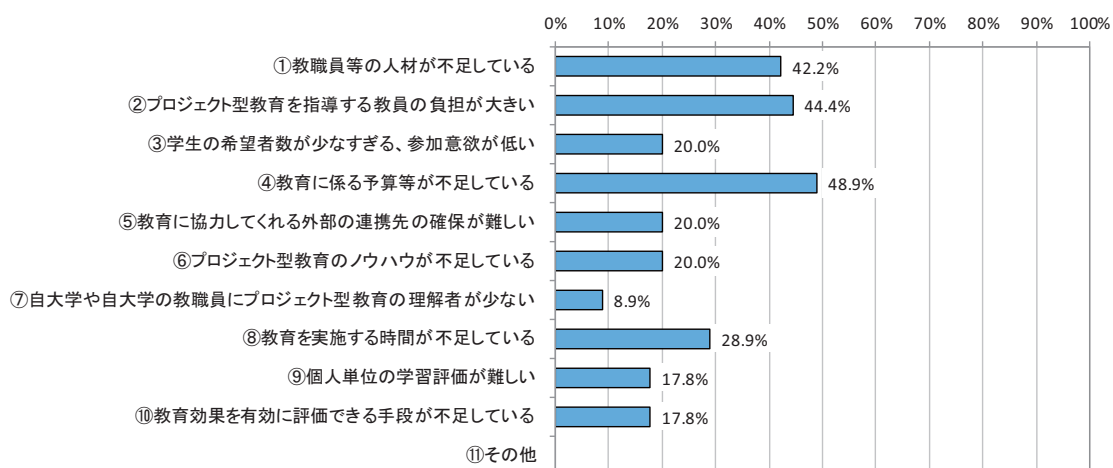
Q20 ③必修・選択・課程外 (n=54)

### Q20 ⑤参加学生数、⑥関係教員数

	n	平均
参加学生数	56	7.9
関係教員数	54	3.6



### Q20 ⑧教育における工夫点 (n=56 : 複数回答)



### Q20 ⑨教育における課題 (n=45 : 複数回答)

## 第3章 企業調査

---

### 3-1 調査概要

#### (1)対象

全国農学系学部長会議に参加する74学部の過去5年間の就職先3,464企業・団体（民間企業の他、公的機関も含む）。

#### (2)調査方法

配布：郵送

回収：郵送、WEBでの回答のいずれか

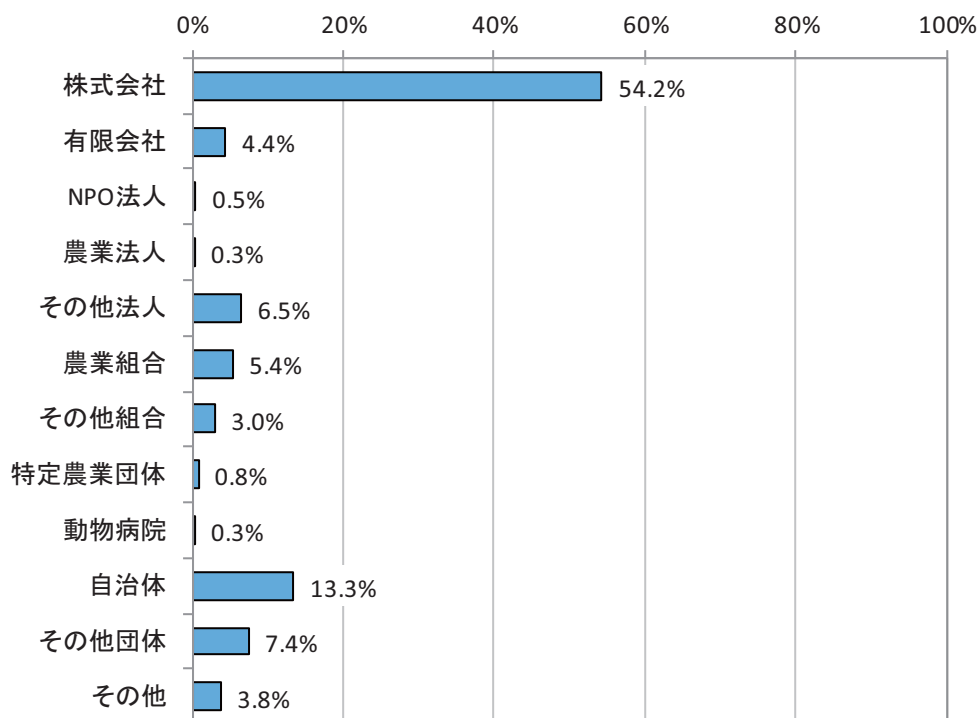
#### (3)調査時期

2016年12月16日（金）～2017年1月31日（火）

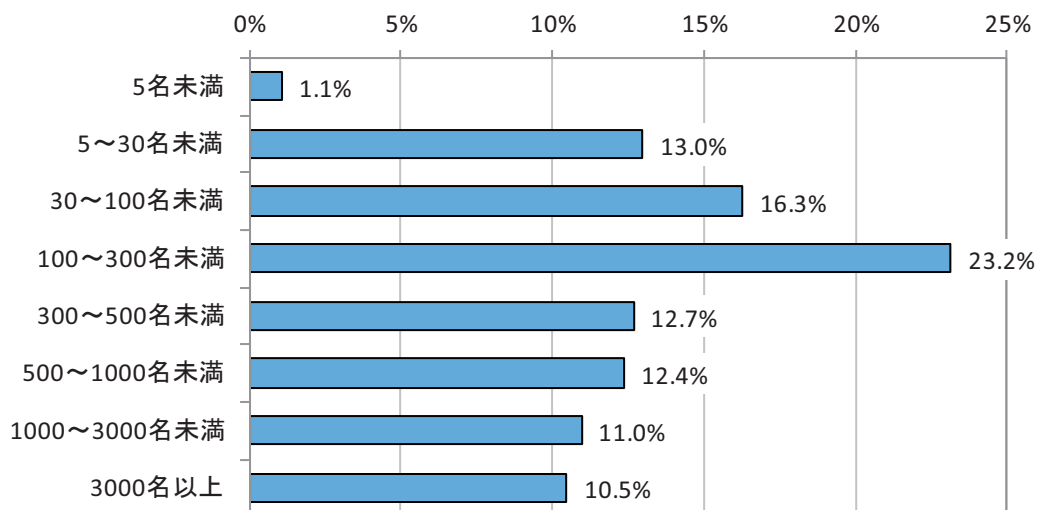
#### (4)有効回収数

771社（回収率22.3%）

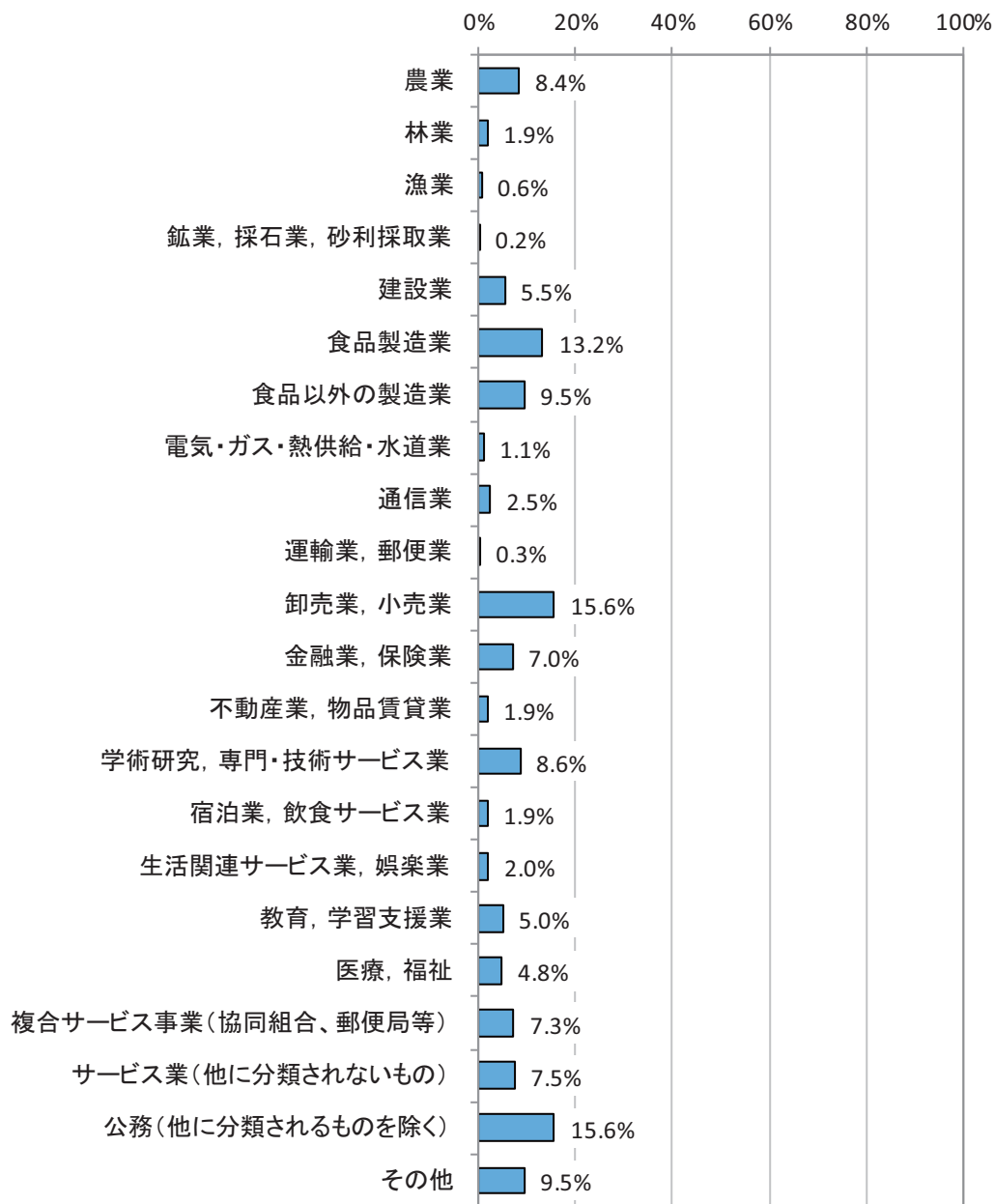
(5)回答者属性



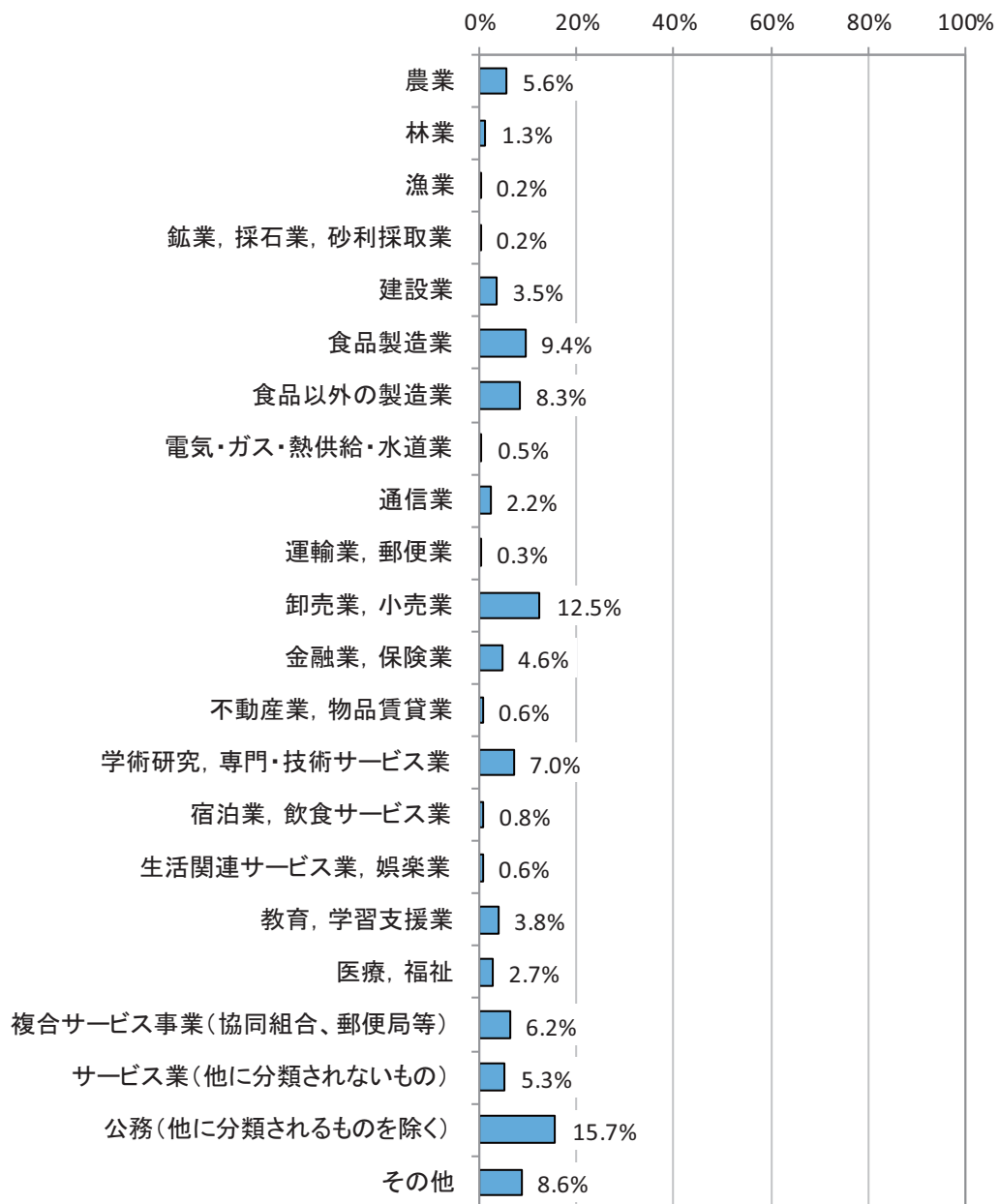
組織形態 (n=631)



従業員数 (n=639)

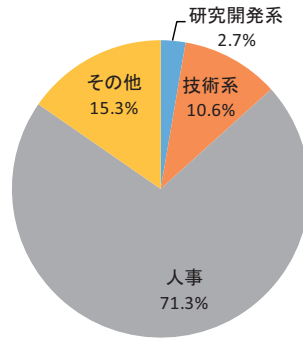


業種 (n=642 : 複数回答)

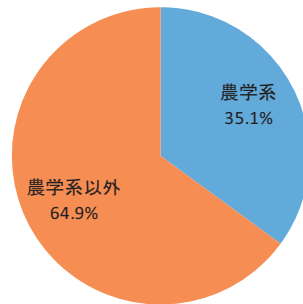


主な業種 (n=626)

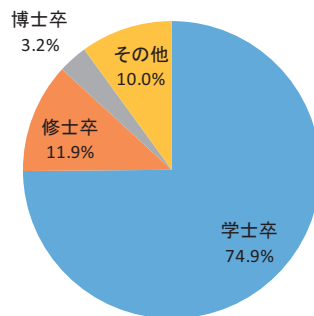




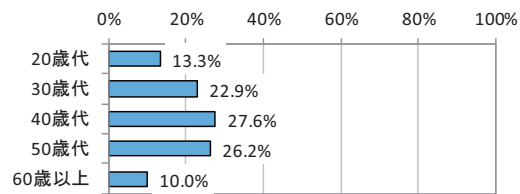
回答者の職種 (n=593)



回答者の出身 (n=425)



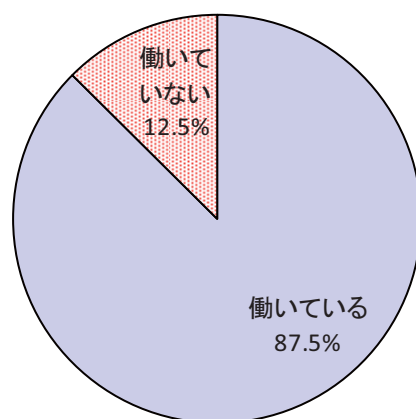
回答者の学歴 (n=561)



回答者の年齢 (n=633)

### 3-2 農学系分野出身者の就業状況

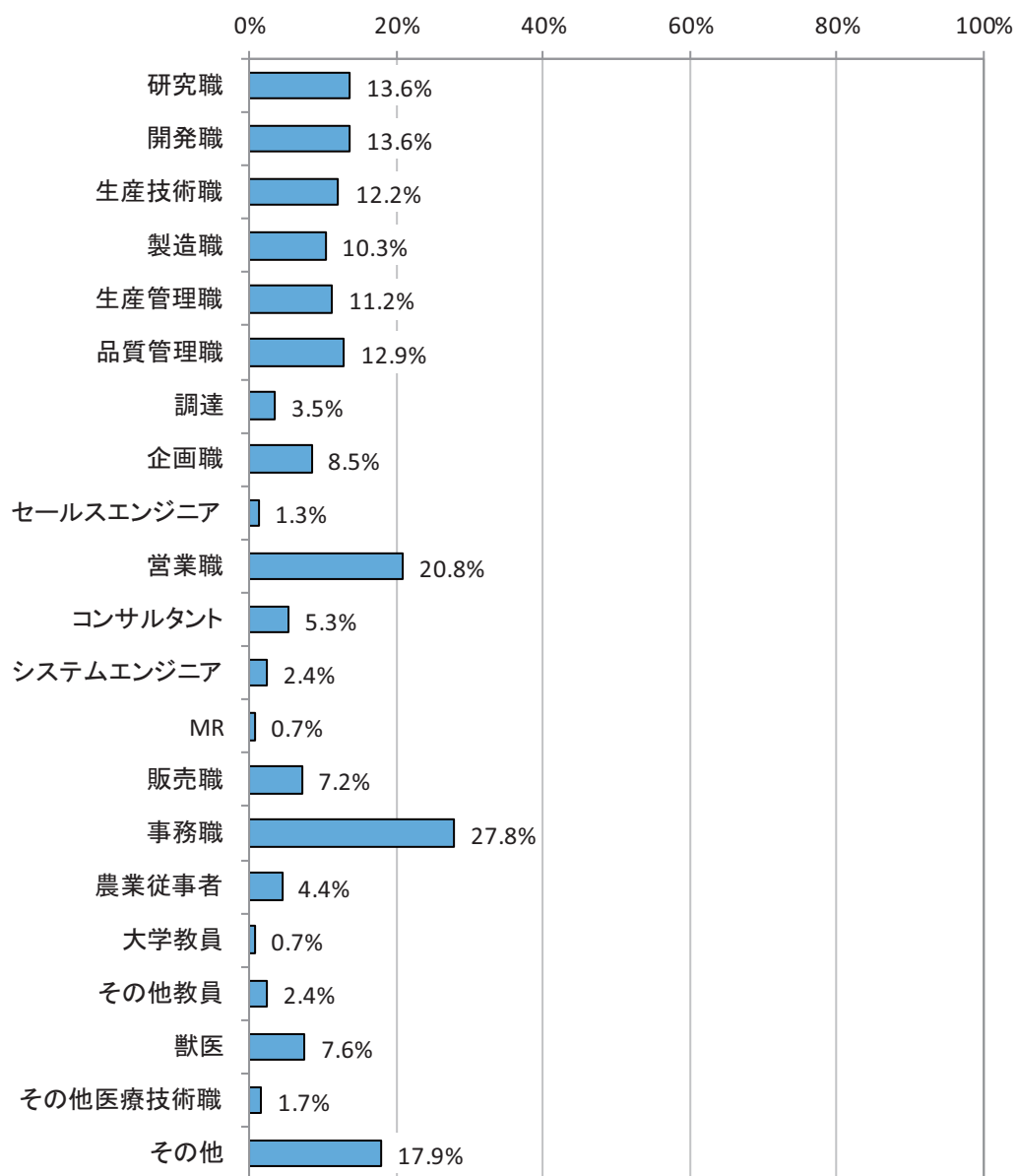
#### 3-2-1 就業者の有無



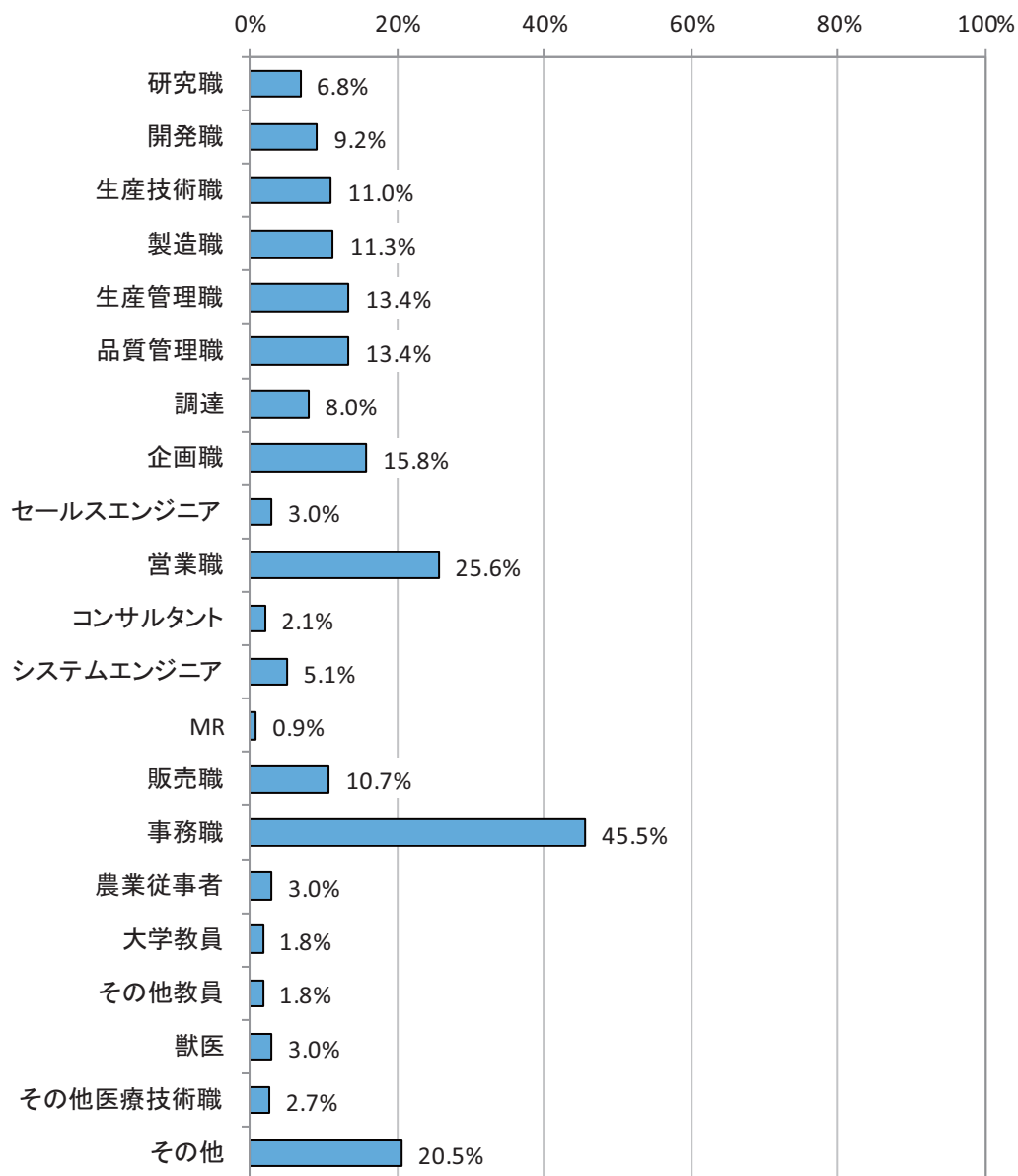
※平均 48.8 名が働いている (n=540)

Q1 農学系分野の大学・大学院出身者が働いているか (n=757)

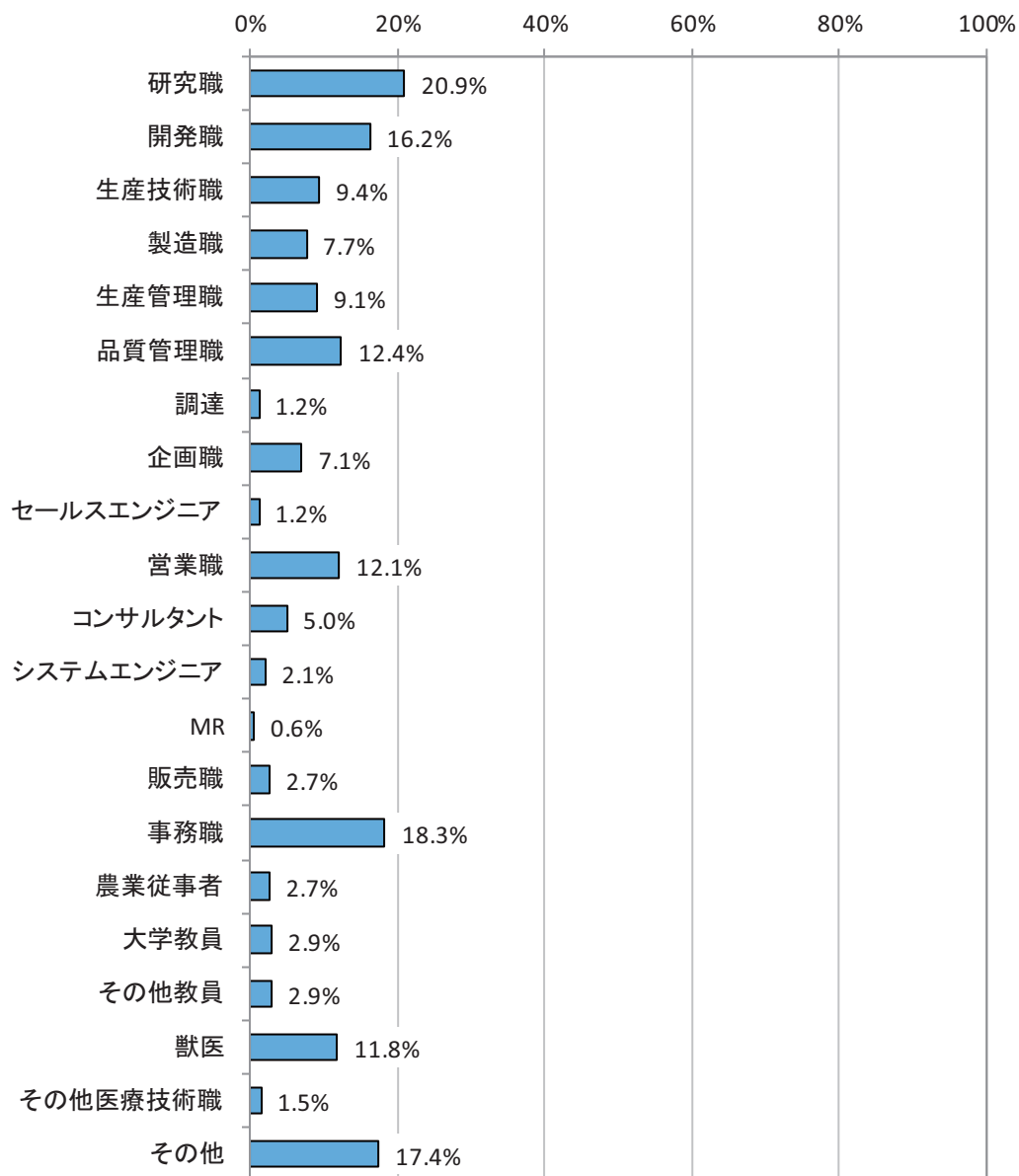
### 3-2-2 配置・配属されている職種・部門



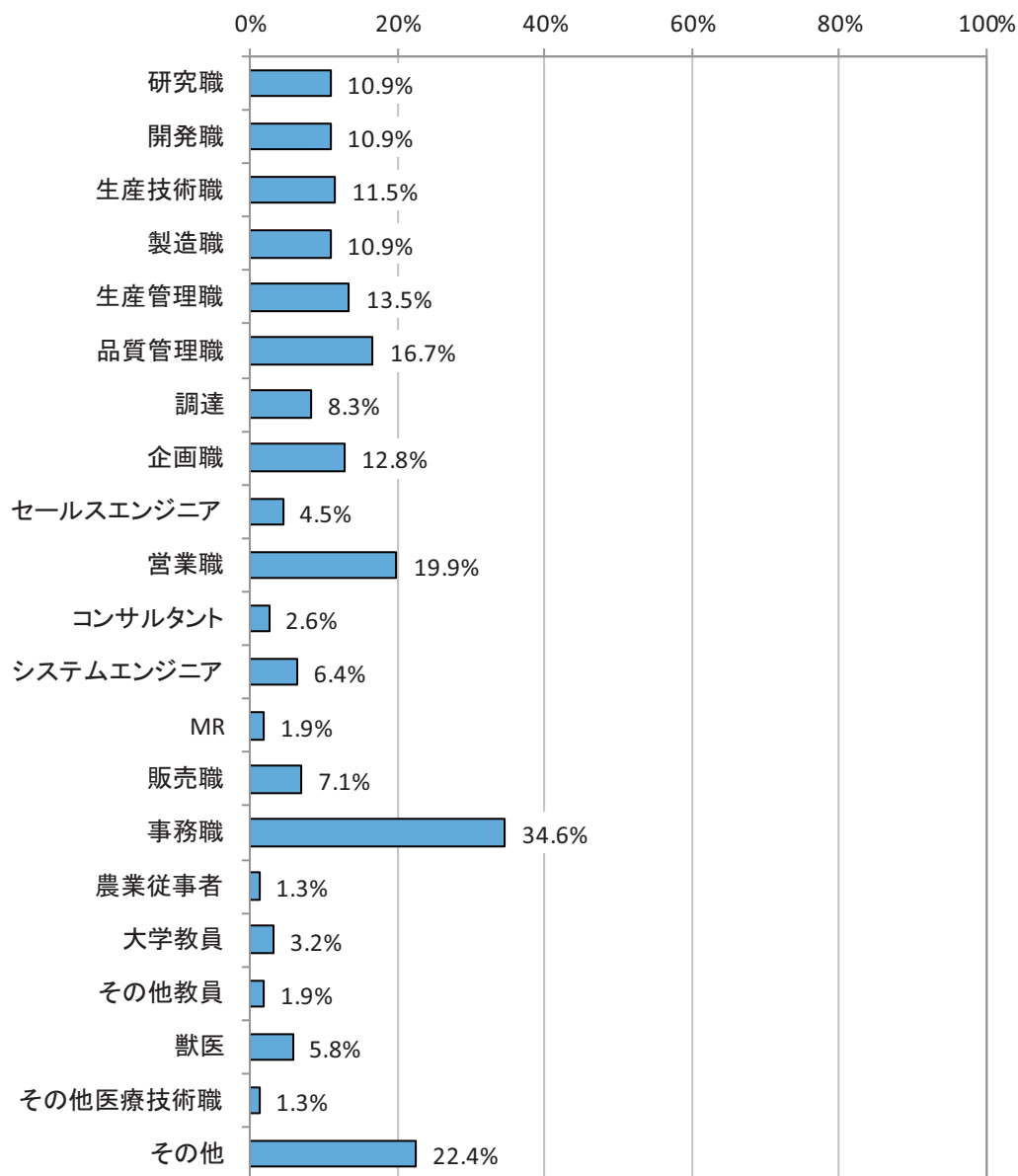
Q2-1 ①農学系出身者が主に配置・配属されている職種・部門：学士 (n=543：複数回答)



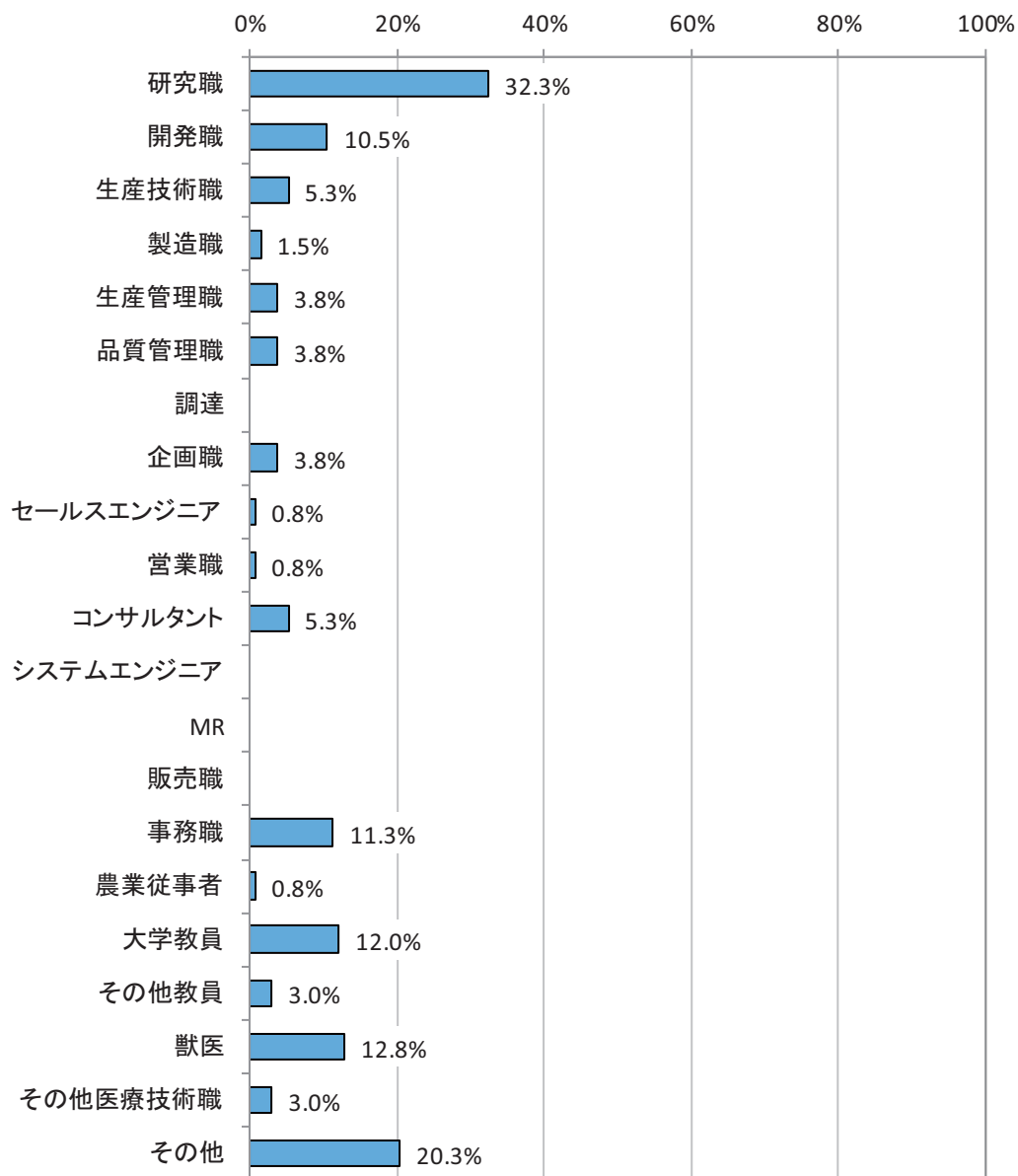
Q2-1 ②①以外に農学系出身者が所属している職種・部門：学士 (n=336：複数回答)



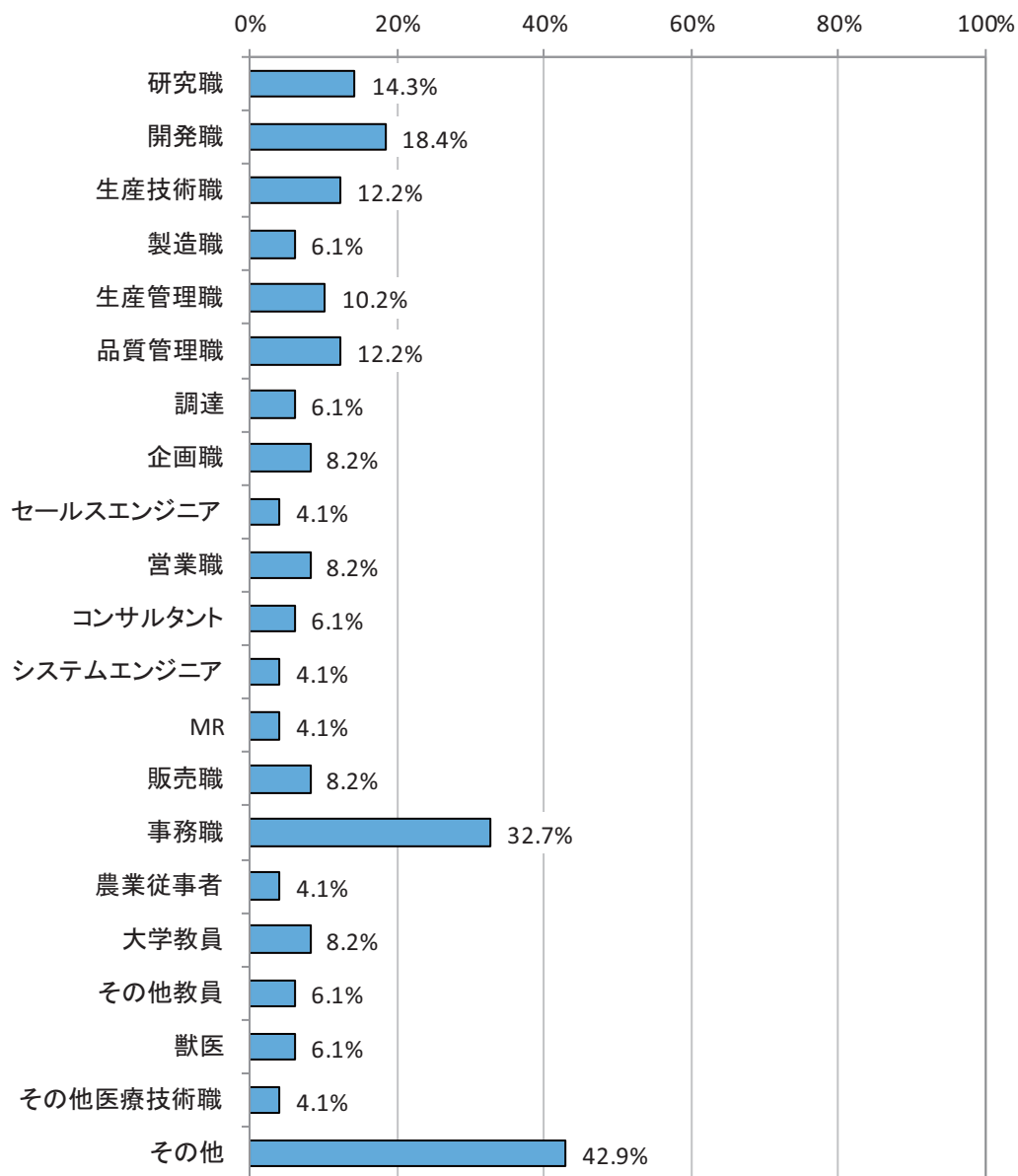
Q2-2 ①農学系出身者が主に配置・配属されている職種・部門：修士 (n=339：複数回答)



Q2-2 ②①以外に農学系出身者が所属している職種・部門：修士 (n=156：複数回答)



Q2-3 ①農学系出身者が主に配置・配属されている職種・部門：博士 (n=133: 複数回答)

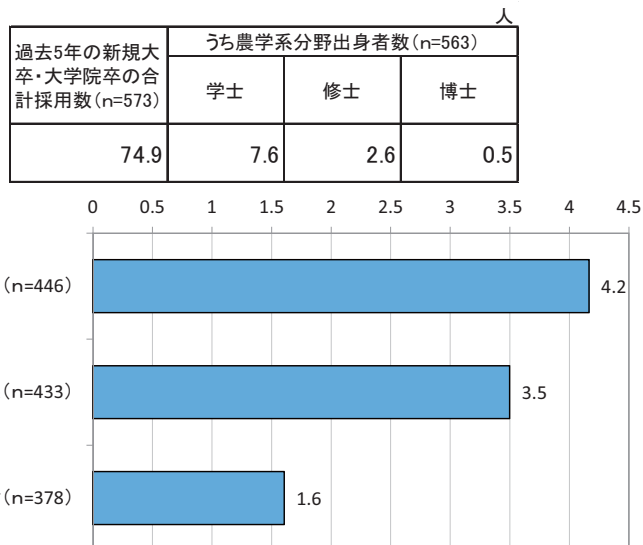


Q2-3 ②①以外に農学系出身者が所属している職種・部門：博士（n=49：複数回答）

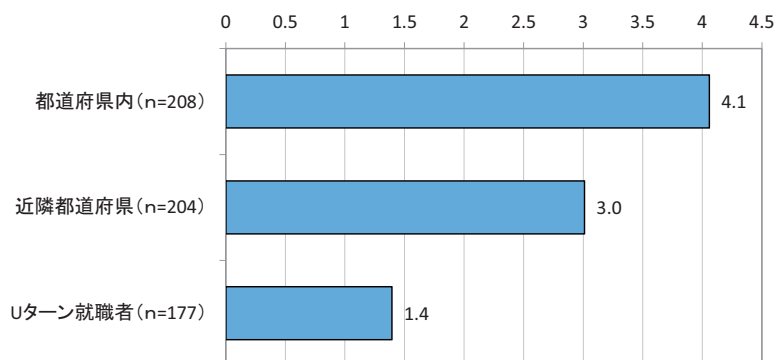


3-2-3 採用数、出身地域

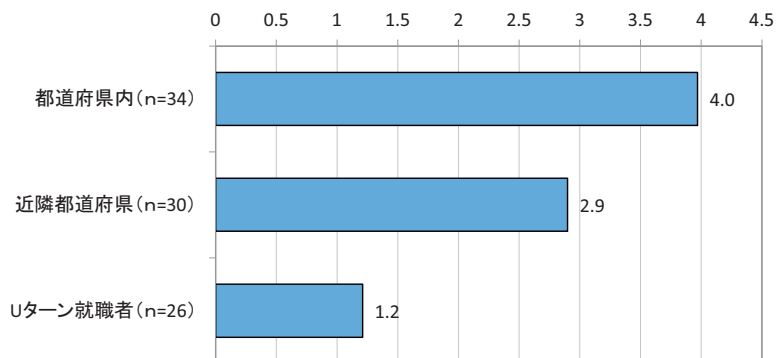
Q3-1 過去5年の新卒採用数



Q4-1 貴社・貴組織のある都道府県内大学出身者、近隣都道府県大学出身者、Uターン就職者の割合：学士



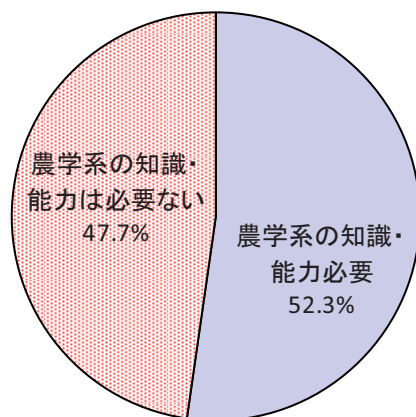
Q4-2 貴社・貴組織のある都道府県内大学出身者、近隣都道府県大学出身者、Uターン就職者の割合：修士



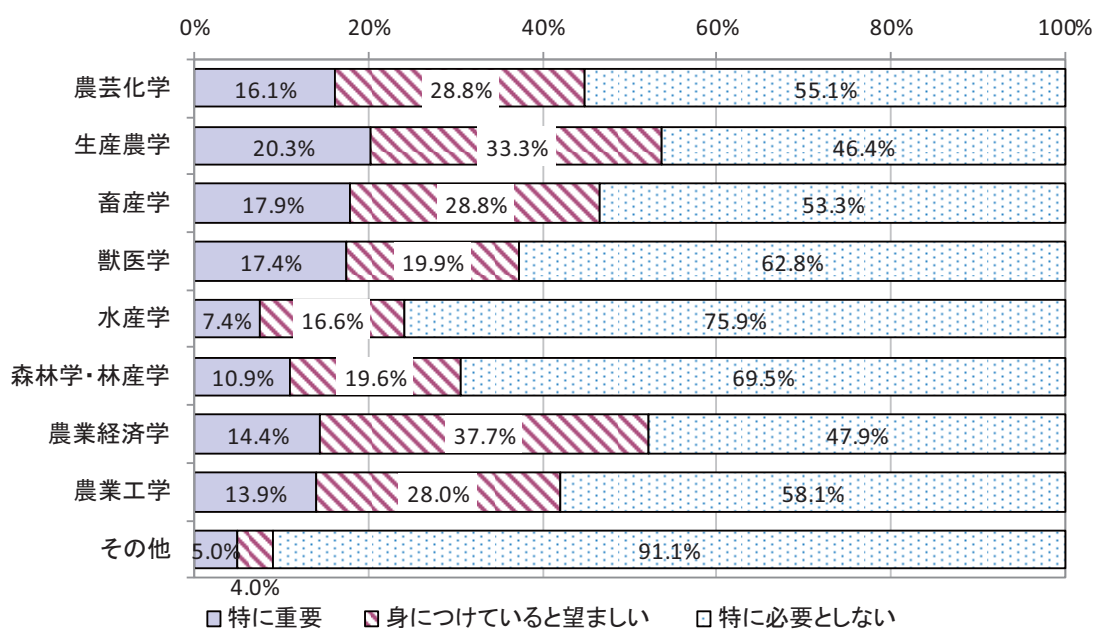
Q4-3 貴社・貴組織のある都道府県内大学出身者、近隣都道府県大学出身者、Uターン就職者の割合：博士

### 3-3 農学系分野の事業・人材に求める知識・能力

#### 3-3-1 農学系専門分野の必要性

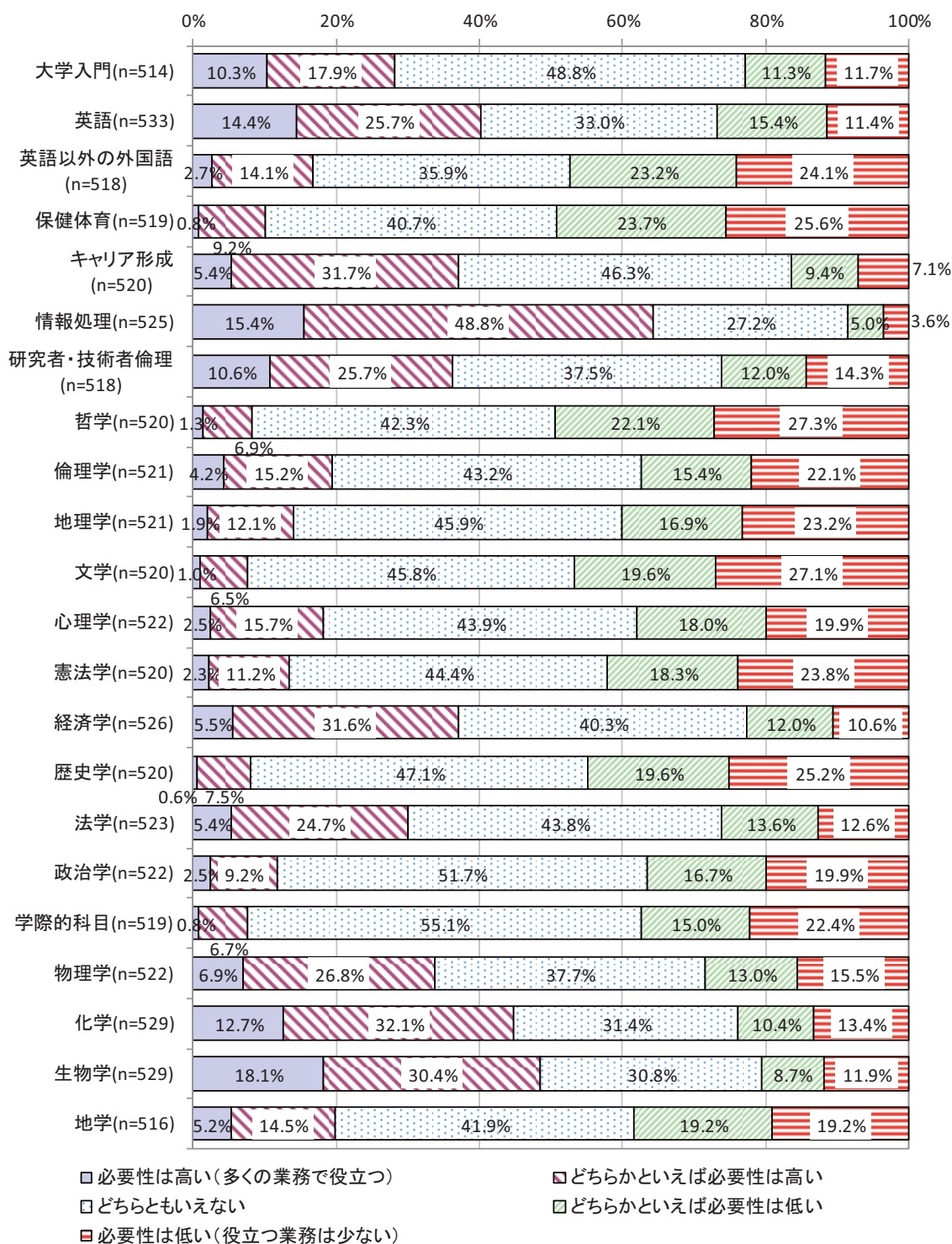


Q5 農学系分野の知識・能力が必要とされるか (n=771)

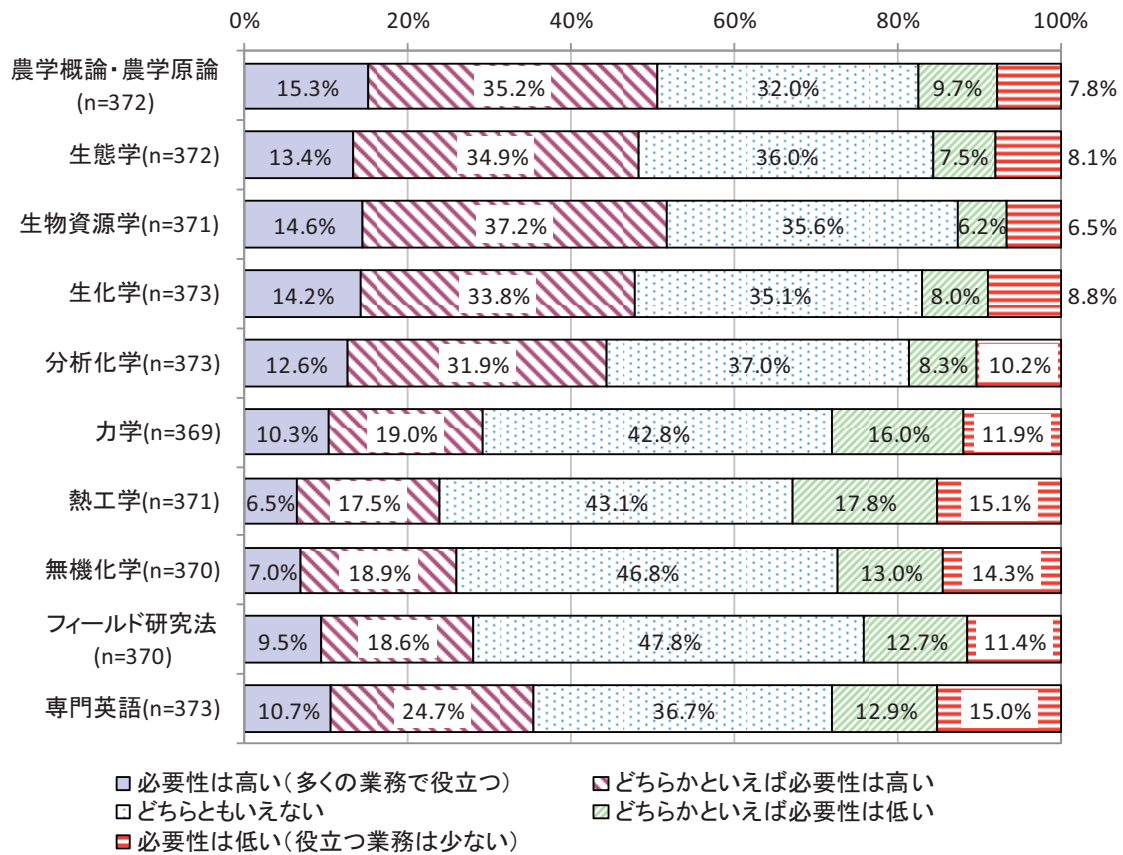


Q5 農学系7分野のどの知識・能力が必要とされるか (n=403)

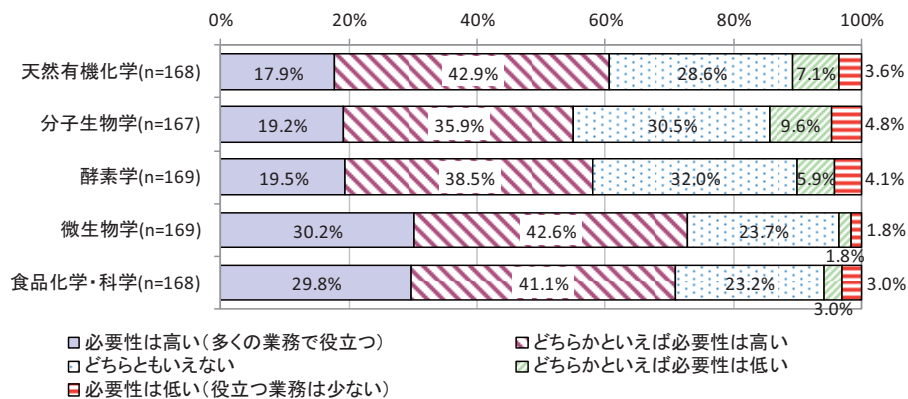
### 3-3-2 実務に必要な知識



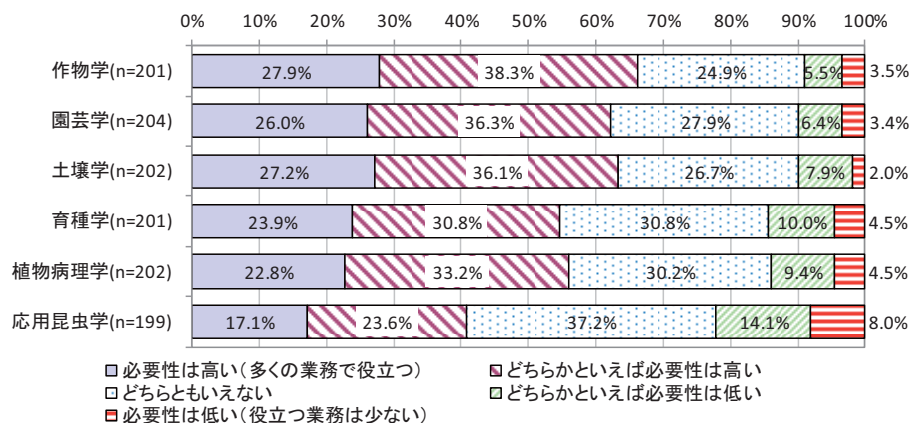
Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：スキル・リテラシー、一般教養、理系基礎科目（複数回答）



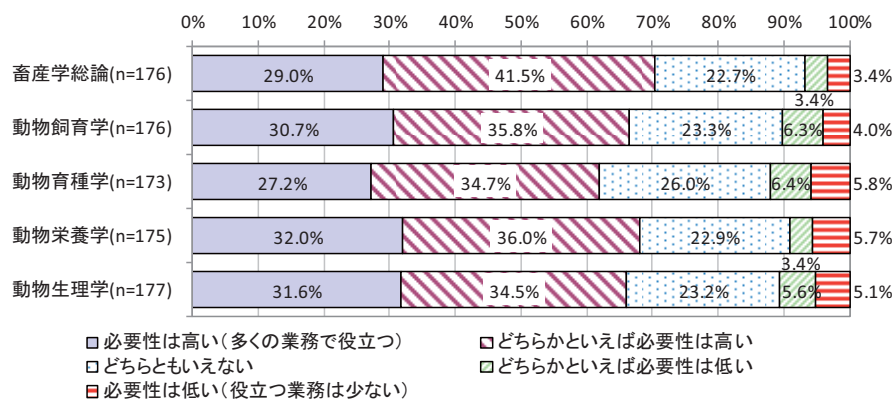
Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：農学基礎科目（複数回答）



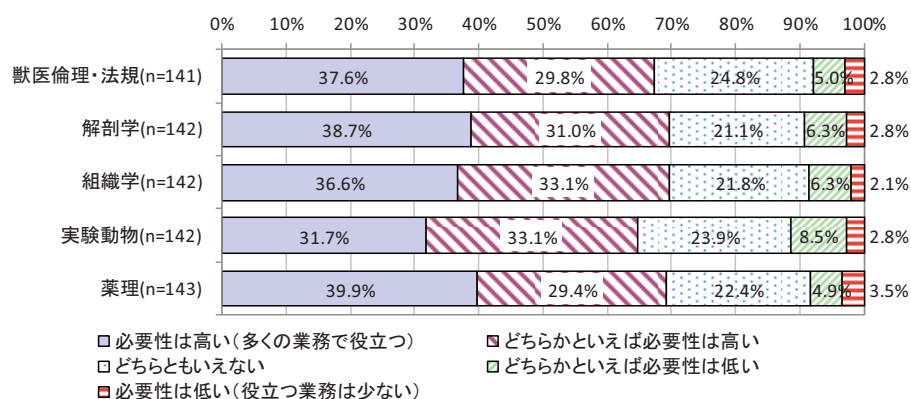
Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：農芸化学（複数回答）



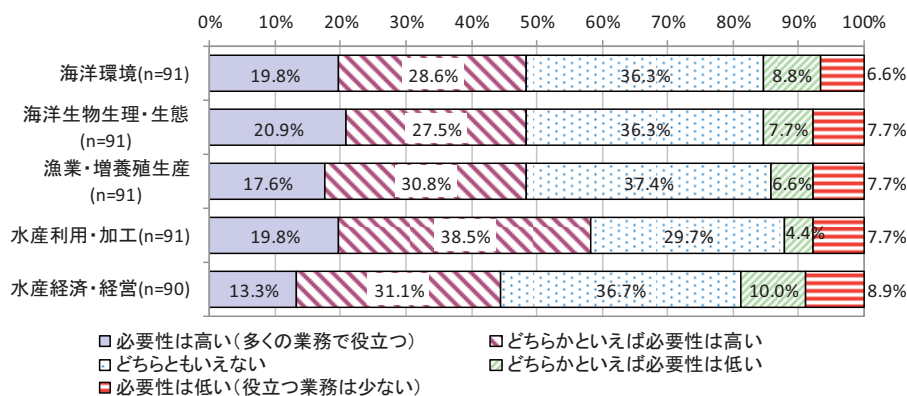
Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：生産農学（複数回答）



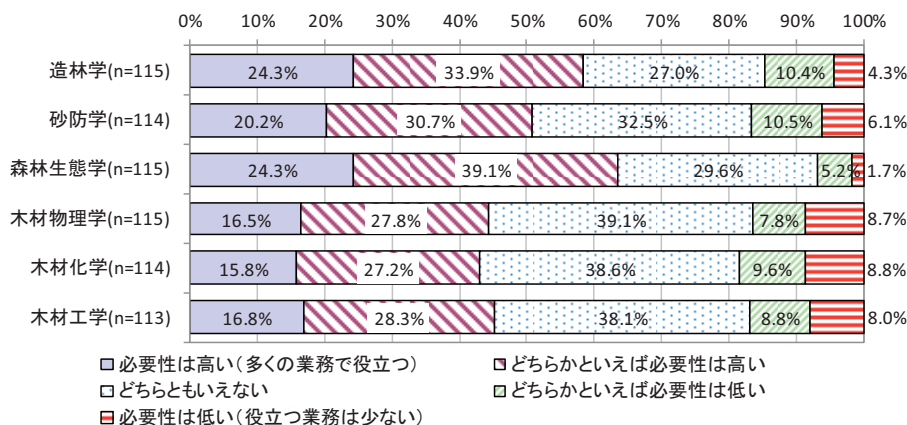
Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：畜産学（複数回答）



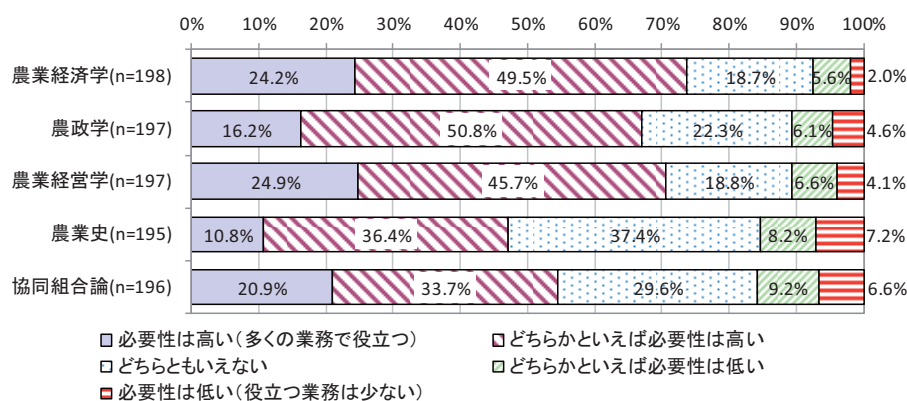
Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：獣医学（複数回答）



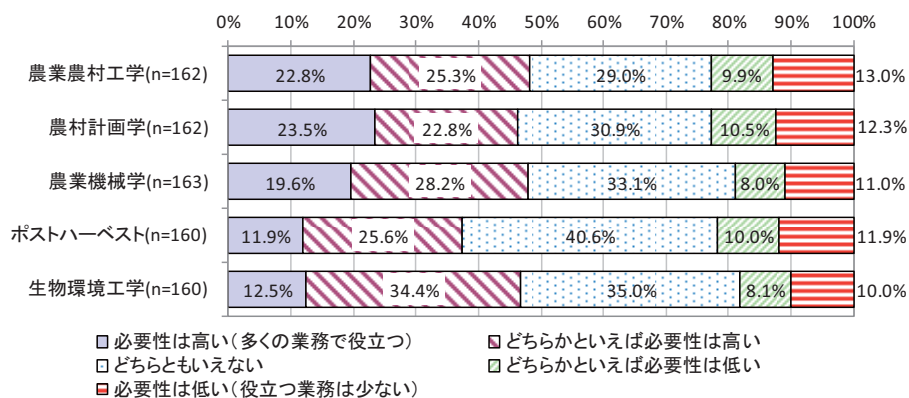
Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：水産学（複数回答）



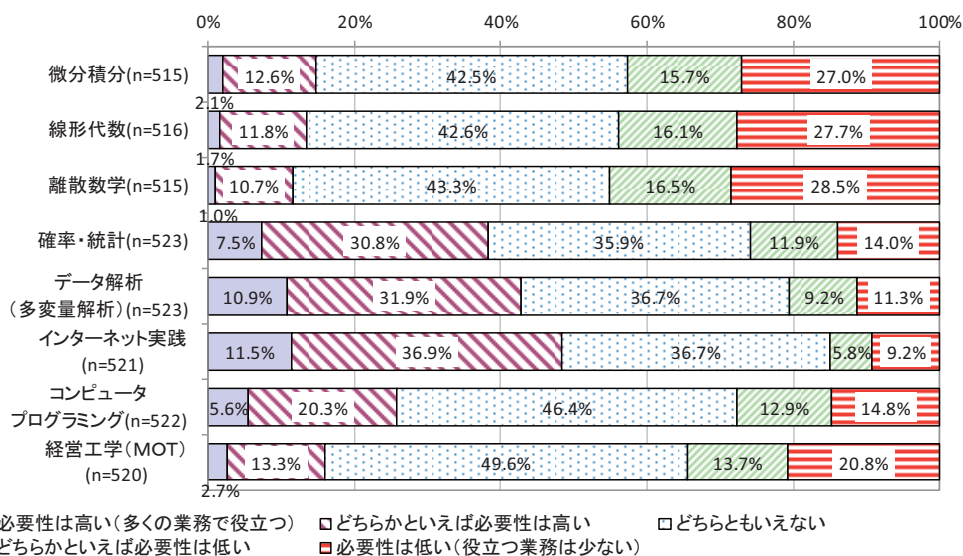
Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：森林学・林産学（複数回答）



Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：農業経済学（複数回答）

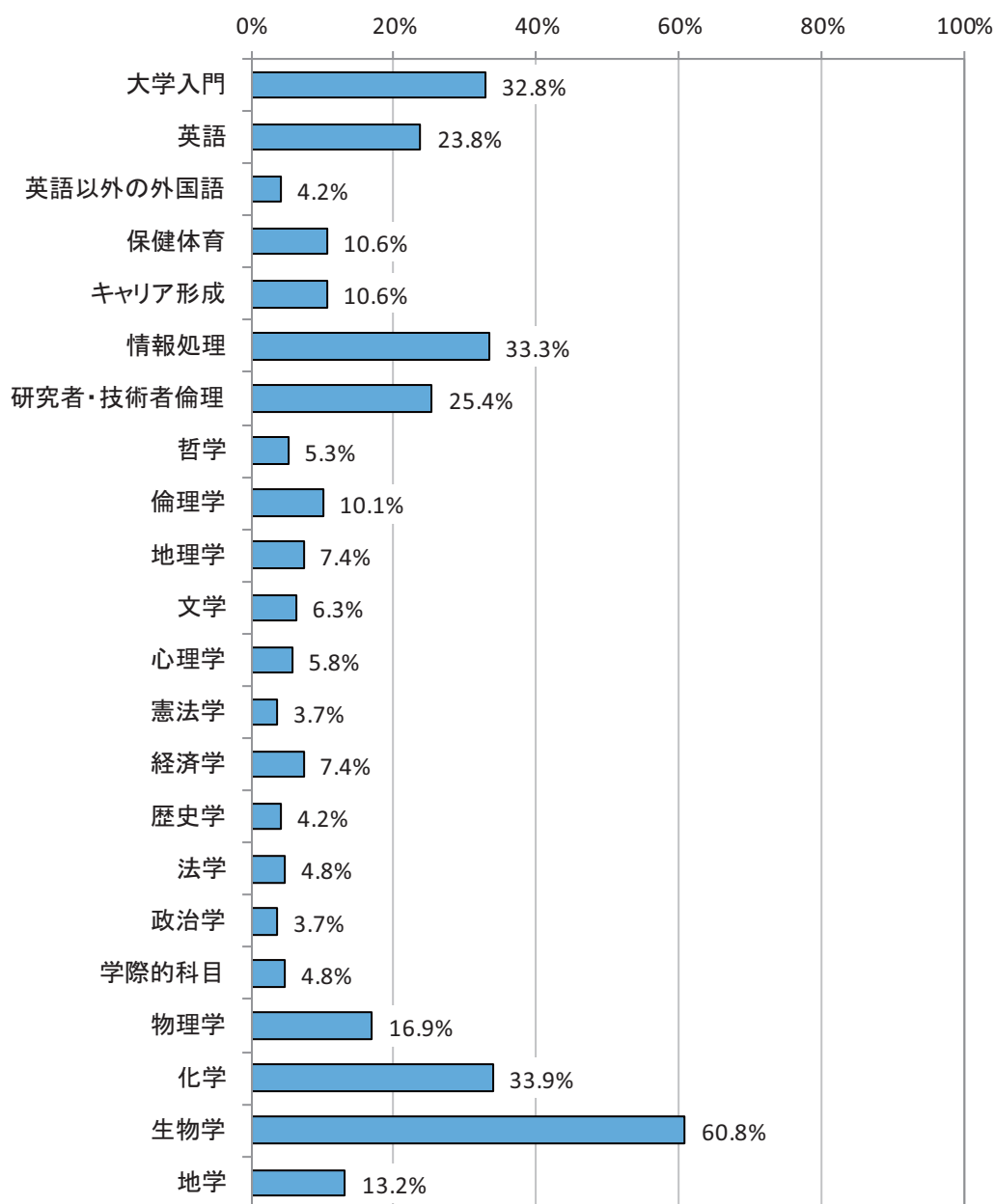


Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：農業工学（複数回答）



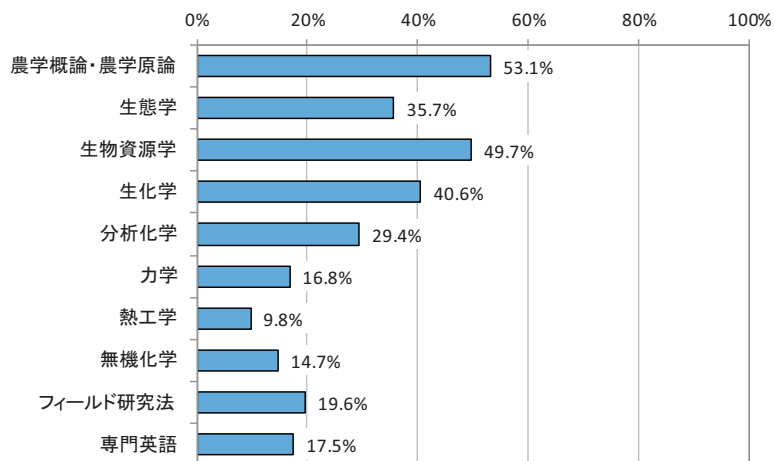
Q6 ①貴社の事業の実務にはどのような知識が必要か：数理・データサイエンス教育（複数回答）

3-3-3 農学系出身者の習得能力

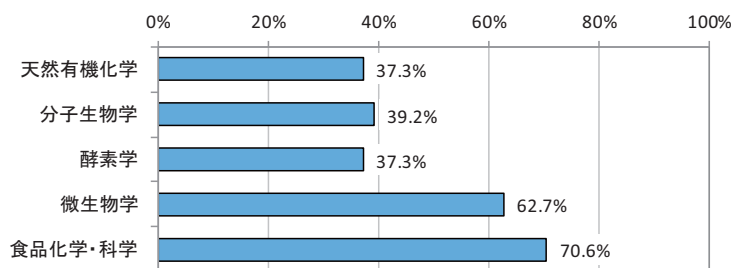


Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：スキル・リテラシー、一般教養、理系基礎科目 (n=189：複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)

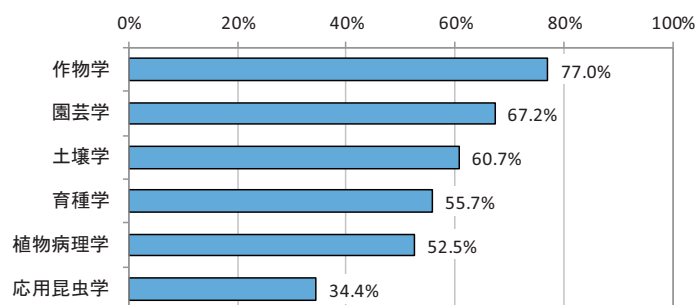




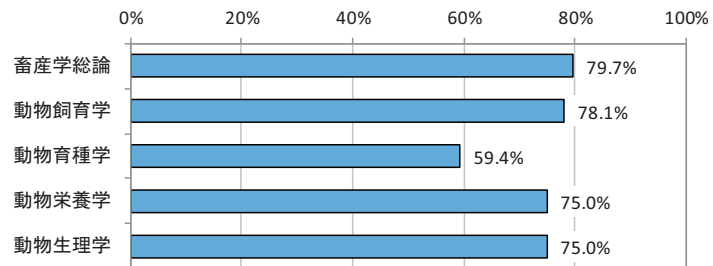
Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：農学基礎科目 (n=143：複数回答  
※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



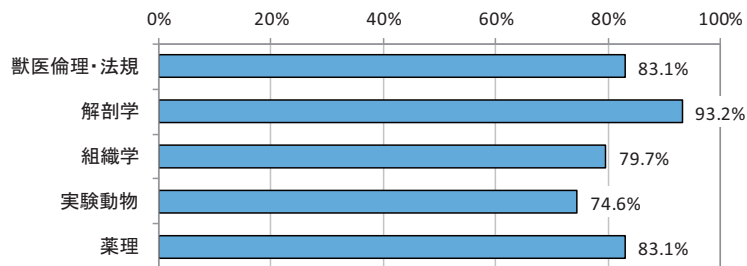
Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：農芸化学 (n=51：複数回答  
※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



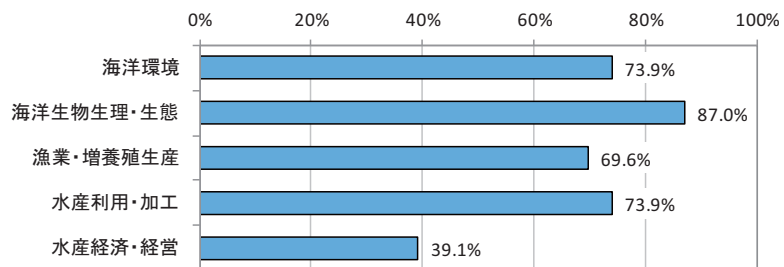
Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：生産農学 (n=61：複数回答  
※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



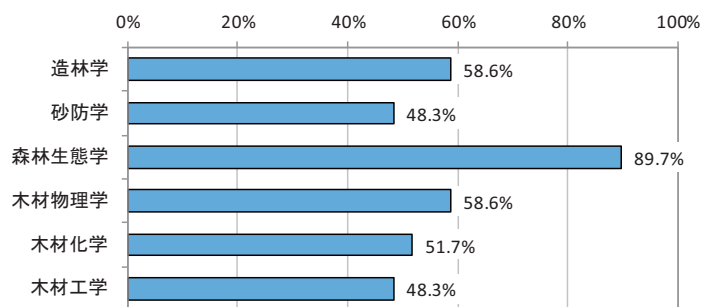
Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：畜産学 (n=64：複数回答  
※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



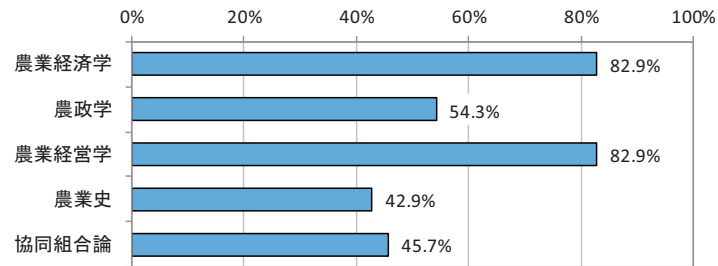
Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：獣医学 (n=59：複数回答  
※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：水産学 (n=23：複数回答  
※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)

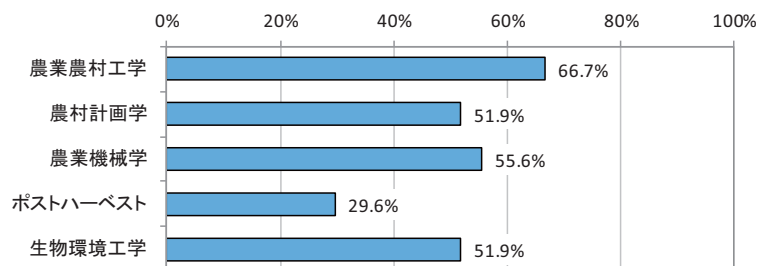


Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：森林・林産学 (n=29：複数回答  
※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



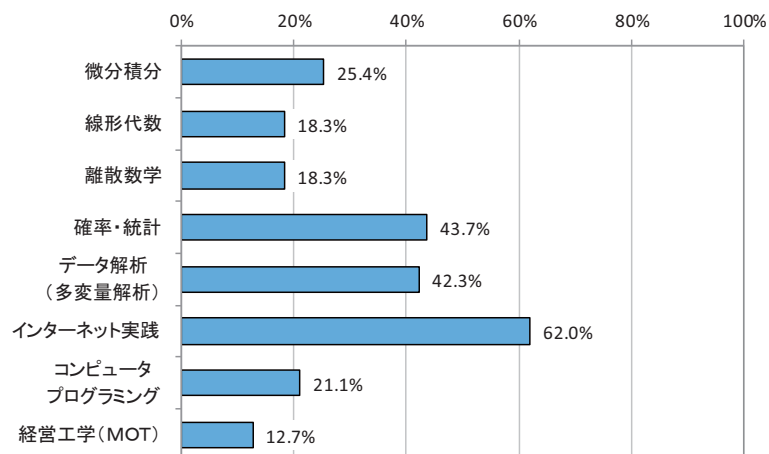
Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：農業経済学（n=35：複数回答）

※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象）



Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：農業工学（n=27：複数回答）

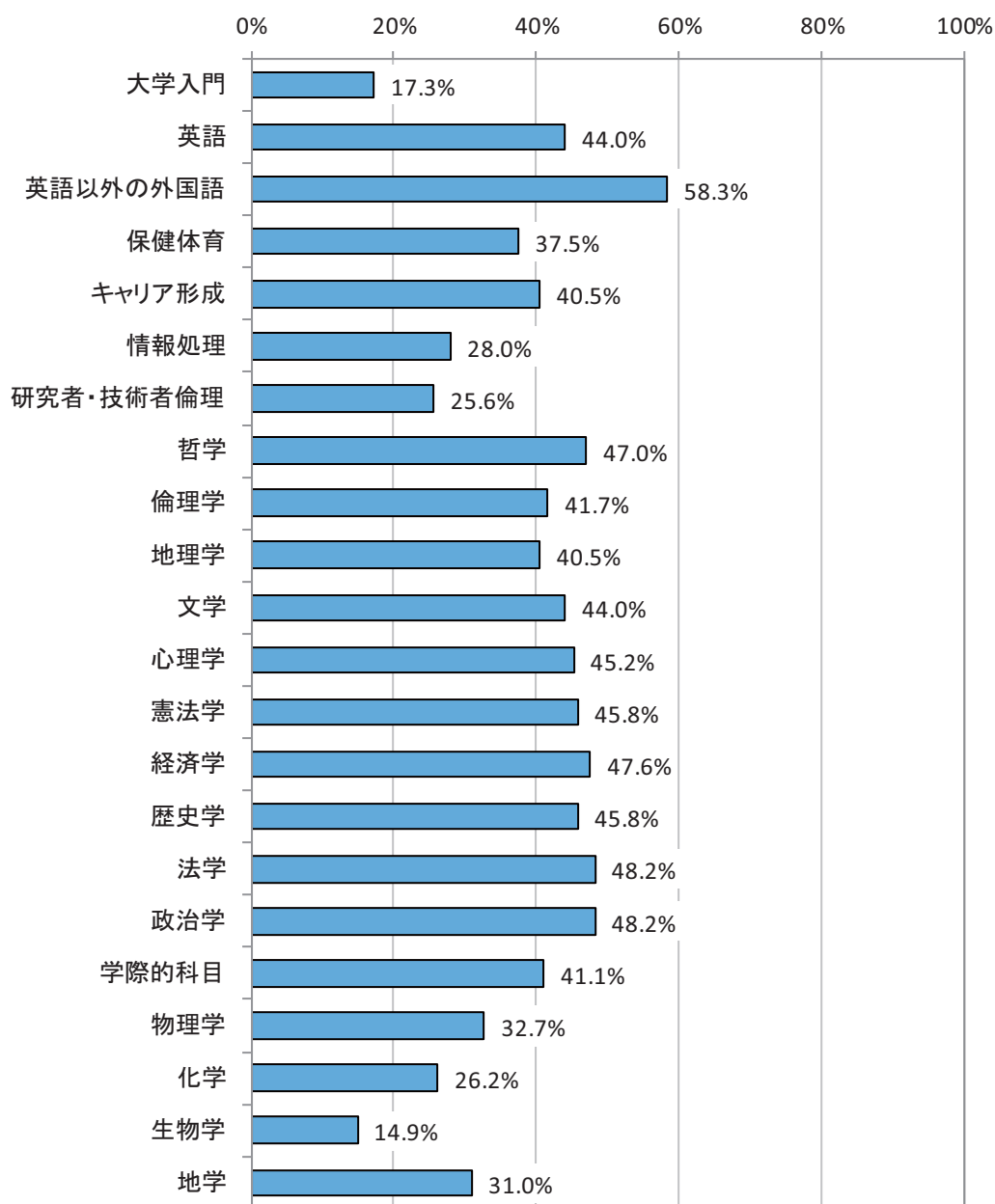
※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象）



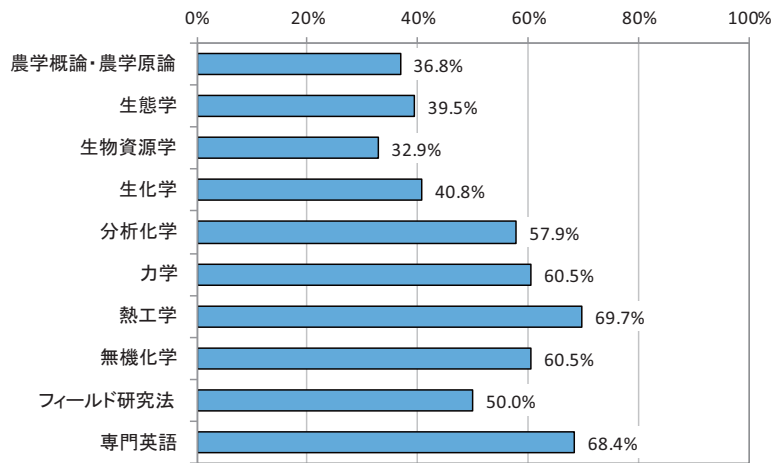
Q6 ②農学系出身者に特に身につけている能力：数理・データサイエンス教育（n=71：複数回答）

※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象）

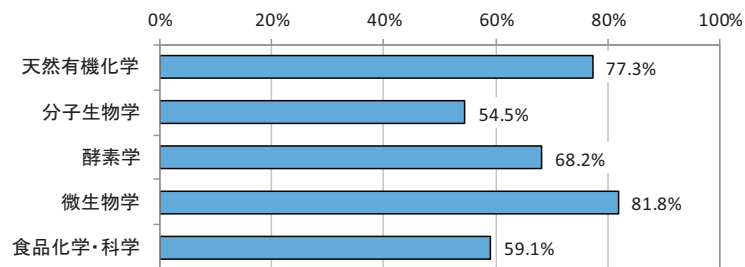
3-3-4 農学系出身者の未習得能力



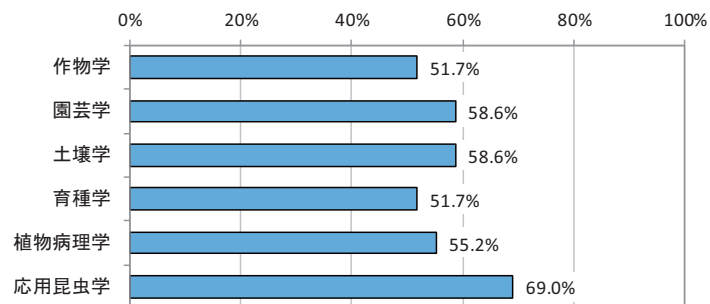
Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：スキル・リテラシー、一般教養、理系基礎科目 (n=168：複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



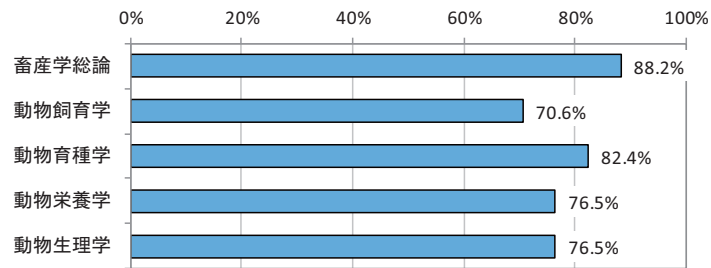
Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：農学基礎科目 (n=76：複数回答 ※  
いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



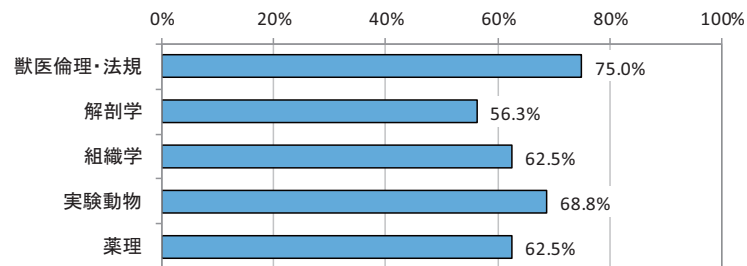
Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：農芸化学 (n=22：複数回答 ※いず  
れかの項目に○がついた企業等が集計対象)



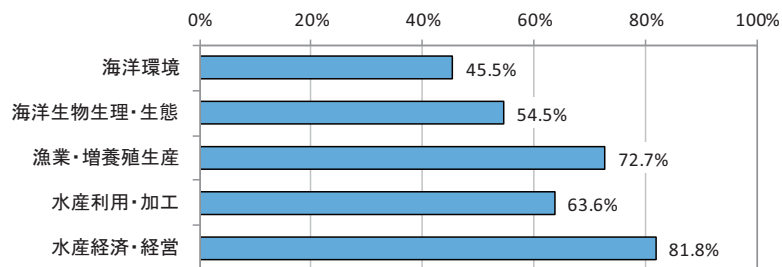
Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：生産農学 (n=29：複数回答 ※いず  
れかの項目に○がついた企業等が集計対象)



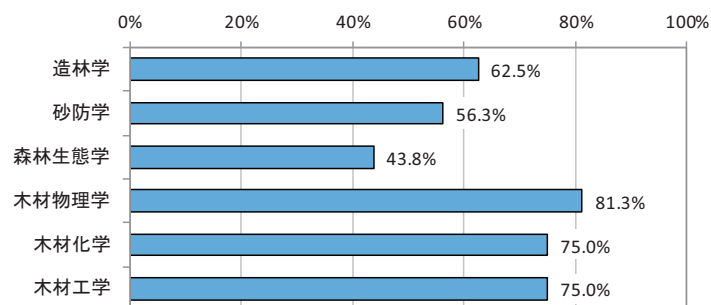
Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：畜産学（n=17：複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象）



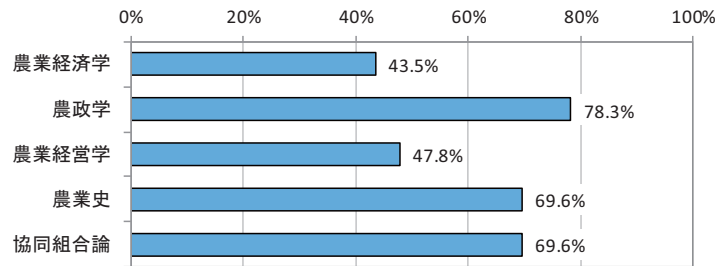
Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：獣医学（n=16：複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象）



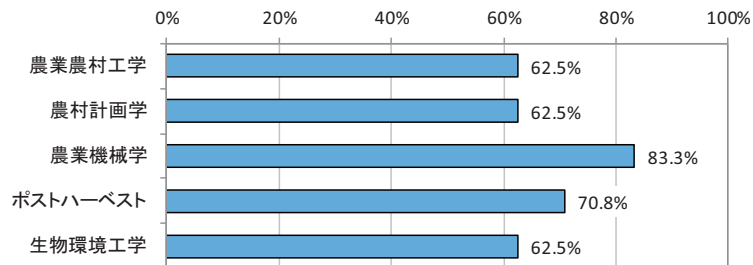
Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：水産学（n=11：複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象）



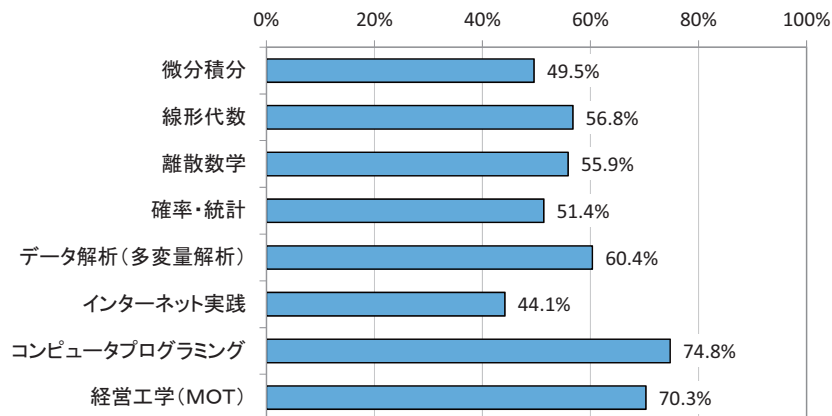
Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：森林・林産学（n=16：複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象）



Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：農業経済学 (n=23：複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)

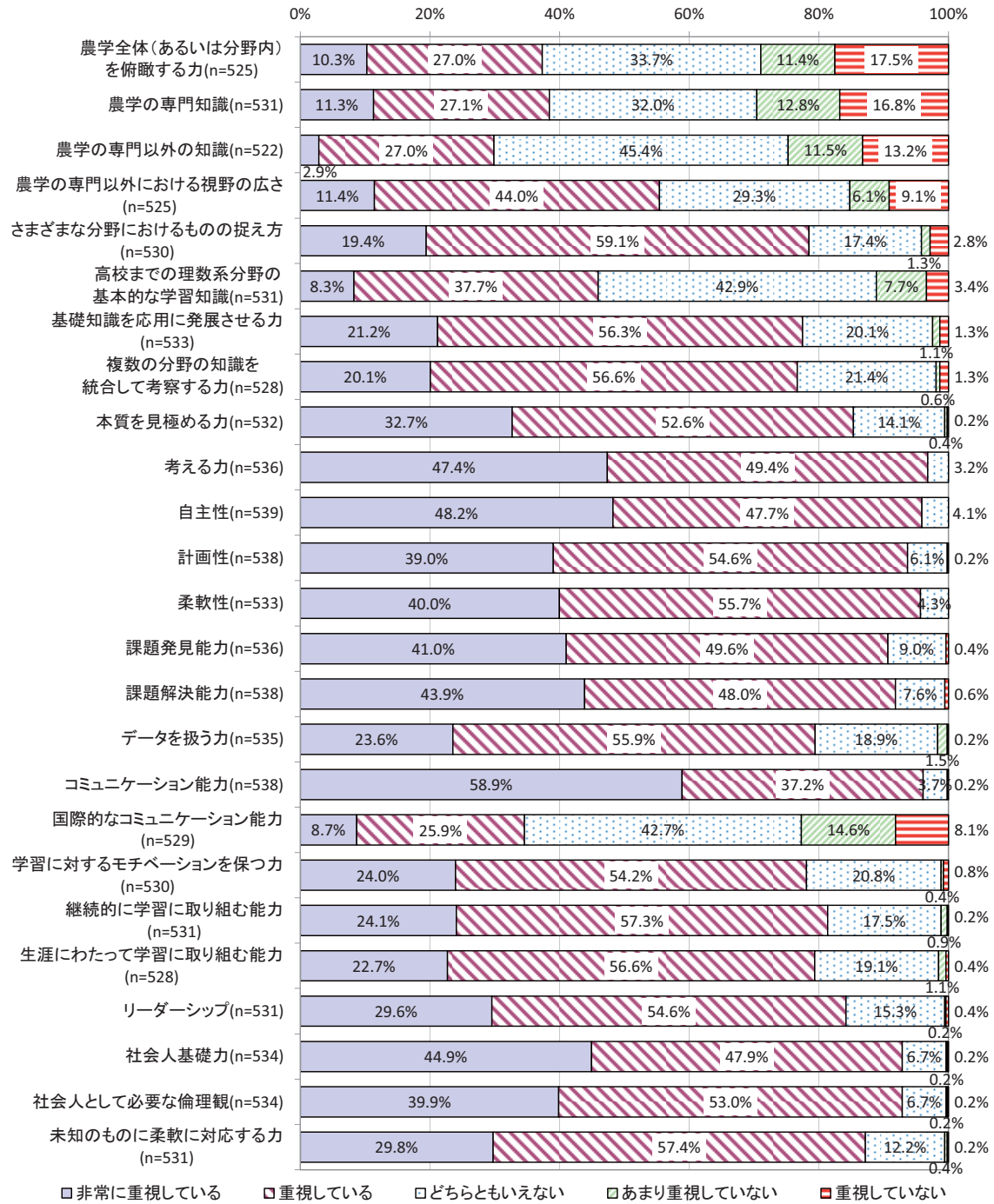


Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：農業工学 (n=24：複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



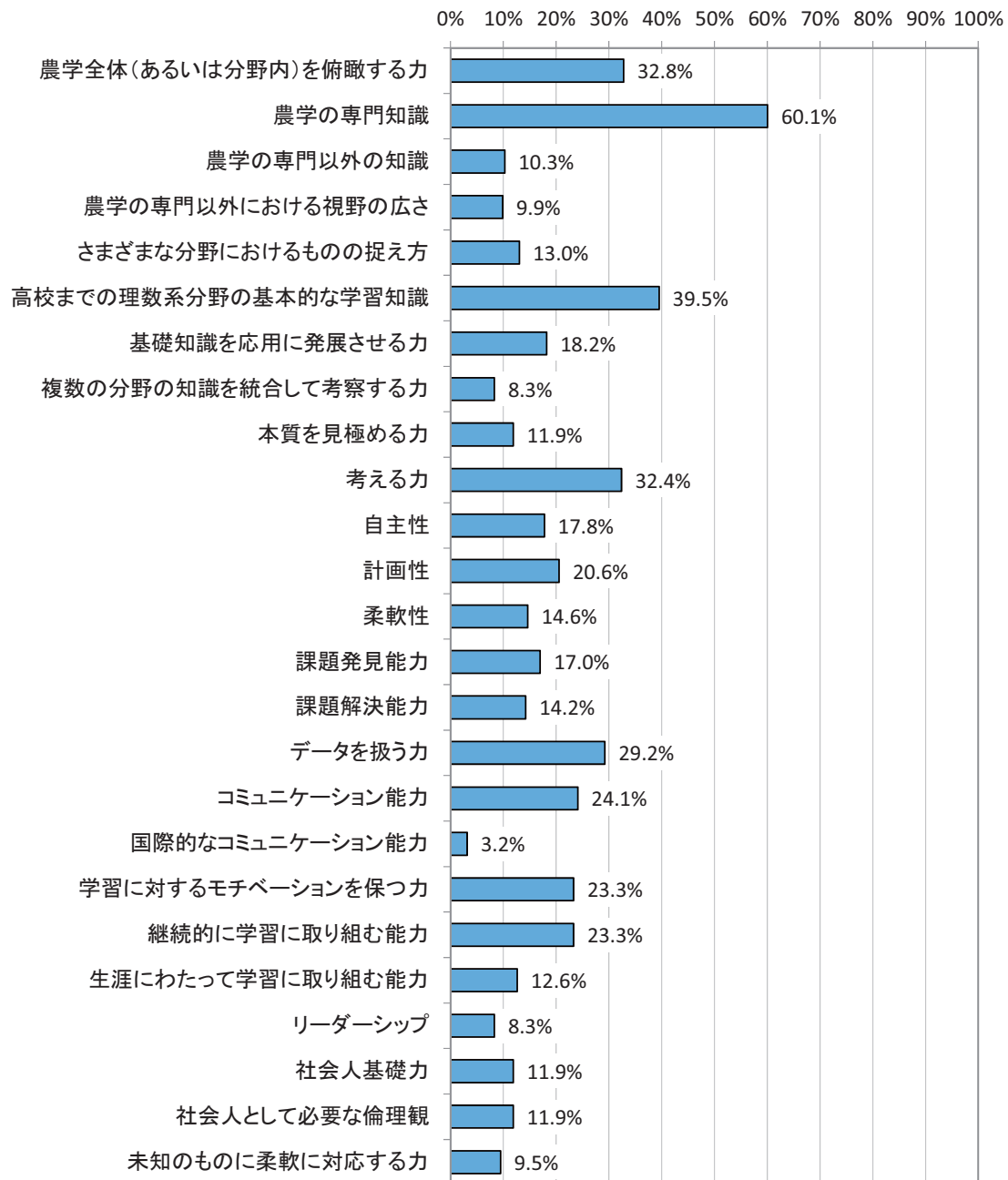
Q6 ③農学系出身者に特に身につけていない能力：数理・データサイエンス教育 (n=111：複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)

### 3-3-5 実務に必要な能力



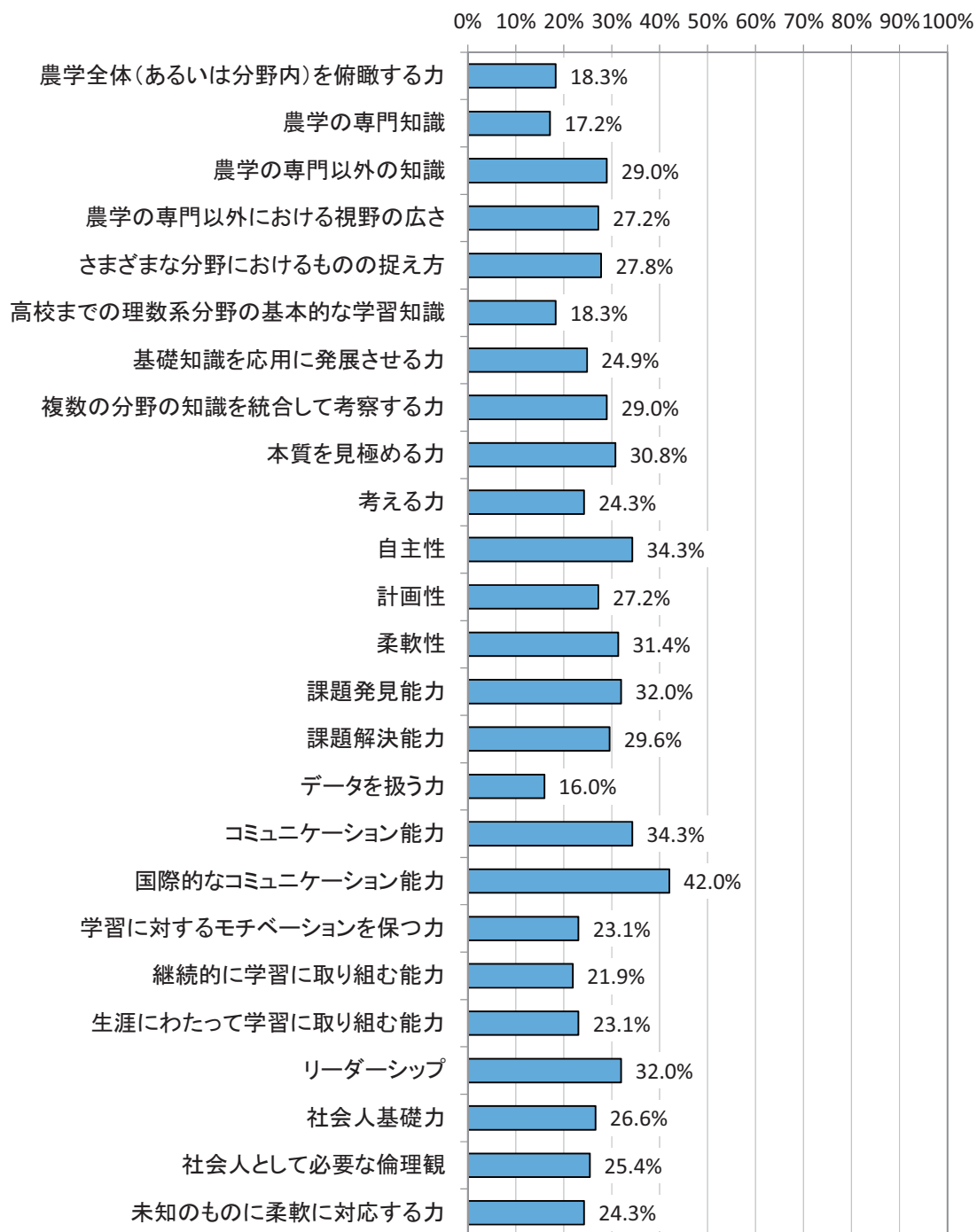
Q7 ①貴社の事業の実務にはどの程度重要か



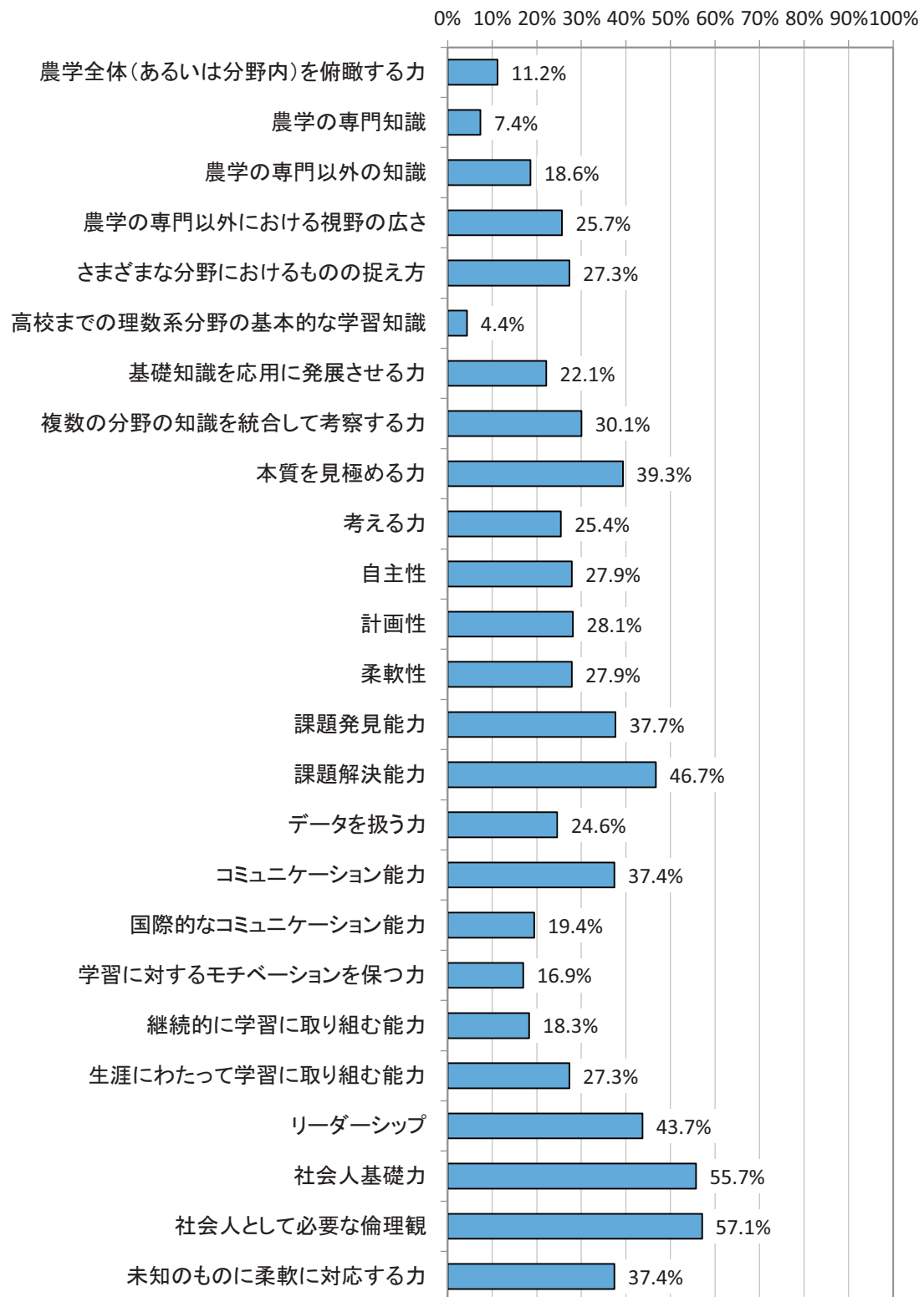


Q7 ②農学系出身者に特に身につけている能力 (n=253: 複数回答 ※いずれかの項目に

○がついた企業等が集計対象)



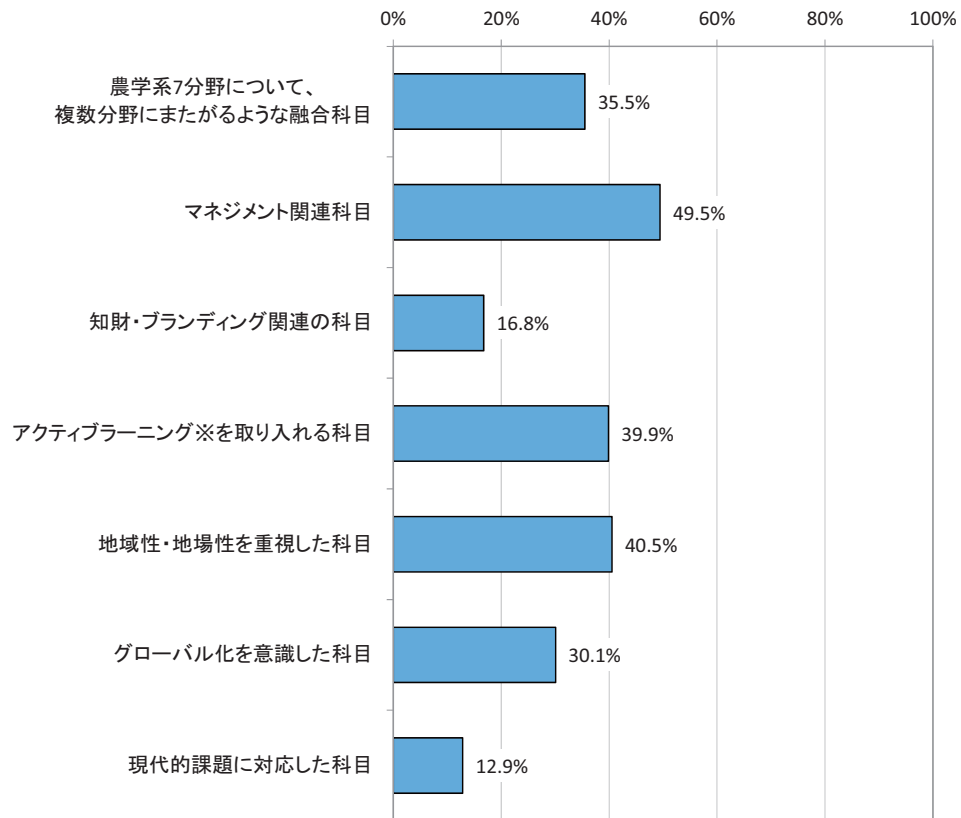
Q7 ②農学系出身者に特に身につけていない能力 (n=169: 複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)



Q7 ③就職後に身につけて欲しい能力 (n=366: 複数回答 ※いずれかの項目に○がついた企業等が集計対象)

### 3-4 農学系分野の大学教育

#### 3-4-1 実施を希望する教育内容

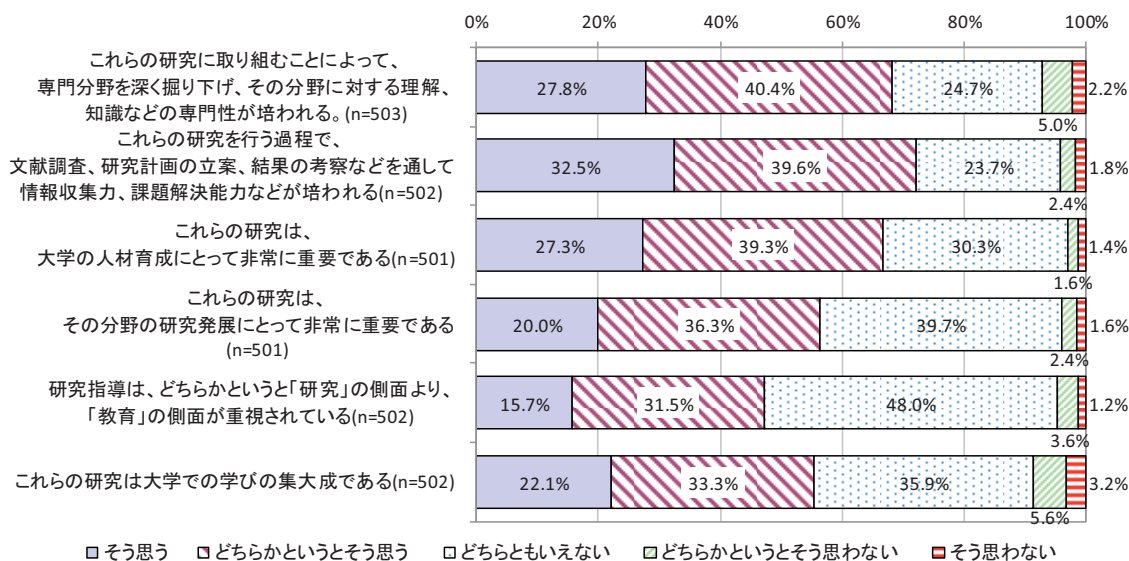


Q8 大学の農学系分野において、実施した方がよい教育内容 (n=459 : 複数回答)

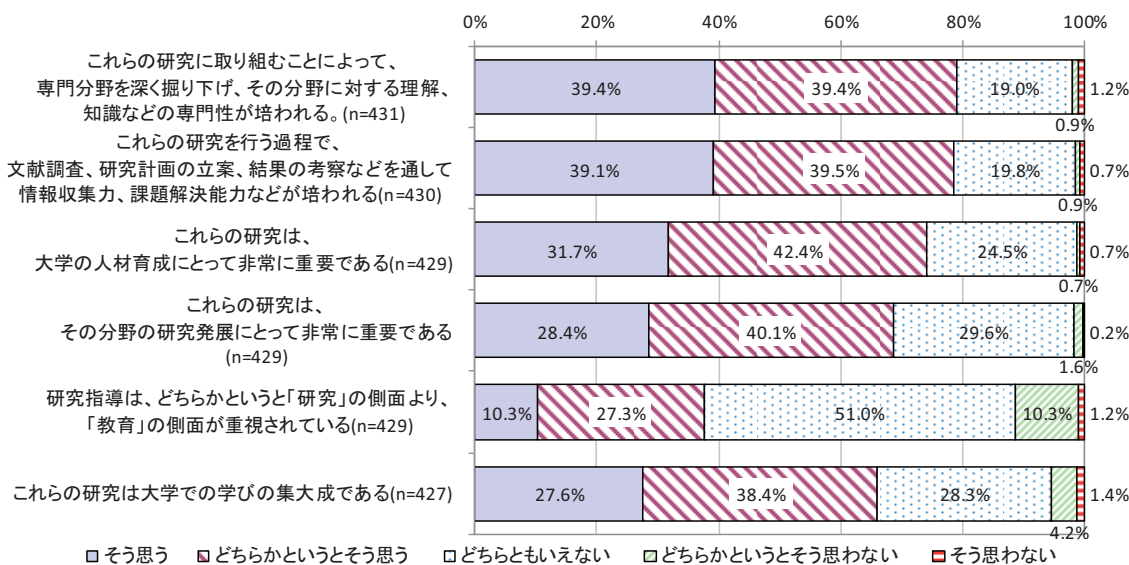
Q8 現代的課題に対応した科目の具体的内容（自由記述）

専門的先進技術力
環境問題への対応力
テクノロジーを応用する力の養成
食の安全・食料自給率・食の安全保障等確保に関する知識
6次産業化に関する科目
農家の後継者不足を解決するための総合的アプローチ
人口減少に伴う農業のあり方等の科目
水産資源の保護に関するもの
農産物の輸出
現在進行系に対する病気等の教授
GMO(遺伝子組み換え作物)
少子化に対応した農学系の科目
農学、農学以外の分野で働く場合でも、状況を判断し、対応するマネジメント能力は必要であり、専門分野をどう生かすか、それを発見するためにも必要と考えるため。
農村・漁村地の過疎化、労働環境の多様化
農業情勢
貿易
コミュニケーション能力
インフラ活用、維持
福島復興に関連すること
農学系分野に限ったことではありませんが、日本が抱える社会問題の理解やそのソリューションを考えるような科目(課題解決力・創造力等を養うという観点)
英語など語学
最近の林業上重要な問題について
環境問題
マーケティング
食品の安全性を複合的に考える
食料自給率向上のための挑戦的方法

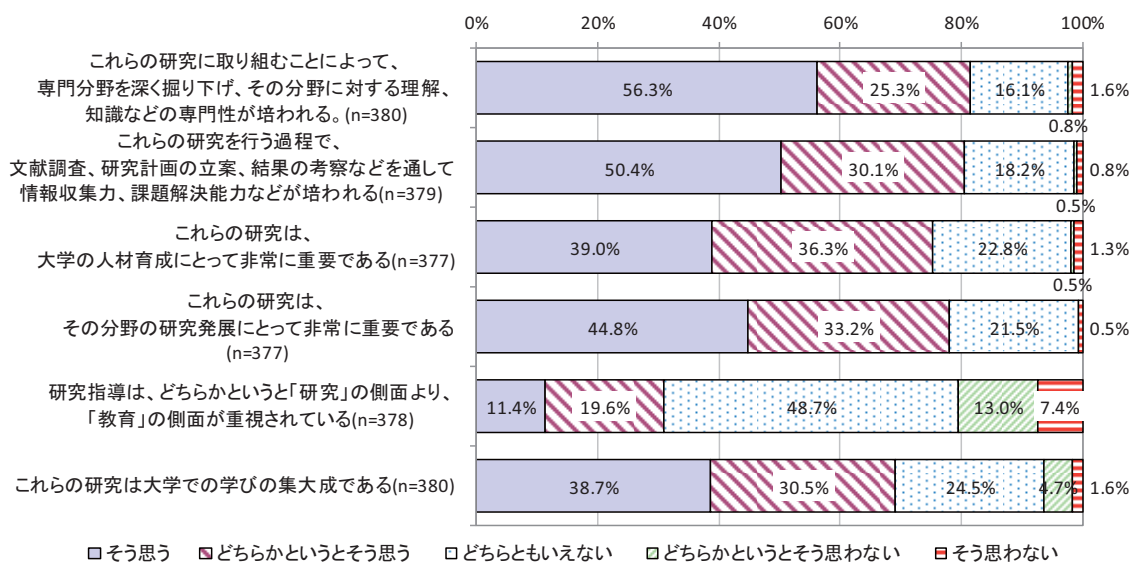
### 3-4-2 卒業研・修了研究



#### Q9 卒業研究（学士）についての考え方



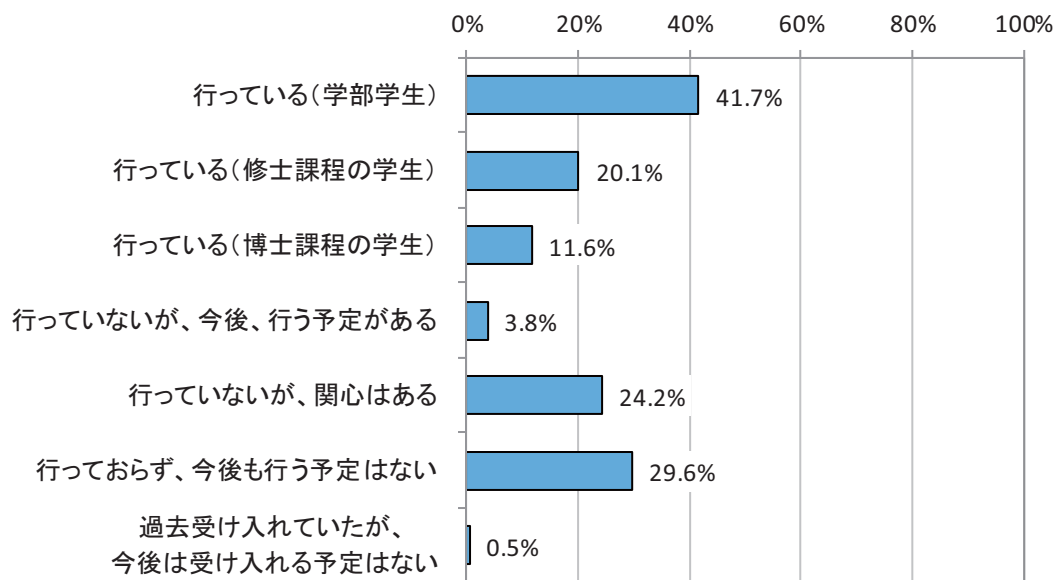
#### Q9 修士研究についての考え方



### Q9 博士研究についての考え方

### 3-5 農学系分野の大学との教育連携等

#### 3-5-1 インターンシップの受け入れ

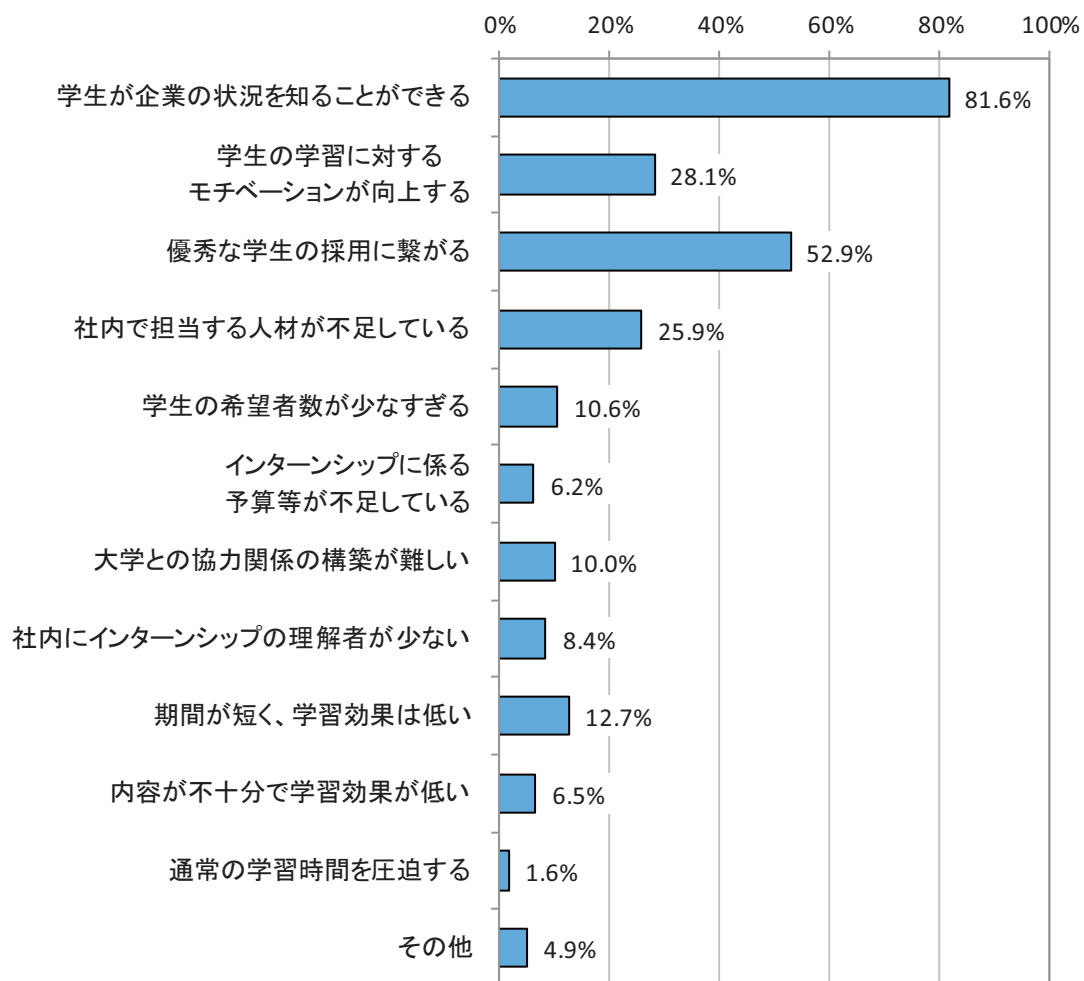


Q11-1 インターンシップで農学系分野の大学生・大学院生を受け入れているか (n=612 : 複数回答)

Q11 過去受け入れていたが、今後は受け入れる予定はない理由 (自由記述)

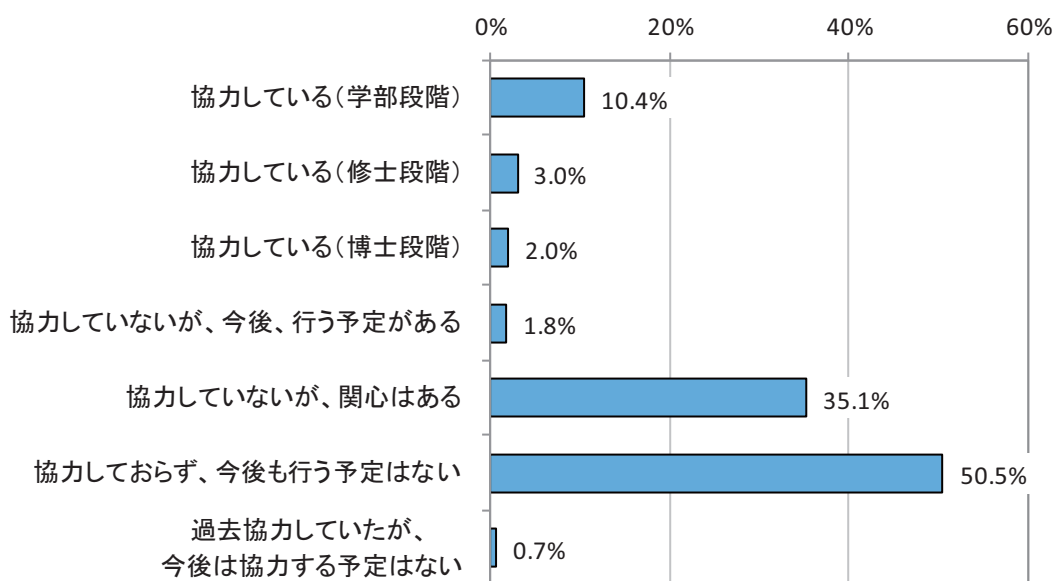
特に農学系でなくても良い
専門は関係ないため。
採用が毎年あるわけではないため
直接業務に関連しない分野だから



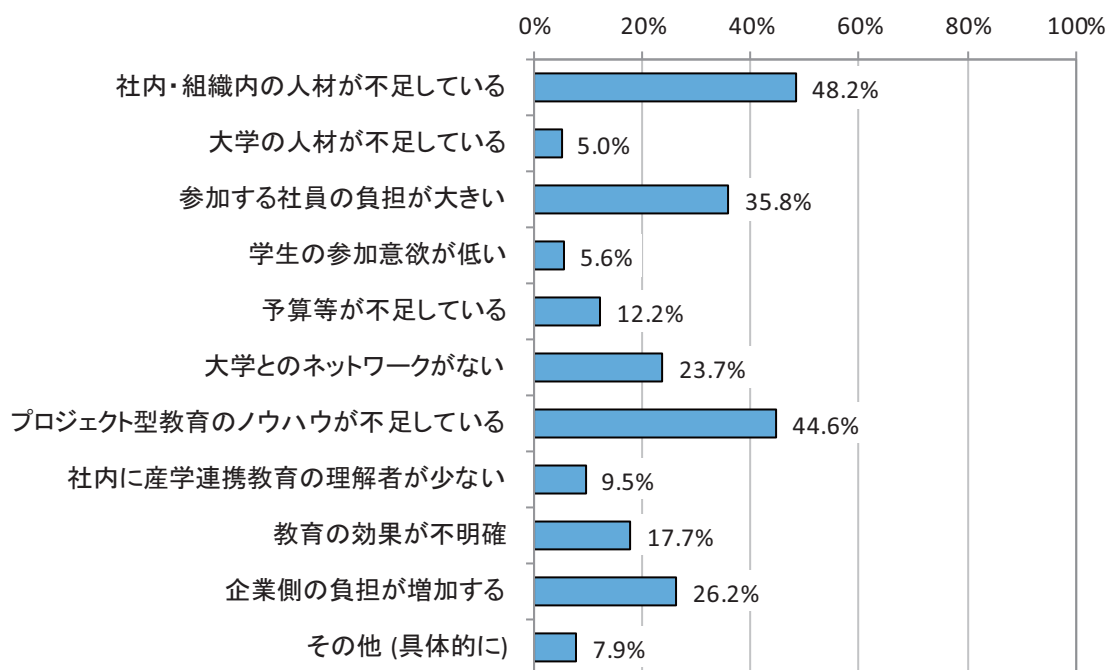


Q11-2 インターンシップ教育についての考え方 (n=630 : 複数回答)

### 3-5-2 プロジェクト型教育



Q12-1 プロジェクト型教育に協力したことがあるか (n=606 : 複数回答)



Q12-2 プロジェクト型教育についての課題 (n=558 : 複数回答)